

平成 2 0 年度

汚染負荷量賦課金

F D 申告・オンライン申告マニュアル



独立行政法人
環境再生保全機構

F D 申告・オンライン申告マニュアル 目次

I . はじめに（必ずお読みください）	1
1 . F D 申告，オンライン申告に使用できる電子計算機	1
2 . 申告に使用する EXCEL 雛型ファイル	1
3 . F D 申告・オンライン申告の特徴	3
4 . 問い合わせ先	3
II . F D 申告	4
1 . F D 申告の流れ	4
2 . F D 申告の手続き	5
1) F D 申告様式（Excel 雛型ファイル）の入手	5
2) 申告ファイルの作成手順	9
3) Excel 雛型ファイルの起動	10
4) Excel 雛型ファイルの入力方法	14
5) 申告書「前年度データ複写」の操作手順	15
6) 申告書、算定過程「前年度データ複写」でコピーされる項目について	16
7) 申告書「前年の排出量取り込み」の操作手順	19
8) 機構提出用 F D 保存の操作手順	20
9) 提出用データの準備	23
10) 申告書及び添付書類の提出	25
11) 誤りを訂正する場合	26
12) その他	26
3 . EXCEL 雛型ファイル入力記載例	28
1) 申告書入力記載例	28
2) A 様式入力記載例	31
3) B 様式入力記載例	33
4) C 様式入力記載例	35
5) D 様式入力記載例	39
6) E 様式入力記載例	42
7) b 様式入力記載例	46
8) 加重平均一覧表入力記載例	49
9) 修正申告入力記載例	52
III . オンライン申告	53
1 . オンライン申告の流れ	53
2 . オンライン申告の事前登録	54
1) 事前登録	54
2) 「電子申告等届出書」	54
3) 「電子申告等届出書」及び「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」の入手方法	54
4) 「電子申告等届出書」の作成・提出	55
5) 認証情報の受け取り	55

6)	「電子申告等届出書」の記載例等	56
7)	オンライン申告におけるセキュリティの考え方	57
8)	オンライン申告サイトのログイン受付時間	57
3.	オンライン申告の手続き	57
1)	ログインの準備	57
2)	オンライン申告サイトへのログイン	58
3)	送付書類選択画面	63
4)	オンライン申告メニュー画面	63
5)	申告書等 雛型ファイルのダウンロード	64
6)	終了手続き	67
7)	申告ファイルの作成	68
8)	申告ファイルのアップロード（送信）	69
9)	申告ファイル送信記録の確認	71
10)	エラーメッセージ画面	72
11)	FD申告・オンライン申告マニュアルのダウンロード	75
IV.	オンラインによる名称等変更届出書の届出手続き	76
1.	申告等に関連する諸届出	76
2.	オンラインによる名称等変更届出書の流れ	76
3.	オンラインによる名称等変更届出書の届出手続き	77
1)	サイトへのログイン	77
2)	送付書類選択画面	77
3)	オンライン届出メニュー画面	77
4)	名称等変更届出書入力	78
5)	名称等変更届出書のアップロード（送信）	80
6)	名称等変更届出書送信詳細情報の印刷	81
7)	名称等変更届出書送信記録の確認	82
V.	その他	83
	届出早見表	83
	間違いの多い事例／提出前チェックリスト【FD申告用】	84
	間違いの多い事例／提出前チェックリスト【オンライン申告用】	85
	FAQ	86

Ⅰ. はじめに (必ずお読みください)

1. F D 申告, オンライン申告に使用できる電子計算機

フロッピーディスクによる申告 (以下「F D 申告」という。)、オンラインによる申告 (以下「オンライン申告」という。) を行う場合は、それぞれ次の条件をいずれも満たす電子計算機 (以下「パソコン」という。) が必要になります。

		F D 申告	オンライン申告
1	O S	Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP 及び Windows Vista のいずれかが搭載されていること	
2	アプリケーションソフト	Excel 97 (SR-1 以上)、Excel 2000、Excel 2002、Excel 2003 及び Excel 2007 のいずれかのアプリケーションソフトが使用可能なこと	
3	ブラウザ	-	Microsoft Internet Explorer 5.01 日本語版以降 128 ビット SSL 暗号化通信が可能なこと
4	接続環境	インターネットに接続されていること	

* 上記は、O S とアプリケーションソフトを標準的な環境でインストールしている状況下で動作確認を行ったものです。事業所の固有な環境により動作不良が発生する場合がありますので、必要に応じ事業所のシステム管理者に確認して適切な対応を行ってください。

2. 申告に使用する Excel 雛型ファイル

- 1) F D 申告、オンライン申告の各様式は、Excel (Windows OS) で作成されています。
なお、マクロを使用していますので、マクロが使用可能か確認してください。
- 2) 各様式の使用にあたっては、セルやシートの保護を解除しないでください。
- 3) 提出データを作成する前に、必ず「入力チェック」ボタンで正しく入力されていることを確認してください。
- 4) 入力したデータを保存するには、各様式の下欄にある「機構提出用 F D 保存」と「事業所保管用エクセル保存」の 2 つの保存ボタンで作成してください。
- 5) 機構提出用の F D に保管されるファイル形式は、C S V 形式です。
各様式の「機構提出用 F D 保存」ボタンにより、指定したフォルダに C S V ファイルを自動作成します。これ以外の方法で C S V ファイルは作成しないでください。

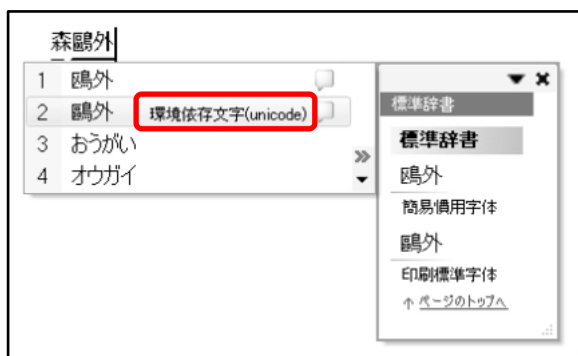


C S V 形式のアイコン

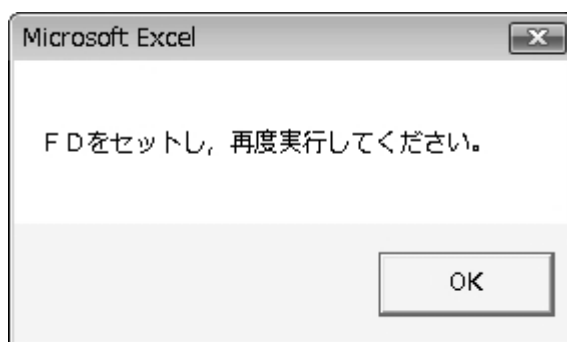


- Windows Vista を使用する場合、漢字の変換時に下の画面のように **環境依存文字** と注釈がつく文字があります。この環境依存文字をご使用になりますと、文字化けなどの原因となり、文字を正しく扱えなくなることがあります。

環境依存文字は使用せず、代わりの文字を使うなどしていただきますようお願いします。



- 雛型やオンライン 届出の 入力時に環境依存文字を入力して保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、保存ができません。
- 雛型から提出用ファイルを保存する場合、保存先のフォルダ名に環境依存文字が含まれていると、下の画面のような不正なエラーメッセージが表示され、保存が正しく行われなことがあります。



また、ファイルをアップロードするときに、アップロードするファイルが保存されているフォルダ名に環境依存文字が含まれている場合、誤った送信情報が記録されてしまうことがあります。

3 . F D 申告・ オンライン 申告の特徴

区 分	F D 申告	オンライン 申告
事前登録手続き		「電子申告等届出書」により、「電子申告等を行う者」を 事前に届出 ることが必要です。
雛型ファイルの入手方法	賦課金ホームページより雛型ファイルをダウンロードします。 管轄の商工会議所で複写して入手します。	オンライン申告サイトから雛型ファイルをダウンロードします。
雛型ファイル活用のメリット	自動計算機能 入力チェック機能 入力方法のメッセージ表示機能 提出用CSVファイルの自動作成機能	→ 計算誤りの回避 → 入力漏れ、入力誤りの回避 → 操作性・利便性の向上
オンライン申告のメリット		申告期間内ならいつでも申告 できます。 申告の際の押印は必要ありません。 「電子申告等を行う者」が変更 しないかぎり認証情報は有効 です。
申告書記載事項の取込み機能	雛型ファイルの「前年度データ複写」機能で取り込みます。	オンライン申告サイトから、機構に登録されている最新情報を雛型ファイルに取込みダウンロードします。
算定過程等記載事項の取込み機能	雛型ファイルの「前年度データ複写」機能で取り込みます。	
過去分累積換算量の取得	賦課金番号を入力すると、自動的に過去分累積換算量を表示します。	
申告関係書類(データ)の提出	申告書を印刷し押印したものを提出します。 CSVファイルをFDに保存して提出します。	CSVファイルを、インターネット回線を利用して送信します。
申告関係書類(データ)の提出先	管轄の商工会議所又は機構	機構(本部)

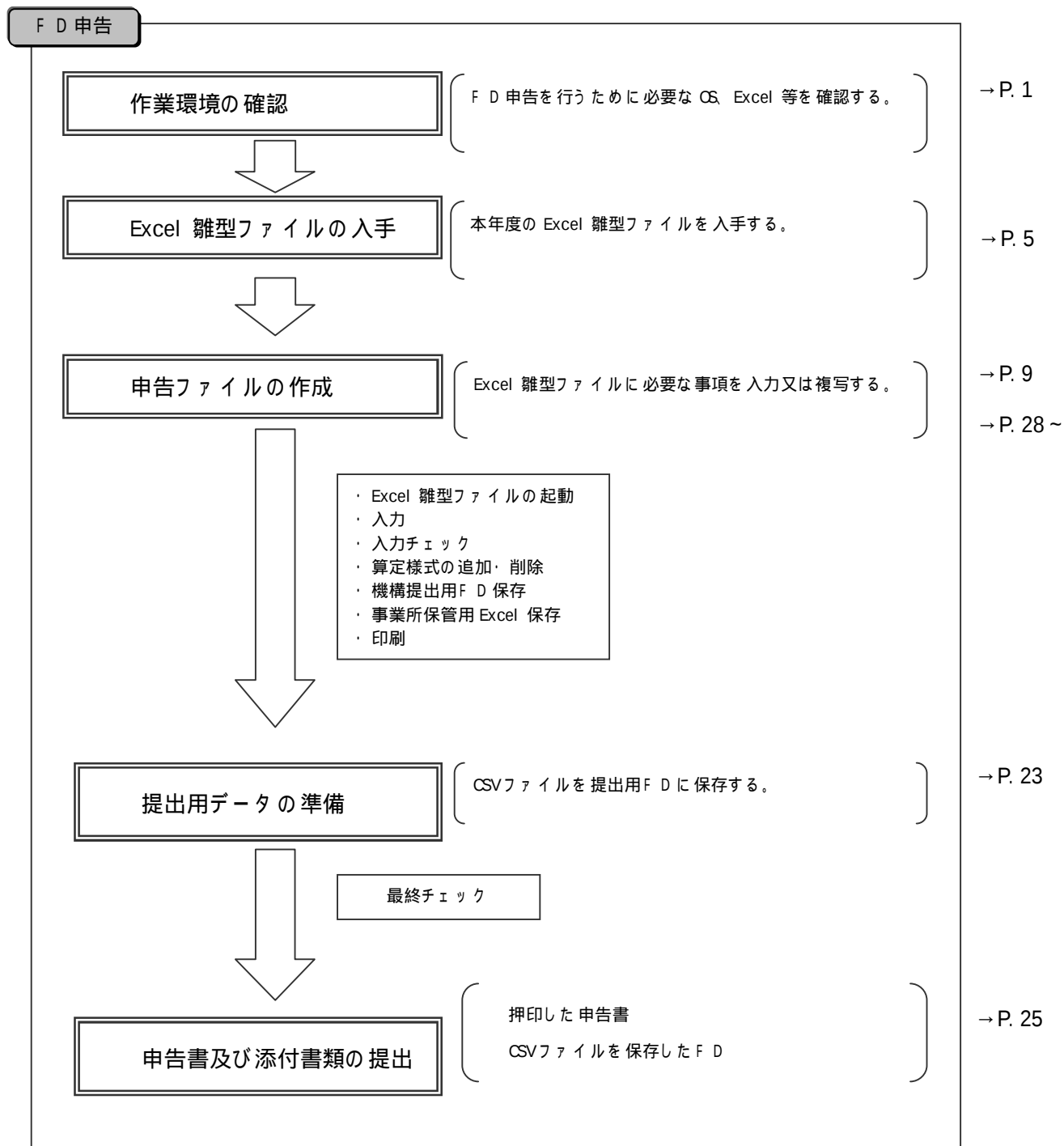
4 . 問い合わせ先

補償業務部業務課	
TEL :	044 - 520 - 9545
FAX :	044 - 520 - 2133
E-メール	h-gyoumu@erca.go.jp

II. F D 申告

1. F D 申告の流れ

F D 申告は、以下の流れで作業を進めていきます。



- 申告書及び算定様式の作成については、
1. 加重平均一覧表 **各算定様式への転記誤りに注意してください。**
 2. 各算定様式
 3. 申告書
- の順番で作成することをお奨めします。

2. F D 申告の手続き

1) F D 申告様式(Excel 雛型ファイル)の入手

F D 申告に使用する Excel 雛型ファイルは、賦課金ホームページからダウンロードすることによって入手できます。

インターネットに接続しておらず、ダウンロードすることができない事業所の方は、管轄の商工会議所にて雛型ファイルをコピーするか、又は、機構までご連絡ください。

(1) 汚染負荷量賦課金に関するホームページ

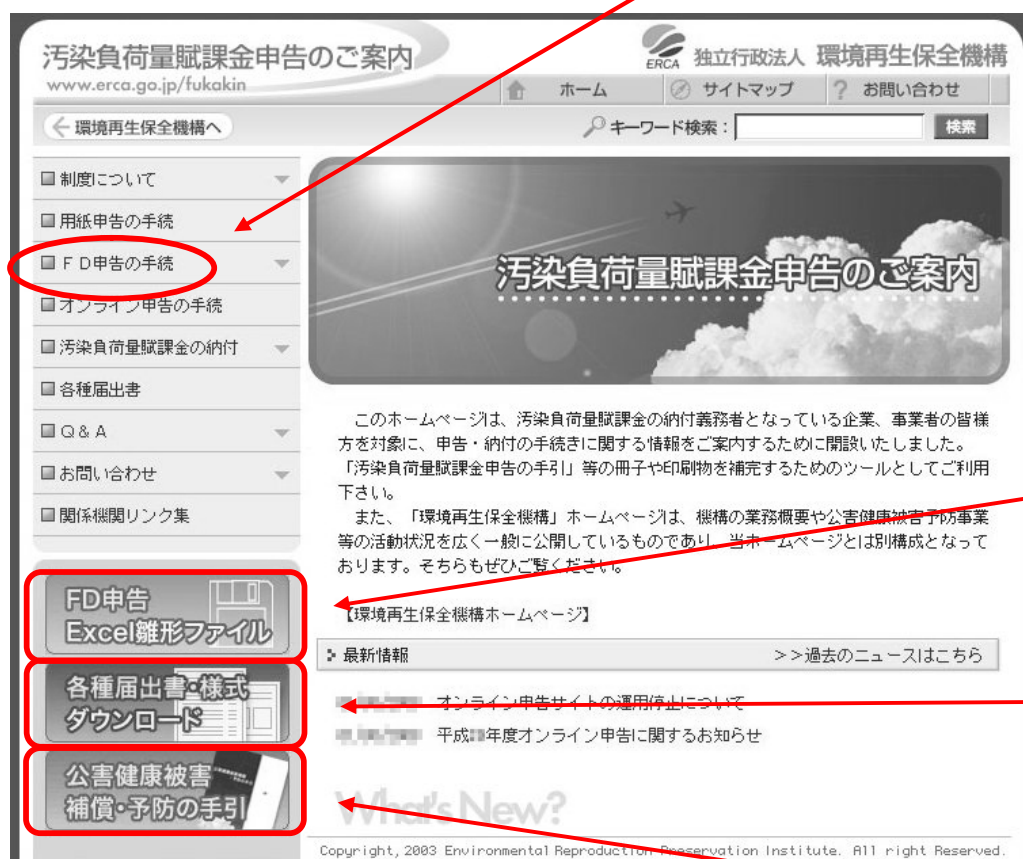
汚染負荷量賦課金の申告・納付の手続きに関する「賦課金ホームページ」を開設しています。

賦課金ホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.erca.go.jp/fukakin/>

(2) Excel 雛型ファイルダウンロードの方法

トップページの[F D 申告の手続]をクリックし、ダウンロードメニューに移動してください。



このバナーをクリックすると
雛型ファイルのダウンロード
画面へジャンプします。

このバナーをクリックすると
届出書ファイルのダウンロード
画面へジャンプします。

このバナーをクリックすると
「公害健康被害補償・予防の
手引」を参照又は、ダウンロ
ードできます。

汚染負荷量賦課金申告のご案内
www.erca.go.jp/fukakin

ERCA 独立行政法人 環境再生保全機構

ホーム サイトマップ お問い合わせ

キーワード検索: 検索

環境再生保全機構へ

FD Report FD申告の手続

ホーム > FD申告手続 > FD申告用様式及び届出関係様式のダウンロード

FD申告用様式及び届出関係様式のダウンロード

ここから雛型ファイルのダウンロード用ページに移動することができます。
以下の入力フォームに入力し、[次へ進む]ボタンをクリックしてください。

◆汚染負荷量賦課金番号
[入力欄]
◆担当者
[入力欄]
◆電話番号、又は電子メールアドレス
[入力欄]

[次へ進む] [やり直し]

Copyright, 2004 Environmental Restoration and Conservation

FD申告 Excel雛型ファイル
各種届出書・様式ダウンロード
公害健康被害補償・予防の手引

汚染負荷量賦課金番号等を所定の入力フォームに入力してください。

[次へ進む] ボタンをクリックしてください。
ダウンロード用ページに移動します。

汚染負荷量賦課金申告のご案内
www.erca.go.jp/fukakin

ERCA 独立行政法人 環境再生保全機構

ホーム サイトマップ お問い合わせ

キーワード検索: 検索

環境再生保全機構へ

FD Report FD申告の手続

ホーム > FD申告手続 > FD申告用様式及び届出関係様式のダウンロード > 様式ファイル一覧

FD申告用様式及び届出関係様式のダウンロード(様式ファイル一覧)

必要な様式のファイルを選んでください。
<FD申告用様式>

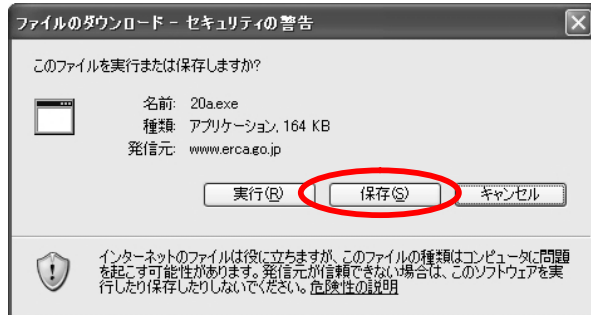
	ダウンロード
平成××年度汚染負荷量賦課金申告書	 Excel
平成××年度年間排出量の算定の過程を示す書類(A)	 Excel
平成××年度年間排出量の算定の過程を示す書類(B)	 Excel

必要な様式の Excel のアイコンをクリックしてください。
ダウンロードが開始されます。

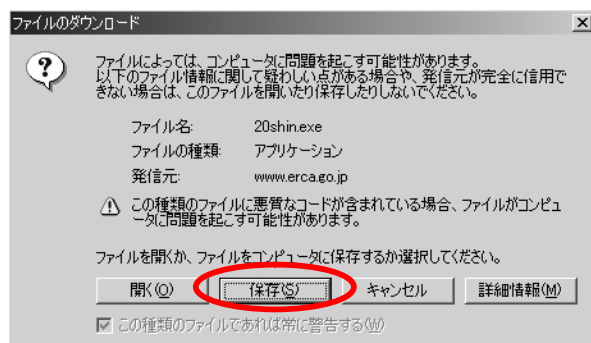


- ダウンロードは1 様式ずつ行なってください。
- ファイルのダウンロードダイアログでファイルの処理方法を選択するオプションがある場合には、必ずディスクに保存するよう指定してください。

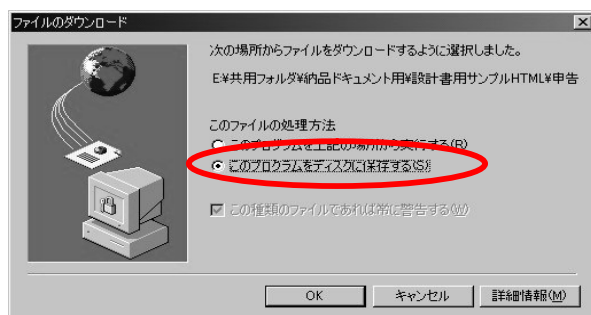
ダウンロードダイアログの表示例



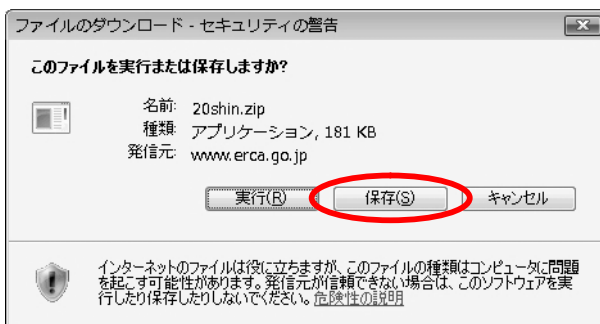
[Internet Explorer 6, Windows XP]



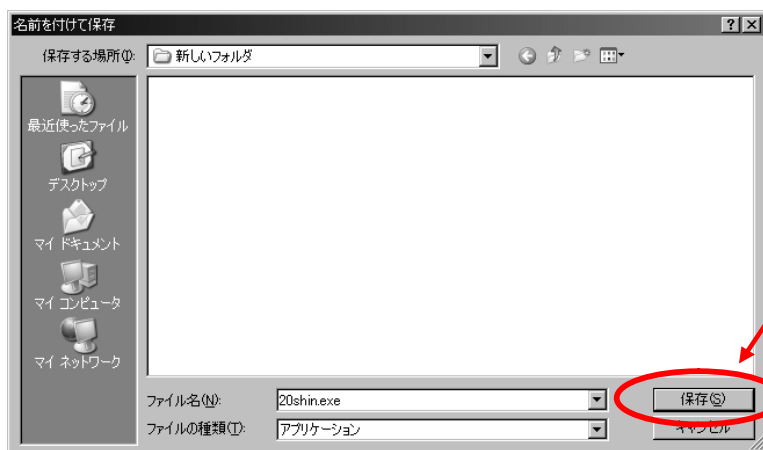
[Internet Explorer 6, Windows 2000]



[Internet Explorer 5.01, 5.5]



[Internet Explorer 7, Windows Vista]



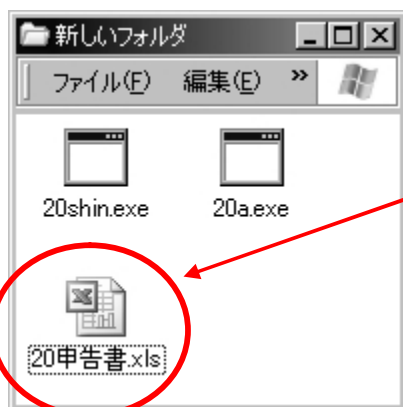
保存場所を指定して、[保存] ボタンをクリックしてください。
指定した場所にダウンロードファイルが保存されます。



- ダウンロードする前に、あらかじめ保存するフォルダを作成しておくことをお奨めします。



ダウンロードした exe ファイルが保存されているフォルダを開き
解凍する exe ファイルのアイコンをダブルクリックしてください。
解凍が実行されます。



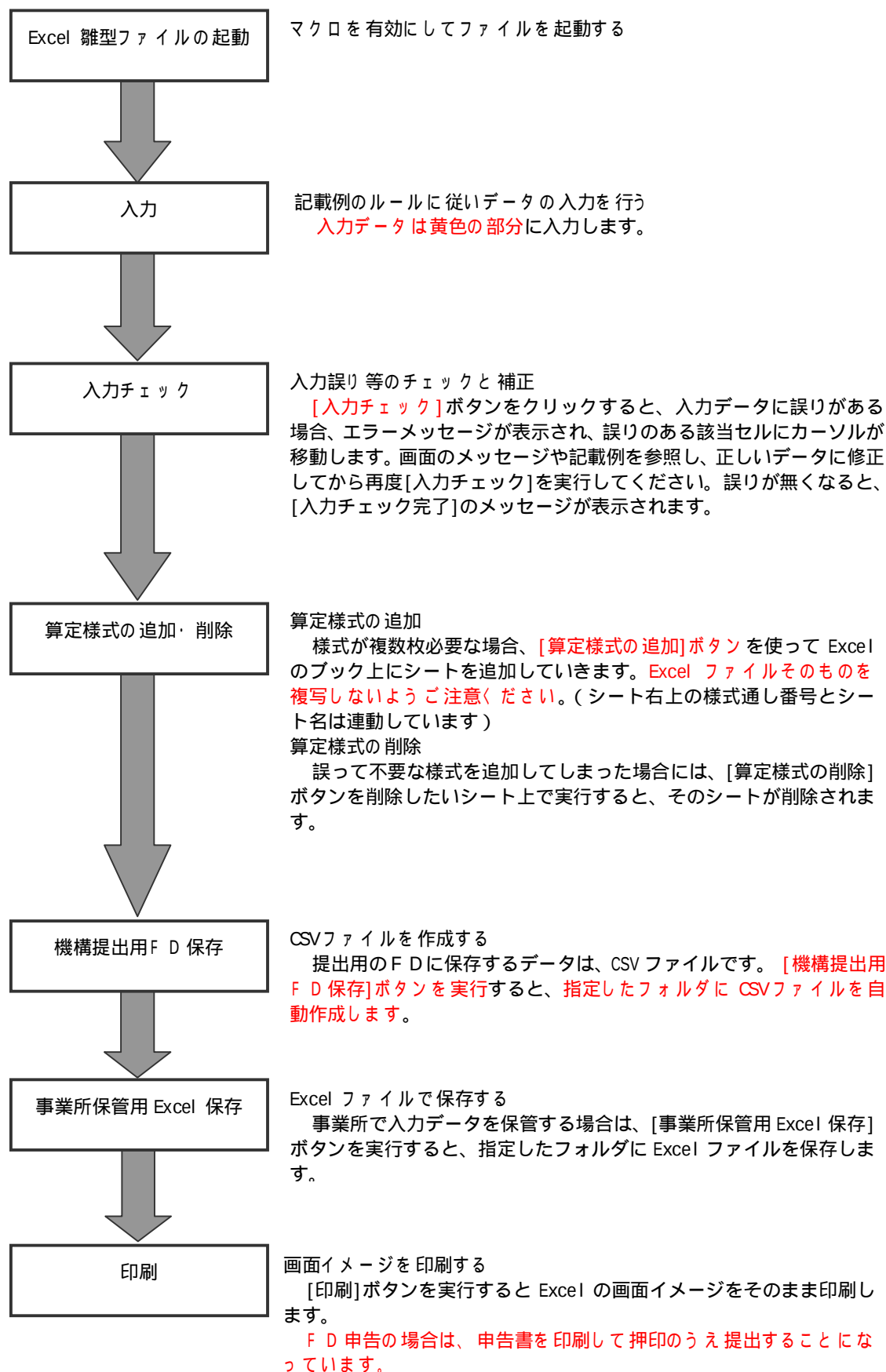
自動的に解凍が終了し、「xls」の拡張子がついた Excel ファイル
が現れます。
解凍後のダウンロードファイル exe ファイルは不要となりますので
削除してください。



- 解凍先のパスが長い(フォルダ階層が深い)場合、解凍に失敗することがあります。
その場合、ドライブ直下などで解凍してください。
- 解凍先に十分な空き容量がない場合、解凍に失敗することがあります。その場合、十分な容量を
確保して再度行ってください。

2) 申告ファイルの作成手順

Excel 雛型ファイルは各様式とも以下の流れで作成することが基本になります。

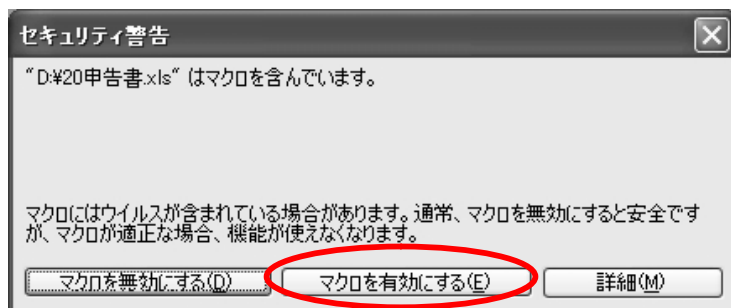


3) Excel 雛型ファイルの起動

雛型ファイルはマクロ機能を用いています。必ずマクロを有効にして開いてください。

○ [Excel 2003 以前の Excel をお使いの場合]

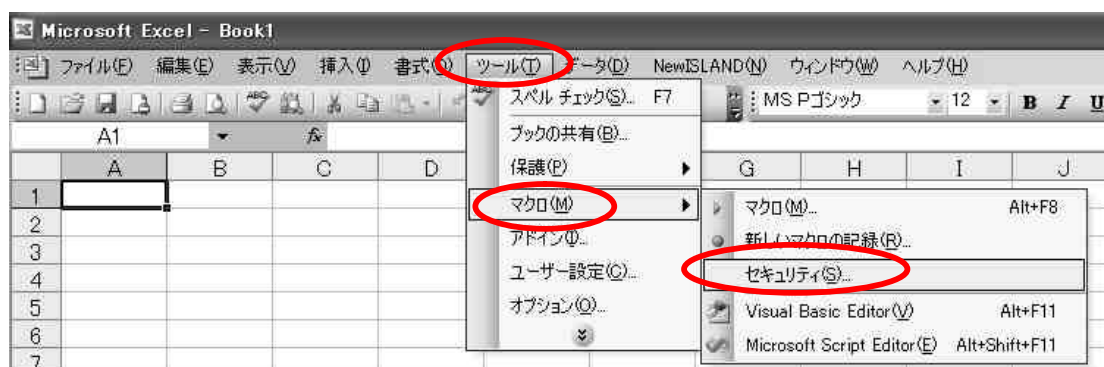
Excel 雛型ファイルを起動すると、マクロを有効にするかどうか確認するダイアログボックスが表示されますので、必ず**[マクロを有効にする]**を選択して起動してください。



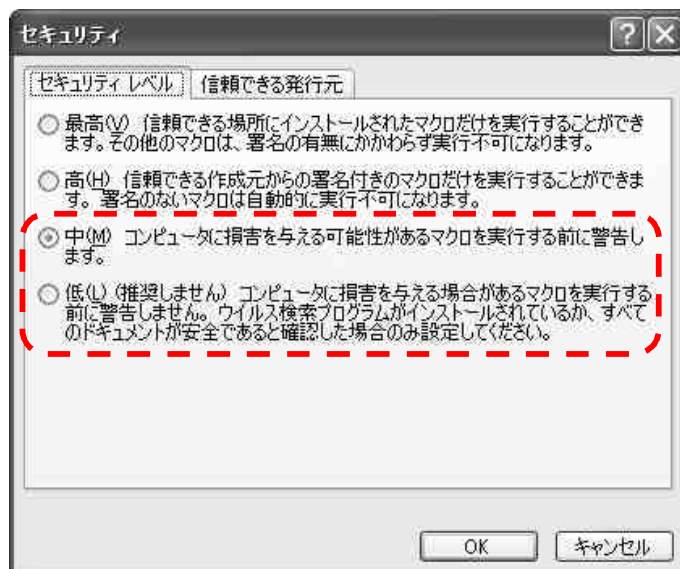
- Excel 2003 以前の Excel をご使用のときに、マクロが有効にならない、あるいは上記ダイアログが表示されない場合は、以下の手順でマクロのセキュリティを変更してください。

[Excel 2002、Excel 2003 をお使いの場合]

メニューから「ツール(T)」 - 「マクロ(M)」 - 「セキュリティ(S)」を選択します。



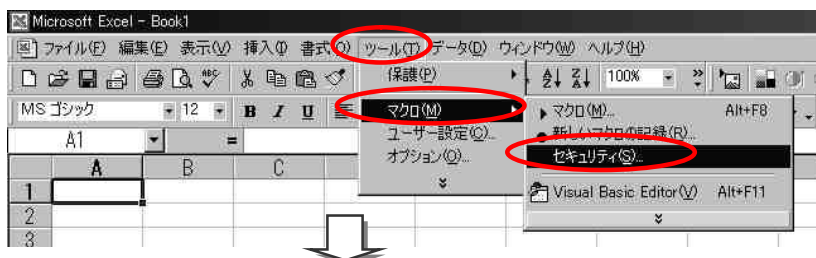
「セキュリティレベル」タブで「中(M)」以下を選択します。



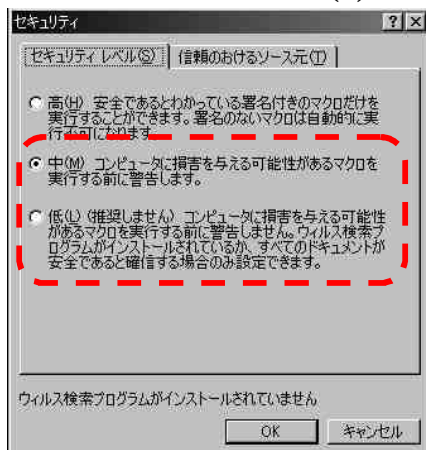


[Excel 2000 をお使いの場合]

メニューから「ツール(T)」 - 「マクロ(M)」 - 「セキュリティ(S)」を選択します。

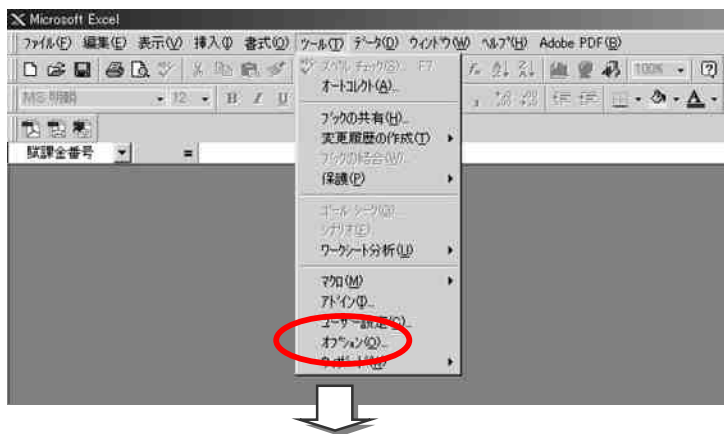


「セキュリティレベル(S)」で「中(M)」以下を選択します。

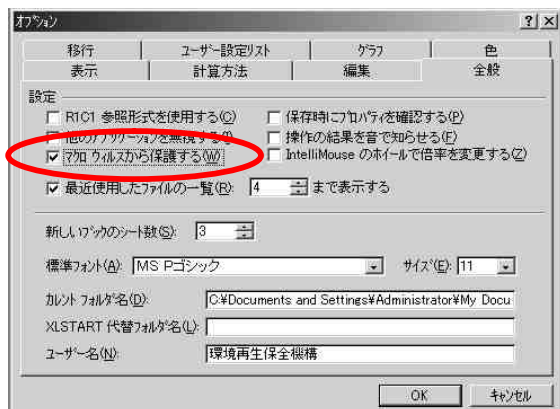


[Excel 97 をお使いの場合]

メニューから「ツール(T)」 - 「オプション(O)」を選択します。

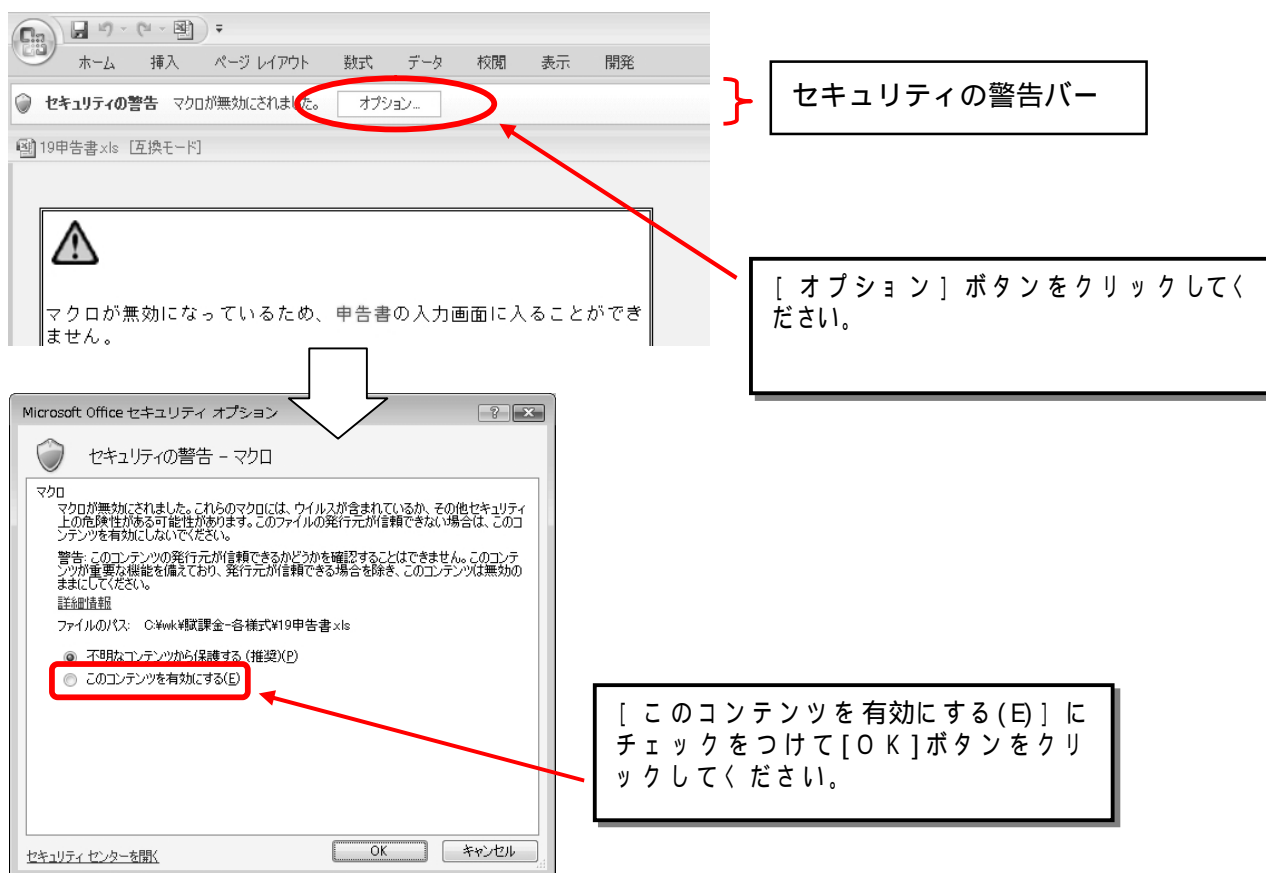


「全般」タブの「マクロウィルスから保護する(W)」にチェックします。



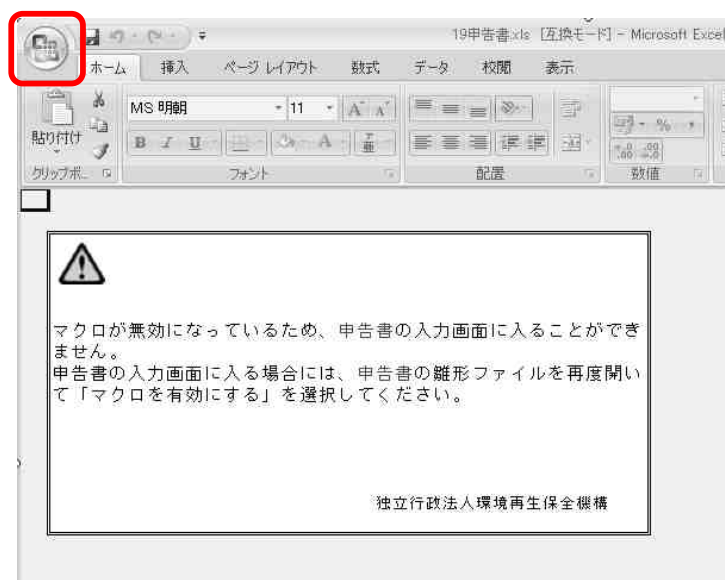
○ [Excel 2007 をお使いの場合]

Excel 2007 で Excel 雛型ファイルを起動すると、マクロ無効時の画面と、セキュリティの警告バーが表示されます。[セキュリティ オプション]ウィンドウを開き、[このコンテンツを有効にする]をチェックして保護を解除してください。



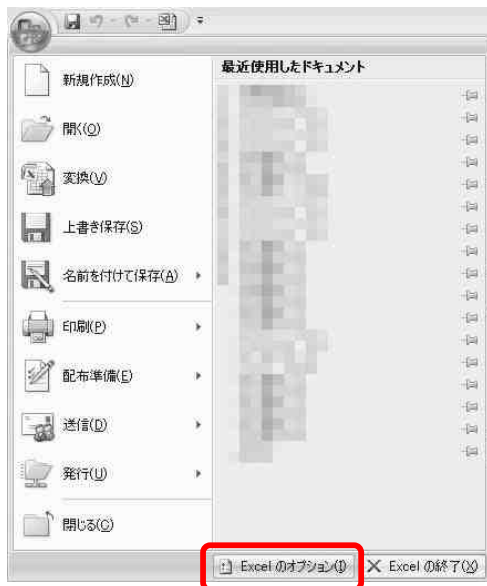
- Excel 2007 をご使用の時に、マクロが有効にならない、あるいはセキュリティ 警告バーが表示されない場合は、以下の手順でマクロのセキュリティを変更してください。

Excel 左上の丸いボタンをクリックし、メニューを開きます。





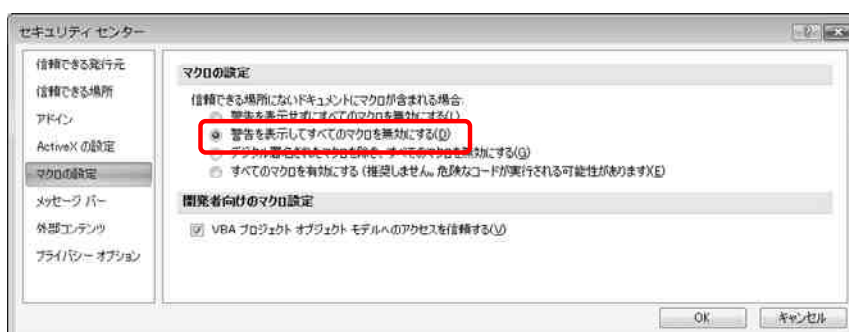
メニュー中にある「Excelのオプション(I)」を選択します。



オプション中の「セキュリティセンター」の項目を選択し、「セキュリティセンター設定」をクリックします。



マクロの設定で「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」にチェックを付けてから、雛形を開きなおします。



4) Excel 雛型ファイルの入力方法

平成 XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告区分	賦課金区分	汚染負荷量賦課金番号	納付義務者番号	工場・事業場	コード
	10	1				

② 納税義務者情報

(イ)住所 (フリガナ) 郵便番号

(ロ)氏名又は名称 (フリガナ) 印

(ハ)代表者氏名 (フリガナ) 印 (ニ)同左代理人 (フリガナ) 印

(ヘ)渡本金 (フリガナ) 千円

③ 対象 (フリガナ) 郵便番号 (イ)所在地

Excel シートを開くと、申告書の Excel シート上には、まだ何も入力されていません。
記載例のルールに従い、黄色のセルに必要事項を入力してください。



- 各セルの右上隅の赤いマークにマウスを移動すると、入力ヒントが表示されます。

郵便番号は、連続した7桁の半角数字(ハイフン“-”は含めない)を入力して下さい。
【例】1060032



- マクロが無効になっている場合、以下のような警告シートが表示されます。マクロを有効にして起動しなおしてください。

マクロが無効になっているため、申告書の入力画面に入ることができません。
申告書の入力画面に入る場合には、申告書の雛形ファイルを再度開いて「マクロを有効にする」を選択してください。

独立行政法人環境再生保全機構

警告

5) 申告書「前年度データ複写」の操作手順

平成 XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日

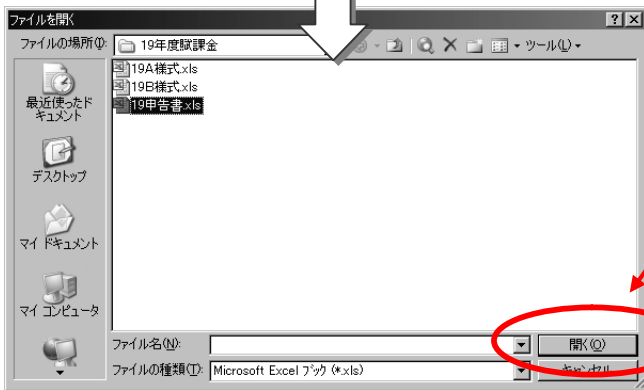
独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告 区分	課 金 区分	汚染負荷量賦課金番号 納付義務者 番号	工場・ 事業場 C・D
	10	1		

② 納税
③ 納税
④ 納税
⑤ 納税
⑥ 納税
⑦ 納税
⑧ 納税
⑨ 納税
⑩ 納税
⑪ 納税
⑫ 納税
⑬ 納税
⑭ 納税
⑮ 納税
⑯ 納税
⑰ 納税
⑱ 納税
⑲ 納税
⑳ 納税
㉑ 納税
㉒ 納税
㉓ 納税
㉔ 納税
㉕ 納税
㉖ 納税
㉗ 納税
㉘ 納税
㉙ 納税
㉚ 納税
㉛ 納税
㉜ 納税
㉝ 納税
㉞ 納税
㉟ 納税
㊱ 納税
㊲ 納税
㊳ 納税
㊴ 納税
㊵ 納税
㊶ 納税
㊷ 納税
㊸ 納税
㊹ 納税
㊺ 納税
㊻ 納税
㊼ 納税
㊽ 納税
㊾ 納税
㊿ 納税

[前年度データ複写] ボタンをクリックしてください。



前年度の申告書ファイルを指定するためダイアログボックス[ファイルを開く]が表示されます。

[ファイルの場所] で、昨年度作成した申告書フォルダの保管先に移動してください。

該当するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックしてください。

平成 XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日 平成XX年4月1日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告 区分	課 金 区分	汚染負荷量賦課金番号 納付義務者 番号	工場・ 事業場 C・D
	10	1	03309	01 2

② 納税
③ 納税
④ 納税
⑤ 納税
⑥ 納税
⑦ 納税
⑧ 納税
⑨ 納税
⑩ 納税
⑪ 納税
⑫ 納税
⑬ 納税
⑭ 納税
⑮ 納税
⑯ 納税
⑰ 納税
⑱ 納税
⑲ 納税
⑳ 納税
㉑ 納税
㉒ 納税
㉓ 納税
㉔ 納税
㉕ 納税
㉖ 納税
㉗ 納税
㉘ 納税
㉙ 納税
㉚ 納税
㉛ 納税
㉜ 納税
㉝ 納税
㉞ 納税
㉟ 納税
㊱ 納税
㊲ 納税
㊳ 納税
㊴ 納税
㊵ 納税
㊶ 納税
㊷ 納税
㊸ 納税
㊹ 納税
㊺ 納税
㊻ 納税
㊼ 納税
㊽ 納税
㊾ 納税
㊿ 納税

直ちにデータが取り込まれます。

昨年度と内容が変わっている場合は、必要に応じて修正してください。
なお、提出年月日、前年の排出量は複写されません。

6) 申告書、算定過程「前年度データ複写」でコピーされる項目について

申告書と同様に、算定過程の全ての様式について、[前年度データ複写]ボタンから前年度のデータの
コピーを行うことができます。コピーする際には入力済みの内容は破棄されますので注意してください。

また算定過程については、C様式以外は前年度に使用した枚数のシートがコピーされます。C様式の
み、ブックごとに最初のシート一枚のみがコピーされます。

なお、申告書と算定過程でコピーされる項目は以下のようになります。

○ 申告書

No.	項目		備考
1	賦課金番号	納付義務者番号	
2		工場事業場コード	
3		C・D	
4	納付義務者	住所郵便番号	
5		住所フリガナ	
6		住所	
7		名称フリガナ	
8		名称	
9		電話番号	
10		代表者氏名フリガナ	
11		代表者氏名	
12		代理人フリガナ	
13		代理人	
14		資本金	
15	対象工場・事業場	所在地郵便番号	
16		所在地フリガナ	
17		所在地	
18		名称フリガナ	
19		名称	
20		電話番号	
21		工場長氏名フリガナ	
22		工場長氏名	
23		最大排出ガス量	
24	作成担当者	所属課	
25		電話番号	
26		フリガナ	
27		氏名	

○ A様式

No.	項目		備考
1	賦課金番号		
2	対象工場・事業場名		
3	No	枚数	
4		全枚数	
5	施設名		

○ B 様式

No.	項目	備考
1	賦課金番号	
2	対象工場・事業場名	
3	No	枚数
4		全枚数
5	施設名	

○ C 様式

No.	項目	備考
1	賦課金番号	
2	対象工場・事業場名	
3	施設名	
4	No	施設通し番号

○ D 様式

No.	項目	備考
1	(1)賦課金番号	
2	対象工場・事業場名	
3	(2)No	枚数
4		全枚数

○ E 様式

No.	項目	備考
1	賦課金番号	
2	対象工場・事業場名	
3	No	枚数
4		全枚数
5	1. 関連する様式番号	
6	1. 測定機関	
7	1. 脱硫対象施設名	
8	1. 最大燃原料使用量	種類 1 ~ 3
9		単位 1 ~ 3
10	1. 脱硫方式	
11	1. 施設最大排出ガス量	
12	1. 脱硫装置処理能力	
13	1. 脱硫効率	入口 SO _x 濃度
14		出口 SO _x 濃度
15		設計値
16	1. 脱硫装置稼動開始年月日	
17	1. 脱硫装置制作メーカー	

○ b 様式

No.	項目		備考
1	賦課金番号		
2	対象工場・事業場名		
3	No	枚数	
4		全枚数	
5	1. 関連する様式番号		
6	1. 測定機関		
7	1. 測定対象施設名		
8	1. 最大燃原料使用量	種類 1 ~ 2	
9		単位 1 ~ 2	

○ 加重平均

No.	項目		備考
1	賦課金番号		
2	対象工場・事業場名		

7) 申告書「前年の排出量取り込み」の操作手順

XX申告書.xls

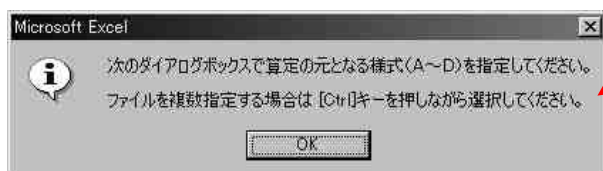
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	前年度データ複写		入力チェック		印刷				
38			⑤	(イ) 硫黄酸化物排出量		(ロ) 単位排出量			
39			汚賦	過去	累積換算量 (m3N/算定基礎期間)		円		
40			染課	分	41,276		8		
41			負金	現在	前年の排出量 (m3N/年)		○ 1921.6		
42			荷の	分			○ 1299.9		
43			量計				○ 1186.9		
44			算						
45									
46			⑥ 延納の申請		● する ○ しない				
47									
48									
49			⑦ 汚染負荷量賦課						
50									

自動割振

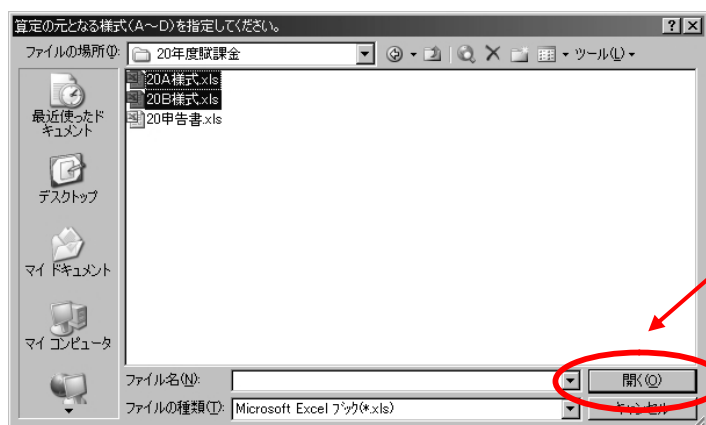
申告書

[前年の排出量取り込み] ボタンをクリックしてください。

この時点では、まだ[現在分 SOX 量] は入力されていません。



算定の元となる様式を指定するためのダイアログボックスが表示されます。



データのある算定様式のファイルを指定するため、ダイアログボックスが表示されます。

[ファイルの場所] で、本年度作成した算定様式ファイルの保管先に移動してください。

該当するファイルを選択して[開く] ボタンをクリックしてください。

複数の種類の様式(A~D)がある場合は[Ctrl] キーを押しながら、全ての様式を同時に選択する必要があります。(E、b 及び加重平均は対象外です)

XX申告書.xls

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	前年度データ複写		入力チェック		印刷				
38			⑤	(イ) 硫黄酸化物排出量		(ロ) 単位排出量			
39			汚賦	過去	累積換算量 (m3N/算定基礎期間)		円		
40			染課	分	41,276		8		
41			負金	現在	前年の排出量 (m3N/年)		○ 1921.6		
42			荷の	分	34,579		○ 1299.9		
43			量計				○ 1186.9		
44			算						
45									
46			⑥ 延納の申請		● する ○ しない				
47									
48									
49			⑦ 汚染負荷量賦課						
50									

自動割振

申告書

直ちにデータが取り込まれます。

8) 機構提出用F D 保存の 操作手順

必要事項の入力が完了したら『入力チェック』ボタンをクリックし、入力チェックを実行してください。入力データに誤りがある場合、エラーメッセージが表示され、誤りのある該当セルに移動します。
(『印刷』ボタン、『機構用F D 保存』ボタンクリック時にも入力チェックが行われます)

入力チェックで誤りが無くなると「累積換算量および料率」の確認ダイアログが表示されます。過去分(累積換算量)、現在分(前年の排出量)、現在分賦課料率の入力内容を確認し、正しければ『はい』ボタンをクリックしてください。

入力チェックが完了すると、入力チェック完了のメッセージが表示されます。『OK』ボタンをクリックしてください。



- 申告書については、提出年月日が未記入であっても提出用F Dデータを印刷することができます。

XX申告書.xls

前年度データ複写 入力チェック 印刷 **機構提出用F D保存** 事業所保管用エクセル保存

平成 XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日 平成XX年4月1日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告区分	課金区分	汚染負荷量賦課金番号
	区分	区分	納付義務者番号 工場・事業場 C・D
10	1	03309	01 2

② 納税義務者

(イ)住所 郵便番号 212-8554 川崎市幸区大宮町 1310

(ロ)氏名又は名称 青空工業（株） 印

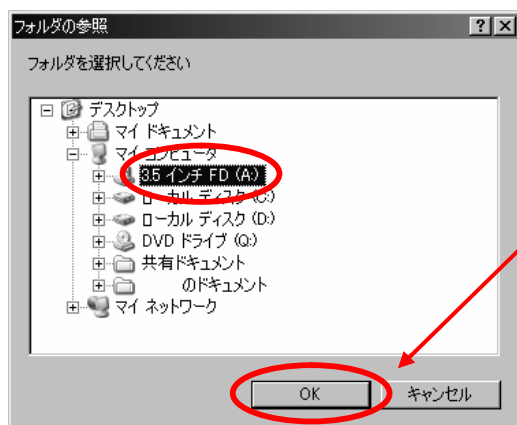
(ハ)代表者氏名 青空 一郎 印

(ニ)同左 大森 一夫 印

(ホ)資本金 6,230,000 千円

(ヘ)所在地 郵便番号 983-0001 宮城県仙台市宮城野区港1丁目2-3

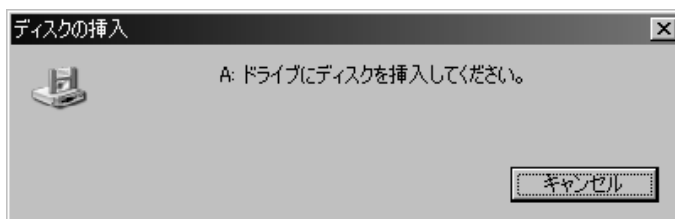
『機構提出用F D保存』ボタンをクリックし、入力チェックに、誤りがない場合はフォルダの参照ダイアログが表示されます。



フォルダの参照ダイアログでF Dドライブ(通常はAドライブ)を指定し、『OK』ボタンをクリックしてください。



- フォルダの参照ダイアログでF Dドライブを選択したとき、ドライブにF Dが入っていない場合には以下のメッセージが表示されます。ドライブにF Dを入れて操作を続行するか、キャンセルボタンを押して操作を中断してください。





F D への保存が完了すると完了確認ダイアログが表示されます。



F D に提出用の C S V ファイルが保存されます。



- 作成した雛型ファイルは、来年度のデータ取り込みに使用できますので、フォルダを使って保管しておいてください。



- 雛型ファイルを閉じる前に、Excel を終了しようとするとき、下の画面のようなエラーメッセージが表示されて Excel を閉じることができません。雛型ファイルを閉じてから、Excel を閉じる操作を行ってください。



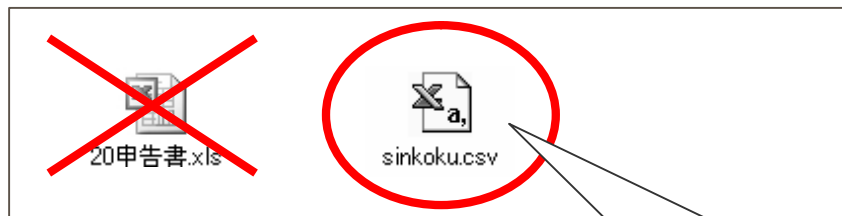
9) 提出用データの準備

(1) 提出用データ

ファイル形式

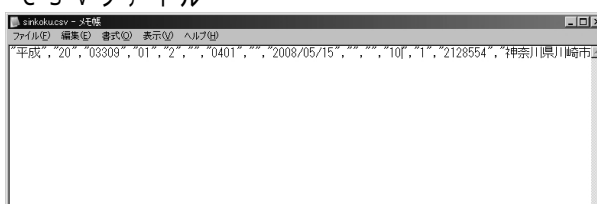
提出用のF Dに保存するデータは、C S Vファイルです。Excel ファイルではありません。

雛型ファイルの各様式の[機構提出用F D 保存]ボタンで、自動的に作成されるC S V ファイルを提出します。



C S Vファイルとは
F Dに保存するデータの容量を抑えるため Excel 雛型ファイルのデータの一部を一定の配列で抽出したものです。

C S Vファイル



作成されるファイルの数

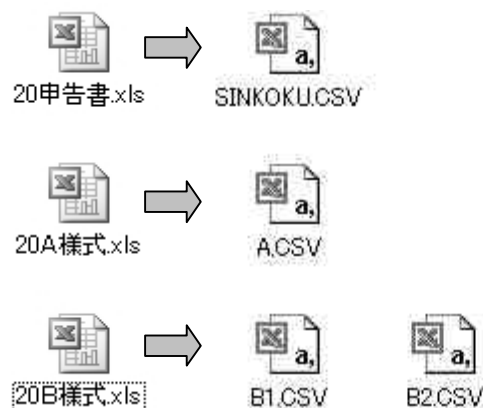
雛型ファイルの様式ごとに、作成されるC S Vファイルの数異なります。自動的に該当するファイルを必要な数だけ作成します。

以下に、様式ごとのC S Vファイル数とC S Vファイルの作成例を示します。様式枚数にかかわらず、C S Vファイルの数は固定です。作成されたファイルを誤って削除しないようご注意ください。

〔様式ごとのC S Vファイルの数〕

Excel 雛型ファイル	C S Vファイルの数
申告書	1
A 様式	1
B 様式	2
C 様式	[対象施設数] × 2
D 様式	6
E 様式	1
b 様式	1
加重平均一覧表	1

〔C S Vファイルの生成例〕



C S Vファイルに関する注意点

- ・ C S Vファイルの名称は変更しないでください。
- ・ F Dのルートに直接配置してください。フォルダを作ってファイルをまとめたり、圧縮したりしないでください。
- ・ [機構提出用F D 保存]ボタン以外の方法でC S Vファイルは作成しないでください。

(2) F D の規格等

提出する F D は、次の規格のものを使用してください。

- ・サイズ : 3.5 インチ (JIS X 6225、X 6224 又は X 6222)
- ・記憶容量 (フォーマット済)
2HD (1.44 M B (JIS X 6225) 又は 1.2 M B (JIS X 6224))
もしくは 2DD (720 K B (JIS X 6222))
- ・形式 : DOS フォーマット

提出に使用する F D は、事業所の負担となります。

F D が破損しないよう保護ケース等に入れて提出してください。

1 事業所あたり必ず 1 枚の F D に申告データを保存してください。

提出する F D には、管轄の商工会議所又は機構から送付する F D ラベルに必要事項を記入し、F D に貼付して提出してください。

ひとつの事業所で入力する様式の枚数が多く、1 枚の F D に保存できない場合は、機構業務課までご連絡ください。

〔フロッピーディスクに貼付するラベルの記載例〕

.....	
1	提出年月日 平成 XX 年 5 月 10 日
2	汚染負荷量賦課金番号 03309012
3	納付義務者及び対象工場・事業場の名称
	<u>青空工業(株) 仙台工場</u>
4	保存データの内容
(1)	平成 XX 年度申告書
(2)	添付書類
	A 様式 4 枚 B 様式 12 枚
	C 様式 枚 D 様式 枚
	E 様式 枚 b 様式 枚
	加重平均一覧表 0 枚
	特記事項 (~ 以外の添付ファイル等)

様式の枚数は、用紙ベースで
記入してください。
(ファイルの数ではありません)

10) 申告書及び添付書類の提出

(1) 申告書

CSVファイルをFDに保存するとともに、同申告書を印刷し、代表者印又は代理人の印を押印して必ず当該FDと一緒に提出してください。

(2) 添付書類

FD申告の対象となる様式は以下のとおりです。使用する添付書類の種類及び枚数は、工場・事業場ごとにそれぞれ異なります。

これらは印刷せず、CSVファイルのみを申告書データと同じFDに保存してください。

年間排出量の算定の過程を示す書類（A様式）

年間排出量の算定の過程を示す書類（B様式）

年間排出量の算定の過程を示す書類（C様式）

年間排出量の算定の過程を示す書類（D様式）

補正後の脱硫効率の算定の過程を示す書類（E様式）

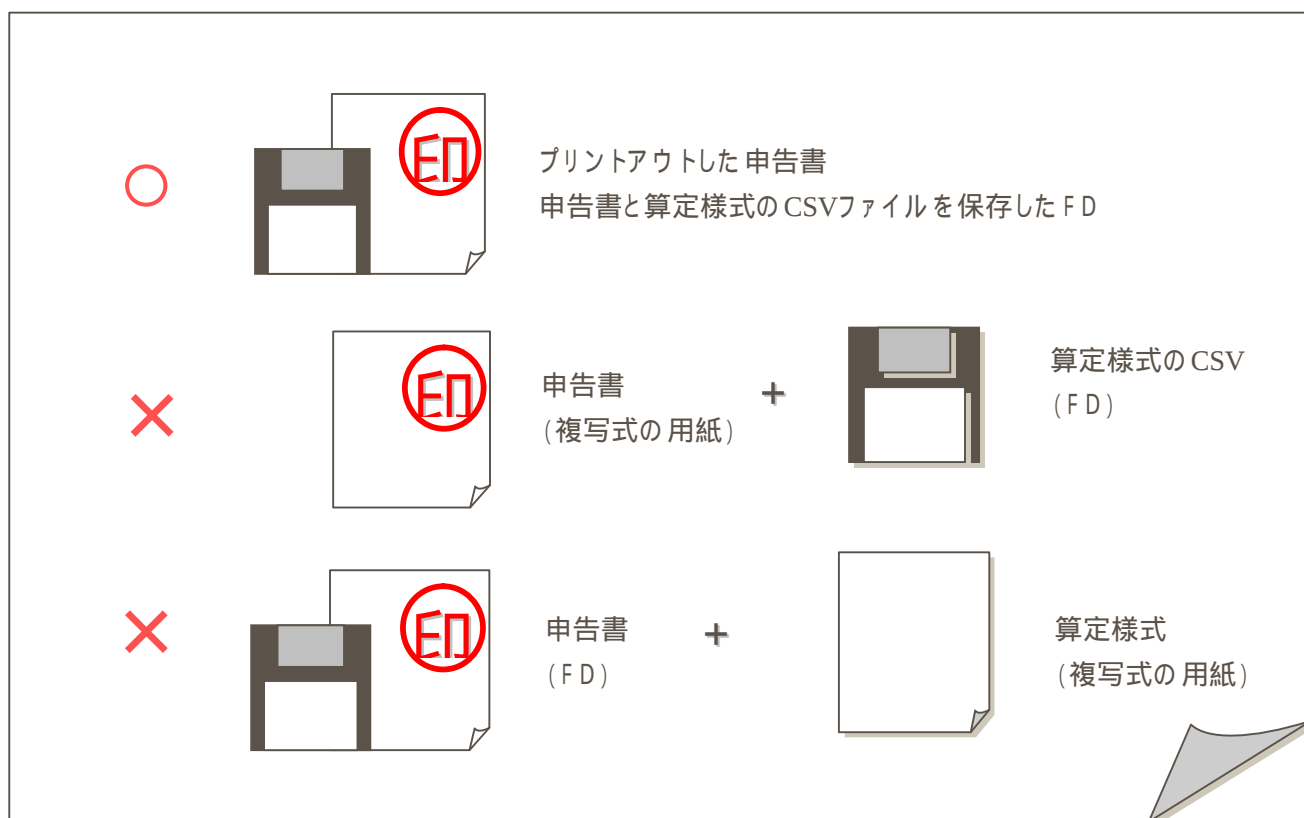
排出ガス測定の結果を示す書類（b様式）

加重平均一覧表

ただし、E様式、b様式及び加重平均一覧表のFD申告用様式では算定が困難な場合には、FDにデータを保存せず独自に作成した書類によって提出することができます。

(3) 提出にあたっての注意点

複写式の所定用紙と混在させて提出することはできません。



1 1) 誤りを訂正する場合

(1) 申告前の訂正

データを提出する前であれば、雛型ファイルに戻って誤りを修正したうえ、再度「機構提出用 F D 保存」ボタンで C S V ファイルを作成し、修正後の「申告書」を印刷し押印してください。

F D 申告では、印刷した紙の申告書を手書き訂正することはできません。

(2) 申告後の訂正

訂正がある場合は、機構へご連絡ください。

「事業所保管用エクセル保存」ボタンで Excel ファイルを保存している場合は、必要な訂正を行ったうえ F D で修正申告することができます (52 ページ記載例参照)。

1 2) その他

(1) 使用上のトラブル等

F D 申告用雛型ファイルを使用する際、様々なトラブルが発生することがあります。

どうしてもトラブルが解決できない場合には、用紙申告に切り替えていただくこともありますのでご了承ください。

なお、システム環境が原因であるケースもあるため、事業所のシステム管理者に確認していただく必要がある場合もありますのでご注意ください。

使用上のトラブル等	考えられる原因	解決方法
ホームページにアクセスできない ダウンロードできない。	URL 誤入力、事業所のサーバのトラブル、回線の混雑。	メッセージが出る場合にはブラウザソフトのセキュリティオプションの設定が、事業所のサーバやネットワークのセキュリティ上の問題である可能性があります。その場合、システム管理者に相談してください。 回線が混雑していると思われる場合には、時間帯を変えて再度試みてください。
ダウンロードしたが解凍できない ダウンロードしたファイルが開かない (「CRC エラー」等の表示)	ダウンロード中にファイルが破損。	再度、雛型ファイルをダウンロードしてください。
Excel97 で雛型ファイルを起動させようとするとう強制終了されてしまう。	Excel97 に SR -1 (サービスリリース -1) がインストールされていない。	バージョン情報で、「SR -1」または「SR -2」等の表示があるか確認してください。(Excel を開き、[ヘルプ (H)] メニューから [バージョン情報(A)]) Excel97 の発売当初のバージョンにはマクロ動作に係るバグが確認されており、そのままでは F D 雛型ファイルを起動しても直ちに強制終了される等の不具合が生じます。 したがって、Excel97 を使用する場合には、必ず SR -1 (サービスリリース -1) がインストールされていることが条件となります。 対応策としては、SR -1 をインストールするか、他のバージョンがインストールされたパソコンで再度操作してください。
バージョン情報で「SR -2」と表示されているにもかかわらず、強制終了されてしまう。	SR -1 がインストールされていない状態で、2000 年問題対策プログラムをインストールしてしまった。	Excel97 に 2000 年問題対策プログラムをインストールすると、バージョン情報には「SR -2」と表示されます。 ところが 2000 年問題対策プログラムには、SR -1 でカバーされるバグの内容は含まれていないため、SR -1 がインストールされていない状態で、2000 年問題対策プログラムをインストールしてしまった場合、前項同様、強制終了等の不具合は避けられません。 この場合、他のバージョンがインストールされたパソコンで再度操作してください。

使用上のトラブル等	考えられる原因	解決方法
[様式の追加] ボタン実行時に、「メモリ不足」等のメッセージが表示され、シートが追加できない。	Excel 雛型ファイルを F D 上で実行している。	Excel 雛型ファイルを、デスクトップやマイドキュメントなど、いったんパソコンのハードディスク上にコピーして実行してみてください。
「プロジェクトまたはライブラリが見つかりません」等のエラーメッセージ出現後、マクロが機能しなくなった。 「入力チェック」「印刷」「様式の追加」等ボタン押下時に強制終了されてしまう。（「不正な処理を行なったため、強制終了します」等のメッセージが出現するケースあり） 作業中に固まってしまう。	事業所のパソコン等の環境設定によりマクロファイルを使用できない。	F D 雛型ファイルは、本冊子 1 ページに記載した OS およびアプリケーションにおいて、標準インストール時の動作確認を行なっています。 ただし、パソコンを長期間使用することにより、インストール当初の環境が微妙に変わってしまったり、別のプログラムをインストールすることによって Excel の動作環境が上書きされ、不具合が発生する場合があります。 この場合、別のパソコンで操作するか、Excel を再インストールして再度操作してみてください。（前例では、別のパソコンに変えることで問題なく動作する場合があります）
	入力項目以外のセルを誤って操作したり、マクロ情報を変更した。	再度、雛型ファイルをダウンロードしてください。
	インターネットでダウンロード中にファイルの一部が壊れてしまった。	再度、雛型ファイルをダウンロードしてください。
Excel2000 以上で雛型ファイルを起動させようとする、警告シートが表示されて入力画面に移動することができない。 Excel がエラーメッセージを表示させる場合があります。	[Excel2000,2002,2003] Excel マクロのセキュリティレベルが、デフォルトの「高」以上に設定されている。	メッセージボックスを閉じ、[ツール(T)]メニューから[マクロ(M)] - [セキュリティ(S)...]と選択して、セキュリティダイアログボックスを開きます。[セキュリティレベル]タブで、セキュリティレベルを「中(M)」に切り替えてください。 Excel2000 バージョンより、マクロファイルを開く際にセキュリティレベルをユーザーが設定できるようになっております。 デフォルトは「高」に設定されていますが、F D 申告用雛型ファイルは「中」以下でなければ正しく開くことができません。 詳細な解決方法については、p.10を参照してください。
	[Excel2007] Excel マクロの設定で、全てのマクロを無効にする設定になっている。	解決方法については、p.12 を参照してください。

(2) ウイルスに感染したら

提出した F D のデータがウイルス等に感染している可能性がある場合には、速やかに機構へご連絡ください。

3. Excel 雛型ファイル入力記載例

1) 申告書入力記載例

算定様式もすべて同じです。

入力に関する共通事項

数字入力：半角、加マ(,)は自動で表示します。

セル内で改行することはできません。

黄色の範囲が、入力項目です。

各セルの右上隅の赤いマークにマウスを移動すると、入力項目の入力方法を表示します。

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
申告書を必ずこのボタンで印刷し、押印の上提出してください。

賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

郵便番号は、連続した7桁の半角数字(ハイフン"-"は含めない)を入力してください。ハイフンは入力後に自動で挿入されます。
【例】2128554

資本金は整数で入力してください。資本金がない場合には、0を入力してください。

前年の排出量は、取り込むか又は整数で入力し、小数点以下の端数は切り捨ててください。また、累積換算量(過去分)は賦課金番号を入力すると自動的に出力されます。
過去分、現在分がない場合も必ず0を入力してください。

選択することにより、自動的に期別納付額内訳が計算され、入力されます。

入力チェック 印刷 機構提出用FD保存 事業所保管用エクセル保存

平成XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日 平成XX年5月11日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告区分	賦課金区分	納付義務者番号	工場・事業場C・D
	10	1	03309	01 2

提出年月日を西暦日付(スラッシュ区切り)で入力すると和暦に変換します。
【例】2008/5/11→平成20年5月11日

② 納税義務者	(ア)住所	〒212-8554 神奈川県 川崎市 幸区 大宮町 1310	電話番号	044-520-9503
(イ)氏名又は名称	青空工業株式会社 印			
(ロ)代表者氏名	青空 一郎 印	(ハ)同左代理人	大森 一夫 印	
(ホ)資本金	8,230,000 千円			
③ 対象工場・事業場	(イ)所在地	〒983-0001 宮城県 仙台市 宮城野区 港 1-2-3	電話番号	022-582-8181
(ロ)名称	仙台工場			
(ハ)工場長氏名	大森 一夫	(ニ)業種名	鉄鋼業	④ 1時間当たりの最大排出ガス量
(イ)硫酸酸化物排出量	41,278	(ロ)単位排出量当たり賦課金(円/立方メートル)	11.11	(ハ)最大排出ガス量
(イ)硫酸酸化物排出量	31,178	(ロ)単位排出量当たり賦課金(円/立方メートル)	11.11	(ハ)最大排出ガス量
⑤ 延納の申請	●する ○しない			
⑥ 汚染負荷量賦課金の期別納付額内訳	(イ)全期又は第1期(初期)	(ロ)第2期	(ハ)第3期	(ニ)第4期
	980,900	980,800	980,800	980,800

電話番号は、以下の形式で入力してください。
【例】044-520-9503

該当する業種名を▼で選択してください。

最大排出ガス量は整数で入力してください。施設がない場合は、0を入力してください。

該当する賦課料率を選択してください。硫酸酸化物排出量が0の場合でも、必ず料率は選択してください。

該当する商工会議所名を▼で選択してください。

各機能の紹介

前年度データ複写	入力チェック	印刷	機構提出用 F D 保存	事業所保管用エクセル保存
----------	--------	----	--------------	--------------

前年の排出量 取り込み	負金 荷の 量計 算	分 現 在 分	前年の排出量 (m3N/年)		31,178	○	○	円	3,464,187
	◎延納の申請	◎する ○しない	○	◎111.11	○	○	円	合計	3,922,700

自動割振	⑦ 汚染負荷量賦課金の期別納付額内訳			
	(イ) 全期又は第1期 (初期)	(ロ) 第2期	(ハ) 第3期	(ニ) 第4期
	円	円	円	円
	980,900	980,600	980,600	980,600

管轄商工会議所		所属課 環境課	
仙台		電話番号	022-562-8181 (内283)
		フリガナ	タイキ マモル
		氏名	太伊木 守

前年度データ複写

→ 操作方法 P.15

前年度に F D またはオンラインにより 申告し、前年度の申告書のエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。(提出年月日、前年の排出量、現在分賦課料率及び現在分賦課金額、合計賦課金額は複写されません。)

前年の排出量取り込み

→ 操作方法 P.19

A ~ D の算定様式ファイルを既に作成している場合は、各様式で算定した排出量の合計値(小数以下切捨て)を現在分の硫黄酸化物排出量の欄に複写します。

工場・事業場毎に F D 保存することとなりますので、他の事業場分又は昨年の算定様式は選択しないでください。

自動割振

延納申請の欄の「する」、「しない」のいずれかをチェックすると自動的に期別納付額内訳が計算され、数値が入力されます。また、「自動割振」ボタンをクリックすることでも同様に自動計算され数値が入力されます。

機構提出用 F D 保存

→ 操作方法 P.20

「機構提出用 F D 保存」ボタンをクリックすると機構提出用の F D に C S V ファイルを自動で保存します。

メニューのファイルから保存するとエラーメッセージが表示されますので、必ずこのボタンを使用してください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」ボタンをクリックすると、エクセルファイルを指定したフォルダに保存します。メニューのファイルから保存するとエラーメッセージが表示されますので、必ずこのボタンを使用してください。



- 申告書に賦課金番号を入力すると、対応する事業場の過去分累積換算量を自動で表示します。

平成XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日 平成XX年X月X日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告 区分	賦課 区分	汚染負荷量賦課金番号		
			納付義務者 番号	工場・ 事業場 番号	C・D
	10	1	03309	01	2

②	(フリガナ)	カカワケン カワサキ サワイノ 材ミヤウ 1310
納付 場所	〒	埼玉県 川崎市 幸区 大宮町 1-1-1

⑤ 汚染 賦課 金 荷 の 量 計 算		(イ)硫酸化物排出量	(ロ)単位排出量当たり賦課金 (円/立方メートル)		(ハ)=(イ)*(ロ)汚染負荷量賦課金額
		累積換算量(m3N/算定基礎期間)	円	銭	円
	過去 分	41,278	74.69		3,083,053
	現在 分	31,178	○1973.55	○1160.91	円 4,021,650
⑥延納の申請	●する ○しない		○1335.05	○870.68	合計 円 7,104,700
			○1218.96	●128.99	

2) A 様式入力記載例

平成XX年度汚染負荷量賦課金
年間排出量の算定の過程を示す書類 (A)

① 賦課金番号 03309012 青空工業(株)仙台工場 ② 工種・事業種別 工業 ③ 年度 令和元年度 ④ 排出物 ⑤ 全排出

⑥ 排出物の種類 C型油 ⑦ 使用量の単位 L ⑧ 測定方法 ⑨ 測定回数 ⑩ 測定時期 ⑪ 測定場所

⑫ 測定結果 ⑬ 測定結果の補正 ⑭ 測定結果の補正率 ⑮ 測定結果の補正率の算出式

⑯ 測定結果の補正率の算出式 ⑰ 測定結果の補正率の算出式 ⑱ 測定結果の補正率の算出式

⑲ 測定結果の補正率の算出式 ⑳ 測定結果の補正率の算出式 ㉑ 測定結果の補正率の算出式

⑳ 測定結果の補正率の算出式 ㉒ 測定結果の補正率の算出式 ㉓ 測定結果の補正率の算出式

㉔ 測定結果の補正率の算出式 ㉕ 測定結果の補正率の算出式 ㉖ 測定結果の補正率の算出式

㉗ 測定結果の補正率の算出式 ㉘ 測定結果の補正率の算出式 ㉙ 測定結果の補正率の算出式

㉚ 測定結果の補正率の算出式 ㉛ 測定結果の補正率の算出式 ㉜ 測定結果の補正率の算出式

㉝ 測定結果の補正率の算出式 ㉞ 測定結果の補正率の算出式 ㉟ 測定結果の補正率の算出式

㊱ 測定結果の補正率の算出式 ㊲ 測定結果の補正率の算出式 ㊳ 測定結果の補正率の算出式

㊴ 測定結果の補正率の算出式 ㊵ 測定結果の補正率の算出式 ㊶ 測定結果の補正率の算出式

㊷ 測定結果の補正率の算出式 ㊸ 測定結果の補正率の算出式 ㊹ 測定結果の補正率の算出式

㊺ 測定結果の補正率の算出式 ㊻ 測定結果の補正率の算出式 ㊼ 測定結果の補正率の算出式

㊽ 測定結果の補正率の算出式 ㊾ 測定結果の補正率の算出式 ㊿ 測定結果の補正率の算出式

㊿ 測定結果の補正率の算出式

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷 (A4判) します。
なお、[ファイル] メニューの [印刷] を実行しても、印刷処理はできません。

シート名は変更しないでください。

各機能の紹介

5月	500,841	0.944	2.17	85.89	1,013.3
6月	501,032	0.940	2.22	85.89	1,032.6
7月	480,305	0.941	2.30	86.12	1,010.0
8月	368,274	0.941	2.34	86.12	787.8
9月					0.0
10月	480,392	0.938	2.32	85.78	1,040.6
11月	499,457	0.935	2.34	85.92	1,077.0
12月	506,656	0.942	2.27	85.92	1,067.8
年間計	⑤年間使用量 5,219,250				⑤年間SO ₂ 排出量 11,281.8

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用F D保存
前年度データ複写				事業所保管用エクセル保存

使用量の単位、入力方式、脱硫の有無は最初に指定するようにしてください。
(後で変更すると、入力データが消去されます。)

前年度データ複写

前年度にF Dまたはオンラインにより申告し、前年度の算定過程Aのエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

A様式を複数枚使用して前年の排出量を求める場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

例えば、A様式を5枚使用する場合、「算定様式の追加」を4回繰り返します。

算定様式の削除

A様式を追加し、複数枚の算定様式を作成した後にダブリ等により、不要なA様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。

(「No」の表示は自動的に修正されます。)

機構提出用F D保存

「機構提出用F D保存」ボタンをクリックすると機構提出用のF DにCSV形式で保存されます。(通常F DドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってF DドライブがA以外場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

3) B 様式入力記載例

(排出ガス測定により求める場合)

平成xx年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類(B)

様式を追加すると自動で表示されます。

賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

①賦課金番号

00233010

工場・事業場名

(株)白神製紙 秋田工場

②No

B-01 枚目
05 全枚数

該当するものにチェックをしてください。

④脱硫の有無
☐ 無
☐ 排煙脱硫
☒ 集じん等脱硫
☒ 製品等脱硫

入力切替
(下欄参照)

燃原料種別、使用量、密度、含有硫黄分は、A 様式入力記載例と同様です。

③施設名 1号 黒液回収ボイラー

☒ 一般用
☐ 積算計使用

使用量は整数値で入力してください。

密度は、小数点以下 3 桁までの数値で入力してください。

含有硫黄分は、小数点以下 2 桁までの数値で入力してください。

⑤年月	⑥燃原料の種別	⑦使用量	⑧単位	⑨密度	⑩含有硫黄分	⑪補正排出ガス量	⑫補正SOx濃度	⑬稼働時間	⑭SOx排出量
年	種別	その他名称		g/cm ³	%	m ³ N/h	ppm	h	m ³ N
1月	黒液			0.805,988	1.56	68,480	156	720	7,631.6
2月	黒液			0,229,158	1.56	71,620	166	672	7,989.9
3月	黒液			9,700,905	1.56	75,640	160	744	9,004.1
4月	黒液			10,142,078	1.56	80,890	154	720	8,969.0
5月	黒液			9,873,968	1.56	78,420	162	744	9,451.8
6月	黒液			9,694,124	1.56	78,170	173	720	9,796.8
7月	黒液			6,830,541	1.56	75,580	158	521	6,221.5
8月	黒液			2,924,849	1.56	77,500	147	228	2,540.5
9月	黒液			10,019,408	1.56	79,910	168	720	9,665.9
10月	黒液			10,124,518	1.56	78,450	153	744	8,990.1
11月	黒液			10,273,651	1.56	81,940	173	720	10,206.4
12月	黒液			8,949,475	1.56	72,660	154	679	7,597.7
年間計	黒液			⑩年間使用量 104,968,857					⑭年間SOx排出量 98,004.7

補正排出ガス量、補正SOx濃度、稼働時間は整数値で入力してください。

シート名は変更しないでください。

入力チェック 算定様式の追加 算定様式の削除 印刷 機構提出用FD保存 事業所保管用エクセル保存

前年度データ複写

I\B様式5/B様式4/B様式3/B様式2/B様式1/

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、印刷処理はできません。

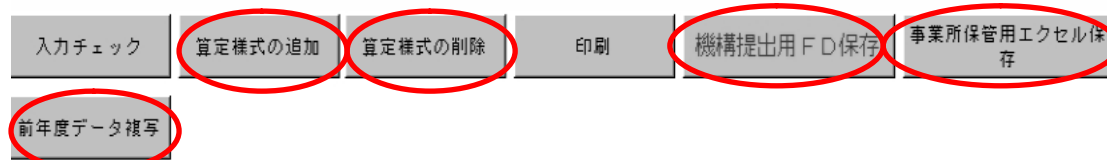
【入力切替】

通常の場合は「一般用」をチェックした状態で使用してください。

「積算計使用」は、SO₂量を連続測定している場合のみ使用してください(この場合、補正排出ガス量、補正SO_x濃度、稼働時間は可能な限り入力してください)。

各機能の紹介

9月	黒液	▼	10,019,408	kg	▼	1.56					
	黒液	▼		L	▼		79,910	168	720		9,665.9
10月	黒液	▼	10,124,518	kg	▼	1.56					
	黒液	▼		L	▼		78,450	153	744		8,930.1
11月	黒液	▼	10,273,651	kg	▼	1.56					
	黒液	▼		L	▼		81,940	173	720		10,206.4
12月	黒液	▼	8,349,475	kg	▼	1.56					
	黒液	▼		L	▼		72,660	154	679		7,597.7
年間計	黒液	▼	◎年間使用量							◎年間30x排出量 m3N	
		▼	104,968,657		▼						98,004.7



前年度データ複写

前年度にFDまたはオンラインにより申告し、前年度の算定過程Bのエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

B様式を複数枚使用して前年の排出量を求める場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

例えば、B様式を5枚使用する場合は、「算定様式の追加」を4回繰り返します。

算定様式の削除

B様式を追加し、複数枚の算定様式を作成した後にダブリ等により、不要なB様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。

(「No」の表示は自動的に修正されます。)

機構提出用FD保存

「機構提出用FD保存」をクリックすると機構提出用のFDにCSV形式で保存されます(通常FDドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってFDドライブがA以外場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用Excel保存

「事業所保管用Excel保存」をクリックするとExcel形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

施設の通し番号を整数値で入力してください。
【例】 01

様式を追加すると自動で表示されます。

賦課金番号は、
申告書記載の番
号を入力してく
ださい。

(Sバランスにより求める場合)

平成xx年度汚染負荷量賦課金
年間排出量の算定の過程を示す書類 (C)

年月は各月の
最初の行に整数
で入力してくだ
さい。
【例】1月→1

装入量は整数
値で入力してく
ださい。

密度は、小数点
以下 3 桁までの
数値で入力して
ください。

含有硫黄分は、原料の場合には小数点以下 3 桁、燃料の場合には小数点以下 2 桁までの数値で入力してください。

製品脱硫以外に脱硫装置がある場合には選択してください。

産出量は整数値で入力してください。

含有硫黄分
は、小数点以
下 3 桁までの
数値で入力し
てください。

補正後の脱硫効率は、施設の後脱硫装置があり脱硫効率を計算している場合に、小数点以下2桁までの数値で入力してください。

① 賦課金番号
03586011

工場・事業場名
(株) 堅井セメント 小諸工場

② 施設名
1号セメント焼成キルン

③ No
C-01
04

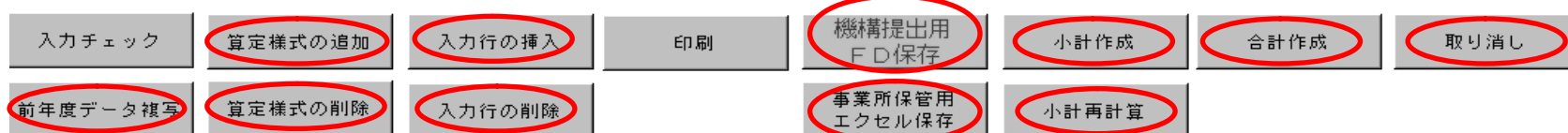
④ 脱硫の種類
☐ 排煙脱硫
☐ 集じん等脱硫

⑤ 年月		⑥ 燃原料の種類		⑦ 装入量	単位	⑧ 密度	⑨ 含有硫黄分	⑩ 硫黄量(1)	⑪ 製品等の種類	⑫ 産出量	⑬ 含有硫黄分	⑭ 硫黄量(2)	⑮ 補正後の脱硫効率	⑯ SO _x 排出量
##		名称	コード			g/cm ³	%	kg	名称	kg	%	kg	%	m ³
1		石灰石	84	164,026.891	kg		0.006	9,841	クリンカー	125,701.683	0.240	301,683		
1		粘土	84	27,391.830	kg		0.444	124,293						
1		珪石	84	8,109.766	kg		0.013	1,054						
1		鉄原料	84	4,708.905	kg		0.328	15,445						
1		C重油	05	12,087.356	L	0.944	2.390	272,258						
小計								422,881				301,683		84,838.
12		石灰石	84	182,635.737	kg		0.005	9,131	クリンカー	139,962.479	0.239	324,510		
12		粘土	84	31,167.502	kg		0.478	148,357						
12		珪石	84	9,029.819	kg		0.015	1,354						
12		鉄原料	84	5,243.130	L		0.272	14,261						
12		C重油	05	13,438.337	L	0.943	2.410	305,359						
小計								478,462				324,510		100,768.
合計								5,272,856				3,721,728		10,652,898.
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									
					kg									

入力後、必ずチェックを行ってください。
現在のページの小計および合計以外の行の
チェックを行います。

現在表示されている画面を印刷(A 4 判) します。
 なお、「ファイル」メニューの「印刷」を実行しても、印刷処理はできません。

小計						478,482				334,510		100,788.4
合計			kg			5,272,858				3,721,728		10,857,898.0
			kg									
			kg									



前年度データ複写

前年度に F D またはオンラインにより 申告し、前年度の算定過程 C のエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

C 様式を複数枚使用して前年の排出量を求める場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

例えば、C 様式を 4 枚使用する場合、「算定様式の追加」を 3 回繰り返します。

なお、合計の行を作成した後に算定様式を追加することはできません。後述する「取り消し」で合計の行を削除した後、「算定様式の追加」を行ってください。また、算定様式の追加後は「脱硫の有無」の変更ができませんのでご注意ください。

算定様式の削除

C 様式を追加し、複数枚の算定様式を作成した後にダブリ等により、不要な C 様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると最終ページ()の算定様式が削除されます。(「No」の表示は自動的に修正されます。)

C 様式では、同じ月の入力データが複数の算定様式にまたがっている場合があります。そのため、最終ページ以外の算定様式の削除は行えないようにしていますので、注意してください。

入力行の挿入

同じ月の装入量等にデータ入力漏れがあった場合、行の挿入が可能です。挿入する行の先頭にカーソルをおき、「入力行の挿入」をクリックすると行が追加されます。

入力行の削除

同じ月の入力データにダブリ等で誤りがあり、その行を削除する場合、削除する行にカーソルをおき「入力行の削除」をクリックするとその行が削除されます。なお、小計または合計の行を削除する方法については、「取り消し」を参照してください。

機構提出用F D 保存

「機構提出用F D 保存」をクリックすると機構提出用のF D にCSV形式で保存されます(通常F DドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってF DドライブがA以外場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

なお、合計行が作成されていない場合には、F D への保存はできません。「合計作成」で合計行を作成してからF D に保存してください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

小計作成

月毎のSOx 排出量を計算する場合は、小計を作成する行にカーソルをおき、「小計作成」をクリックすると装入側の硫黄量、算出側の硫黄量及びSOx 排出量が自動計算されます。

なお、年月に誤りがあると小計行を作成することができません。年月を修正した後、小計行の作成を行ってください。

小計再計算

「行の挿入」、「行の削除」を行った場合で既に小計を作成している場合、または入力値を変更した場合には、「小計再計算」をクリックすると全ページの小計が再度自動計算されます。

合計作成

1月から12月のすべてのデータを入力し、小計を作成した後、「合計作成」をクリックすると年間の装入側硫黄量、年間算出側硫黄量及び年間SOx 排出量が自動計算されます。

なお、「行の追加」、「行の削除」、「様式の追加」、「様式の削除」等を行い、「小計再計算」により小計を再計算する場合、一度合計を後述する「取り消し」で取り消した後、再度「合計作成」を行う必要があります。また、合計の行を作成した場合には、合計の行以降にデータを入力するとF D への保存時にエラーとなります。データを入力する場合には、一度合計を「取り消し」で取り消した後、データを入力してください。

取り消し

合計または小計の行を削除したい場合には、取消しを行いたい小計または合計の行にカーソルをおき「取り消し」をクリックすると合計の行が削除されます。

【複数の施設を別のC様式で算定する場合】

(Sバランスにより求める場合)

平成xx年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類 (C)

①賦課金番号 03586011	工場・事業場名 (株) 堅井セメント 小諸工場	②施設名 1号セメント焼成キルン	③No. C-02-	01 04	現枚数 全枚数	④脱硫の種類 ☐ 排煙脱硫 ☐ 集じん等脱硫
--------------------	----------------------------	---------------------	---------------	----------	------------	--

⑤年月 ##	⑥燃原料の種別 名称 コード	⑦装入量	単位	⑧密度 g/cm ³	⑨含有硫黄分 %	⑩硫黄量(1) Kg	⑪製品等の種別 名称	⑫産出量 kg	⑬含有硫黄分 %	⑭硫黄量(2) Kg	⑮補正後の脱硫効率 %	⑯SO _x 排出量 mg/N
1	石灰石	84	kg		0.006	9,841	クリンカー	125,701,689	0.240	901,689		

複数の施設を別のC様式で算定する場合は、「様式の追加」により様式を追加するのではなく、ダウンロードした新しい様式を表示させ、別の施設分のSO_x量を算定する必要があります。

この場合、の様式ナンバーは次のようになります。

【例】2つ目の施設は「C-02」

5) D 様式入力記載例

(1) 廃棄物の硫黄分より算定する場合

(廃棄物を焼却する清掃工場の場合)

平成xx年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類 (D)

様式を追加すると自動で表示されます。

(1) 賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

(1) 賦課金番号
06041010

工場・事業場名
大手町 西焼却場

(2) No
D-01
02

(3) 脱硫の有無
☒ 無
☐ 排煙脱硫
☐ 集じん等脱硫

該当するものにチェックをしてください。
「無」を選択した場合、(9)、(15)の補正後の脱硫効率の欄は入力できません。

(6) 焼却量は整数で入力してください。

廃棄物の硫黄分より算定する場合、選択されていることを確認してください。

(7) 密度は、小数点以下3桁までの数値で入力してください。

廃棄物の種類を選択してください。

種別	(5) 焼却年月	(6) 焼却量	単位	(7) 密度	(8) 含有硫黄分	(9) 補正後の脱硫効率	(10) SOx排出量
				g/cm ³	%	%	m ³ N
(4) 助燃剤等	1月~12月	144,618	L	0.879	0.92		818.6
			L				0.0
	年	kg					
	1月	1,176,000					
	2月	1,040,000					
	3月	1,599,000					
	4月	1,904,000					
	5月	1,119,000					
	6月	1,946,000					
	7月	1,481,000					
	8月	1,406,000					
	9月	1,978,000					
	10月	1,513,000					
	11月	1,418,000					
	12月	1,442,000					
	(19) 年間焼却量	kg					
		16,822,000			0.09		9,592.6
(11) 廃棄物の種類							
都市ごみ							
	(18) 焼却年月	(19) 焼却量	(20) 補正排出ガス量	(21) 補正SOx濃度	(22) 測定中の焼却量	(23) 1t当たりのSOx量	(26) 年間SOx排出量
		kg	m ³ N/h	ppm	kg/h	m ³ N/t	((24) × (25))
	年						
	1月					0.000	
	2月					0.000	
	3月					0.000	
	4月					0.000	
	5月					0.000	
	6月					0.000	
	7月					0.000	
	8月					0.000	
	9月					0.000	
	10月					0.000	
	11月					0.000	
	12月					0.000	
	(24) 年間焼却量	kg				(25) 平均値	m ³ N
		0				0.000	
	(27) SOx排出量の合計						m ³ N
	((10) + (16) + (26))						4,951.2

年間で密度、硫黄分の異なる燃料を複数回購入して使用した場合は、加重平均し、年間の平均密度及び硫黄分を計算してください。

(8)、(14)の含有硫黄分は小数点以下2桁までの数値で入力してください。

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用FD保存	事業所保管用エクセル保存
前年度データ複写					
D様式2 D様式1					

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷 (A4判) します。
なお、[ファイル] メニューの[印刷] を実行しても、印刷処理はできません。

(2) 排ガス測定より算定する場合

(1) 賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

(1) 賦課金番号
06041010

平成xx年度汚染負荷量賦課金

年間排出量の算定の過程を示す書類 (D)

工場・事業場名
大手町 西焼却場

様式を追加すると自動で表示されます。

(2) Na
D- 02
02

(3) 脱硫の有無
☐ 無
☒ 排煙脱硫
☐ 集じん等脱硫

(6)、(19)の焼却量は整数で入力してください。

廃棄物の種類を選択してください。

排ガス測定より算定する場合、選択されていることを確認してください。

(20) 補正排出ガス量は整数値で入力してください。

(21) 補正 SOx 濃度は整数値を入力してください。

種別	(5) 焼却年月	(6) 焼却量	単位	(7) 密度	(8) 含有硫黄分	(9) 補正後の脱硫効率	(10) SOx 排出量
(4) 助燃剤等				g/cm ³	%	%	m ³ N
A 重油	1 月 ~ 1 2 月	94,772	L	0.853	0.07		39.6
	年		L				0.0
(12) 〇	1 月		kg				
	2 月						
	3 月						
a. 廃棄物の算定	4 月						
	5 月						
	6 月						
	7 月						
	8 月						
	9 月						
	10 月						
	11 月						
	12 月						
(18) 年間焼却量			kg				
							0.0
(11) 廃棄物の種類 都市ごみ							
(17) 〇	1 月	3,886,480	kg	45,000	25	5,825	0.193
	2 月	2,728,040					0.000
b. 排ガスの算定	3 月	2,781,090		36,900	21	4,990	0.155
	4 月	2,009,600					0.000
	5 月	2,118,500		41,200	26	5,082	0.211
	6 月	2,482,110					0.000
	7 月	3,448,830		47,200	28	5,967	0.246
	8 月	3,218,880					0.000
	9 月	1,155,550		43,500	24	5,028	0.207
	10 月	2,843,720					0.000
	11 月	3,155,820		49,800	23	5,124	0.223
	12 月	2,936,780					0.000
(24) 年間焼却量			kg				
							8,716.4
		32,763,130					8,756.0
(27) SOx 排出量の合計 ((10)+(16)+(26))							8,756.0

(22) 測定中の焼却量は整数を入力してください。

排ガス量の測定結果は b 様式に入力してください (測定回数は、原則 2 ヶ月に 1 回以上)。

入力チェック

前年度データ複写

算定様式の追加

算定様式の削除

印刷

機構提出用 F D 保存

事業所保管用 エクセル保存

現在表示されている画面を印刷 (A 4 判) します。なお、[ファイル] メニューの [印刷] を実行しても、印刷処理はできません。

各機能の紹介

計算	6月	2,482,110				0.000	
測定	7月	3,448,630	47,200	28	5,367	0.246	
測定	8月	3,718,860				0.000	
測定	9月	1,155,550	43,500	24	5,028	0.207	
場合	10月	2,843,720				0.000	
	11月	3,155,820	49,800	23	5,124	0.223	(26)年間SOx排出量
	12月	2,936,780				0.000	((24)×(25))
	(24) 年間焼却量	kg			(25)平均値		m ³ N
		32,763,130				0.205	6,716.4
					(27)SOx排出量の合計 ((10)+(16)+(26))		m ³ N
							6,756.0

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用 F D保存	事業所保管用 エクセル保存
前年度データ複写					

前年度データ複写

前年度にF Dまたはオンラインにより 申告し、前年度の算定過程Dのエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

D様式を複数枚使用して前年の排出量を求める場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

例えば、D様式を3枚使用する場合は、「算定様式の追加」を2回繰り返します。

算定様式の削除

D様式を追加し、複数枚の算定様式を作成した後にダブリ等により、不要なD様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。

(「(2)No」の表示は自動的に修正されます。)

機構提出用F D保存

「機構提出用F D保存」をクリックすると機構提出用のF DにCSV形式で保存されます(通常F DドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってF DドライブがA以外の場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

(1) イ式で求める場合

平成XX年度汚染負荷量賦課金
補正後の脱硫効率の算定の過程を示す書類（E）

様式を追加すると自動で表示されます。

脱硫効率の算定方法を選択してください。

賦課金番号は、
申告書記載の
番号を入力し
てください。

～ は入力
必須項目です。

使用量は整数値
で入力してくだ
さい。

密度は、小数
点以下 3 桁まで
の数値で入力し
てください。

「SO_x」または「SO₂」濃度のいずれかを選択してください（SO₂濃度の場合は「手引」を参照し補正係数を入力してください）。

～ は脱硫
装置の仕様等
を入力してく
ださい。

共通事項は可能な限り入力してください。

測定年月日、脱硫適用期間は、入力必須項目です。

含有硫黄分
は、小数点以
下 2 桁までの
数値で入力し
てください。

O₂ 濃度、排出
がス量を連続
測定し、平均
O₂ 濃度、平均
排出がス量で
把握している
場合も、
、にそれ
ぞれの平均値
を入力してく
ださい。

補正後の脱硫効率は入力項目です
(自動計算はされません)。

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A 4判) します。
 なお、[ファイル] メニューの[印刷] を実行しても、
 印刷処理はできません。

(2) 口式で求める場合

脱硫効率の算定方法を
選択してください。

賦課金番号は、
申告書記載の
番号を入力し
てください。

～ は入力
必須項目です。

使用量は整数値
で入力してく
ださい。

脱硫効率の算定
方法に(口)、
(ハ)を選択した
場合は燃原料か
ら求めるSO_x量
は入力しないで
ください。

「SO_x」または
「SO₂」濃度の
いずれかを選択
してください
(SO₂濃度の
場合は「手引」
を参照し補正係
数を入力してく
ださい)。

平成XX年度汚染負荷量賦課金 補正後の脱硫効率の算定の過程を示す書類(E)

様式を追加すると自動
で表示されます。

～ は脱
硫装置の仕
様等を入力し
てください。

共通事項は可
能な限り入力し
てください。
測定年月
日、脱硫適
用期間は、入
力必須項目で
す。

入口、出口と
もO₂濃度、排
出ガスを連
続測定し、平
均O₂濃度、平
均排出ガス量
で把握してい
る場合も、
、にそれ
ぞれの平均値
を入力してく
ださい。

賦課金番号 03309012 脱硫効率の算定式 (口) 工場・事業場名 青空工業(株) 仙台工場 No. E- 01 枚目 01 全枚数

1. 一般事項

①関連する様式番号	A-02/04	②脱硫方式	亜鉛酸ソーダ法
③測定機関(又は部門)	NS分析センター	④施設最大排出ガス量	115,700 m ³ N
⑤脱硫対象施設名	4号ボイラー	⑥脱硫装置処理能力	150,000 m ³ N
⑦最大燃原料使用量	種類 使用量 A重油 11,360 L/h	⑧脱硫効率(設計値)	入口SO _x 濃度 出口SO _x 濃度 % 1,300 130 90
		⑨脱硫装置稼働開始年月日	昭和XX年X月X日
		⑩脱硫装置の制作メーカー	K工業㈱

2. 測定及び算定内容

(1) 共通事項

①測定年月日	SO _x 濃度	平成XX年X月X日	②適用期間中における平均燃原料使用量	種類 使用量 A重油 2,262 L/h
③脱硫適用期間	排出ガス量	平成XX年X月X日		L/h
	脱硫適用期間	平成XX年X月～X月		L/h

(2) 燃原料から求めるSO_x量(Sf)

項目	①燃原料の種類	②測定時の使用量	③密度	④含有硫黄分	⑤SO _x 量
測定値又は 計算値等		L/h	g/cm ³	%	
		L/h	g/cm ³	%	
		L/h	g/cm ³	%	
		L/h	g/cm ³	%	
		L/h	g/cm ³	%	
⑥合計SO _x 量(有効数字4桁) Sf=					

(3) 排出ガス測定から求めるSO_x量

項目	a 脱硫装置前(入口)のSO _x 量	b 脱硫装置後(出口)のSO _x 量
①SO ₂ 濃度測定値(ppm)		
②平均SO ₂ 濃度(ppm)	(有効数字3桁) 956	(有効数字3桁) 8
③SO ₂ 濃度への補正係数	(有効数字3桁) 1.03	(有効数字3桁) 1.02
④補正SO ₂ 濃度(ppm)	(有効数字3桁) Si= 984	(有効数字3桁) Se= 8.16
⑤SO ₂ 濃度測定時の平均O ₂ 濃度(%)	(有効数字3桁) Oi= 6.4	(有効数字3桁) Oe= 6.5
⑥排出ガス量測定値(乾気)(m ³ N/h)	95600	101200
⑦平均排出ガス量(m ³ N/h)	(有効数字4桁) 95600	(有効数字4桁) 101200
⑧排出ガス量測定時のO ₂ 濃度測定値(%)	6.4	6.5
⑨排出ガス量測定時の平均O ₂ 濃度(%)	(有効数字3桁) 6.4	(有効数字3桁) 6.5
⑩補正排出ガス量(m ³ N/h)	(有効数字4桁) Vi= 95600	(有効数字4桁) Ve= 101200
⑪SO _x 量(m ³ N/h)	(有効数字4桁) 94.07	(有効数字4桁) 0.8257
硫黄化合物濃度の測定	⑫SO _x 濃度測定法	⑬採取ガス量(L)
	赤外線吸収法	赤外線吸収法

(4) 脱硫効率及び脱硫効率の補正

項目	測定値又は計算値等
①脱硫効率(%)	(小数点以下2桁) 98.12
②施設の稼働時間数(h)	744
③脱硫装置の稼働時間数(h)	744
④施設の排出ガス量(m ³ N/h)	
⑤脱硫装置の処理ガス量(m ³ N/h)	
⑥その他の補正係数	(有効数字3桁)
⑦補正後の脱硫効率(%)	(小数点以下2桁) 98.12

入力チェック

算定様式の追加

算定様式の削除

印刷

機構提出用FID保存

事業所保管用
エクセル保存

前年度データ復写

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

補正後の脱硫効率は入力項目です(自動計算
はされません)。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、
印刷処理はできません。

(3) 八式で求める場合

脱硫効率の算定方法を
選択してください。

平成XX年度汚染負荷量賦課金
補正後の脱硫効率の算定の過程を示す書類(E)

様式を追加すると自動
で表示されます。

賦課金番号は、
申告書記載の
番号を入力し
てください。

～ は入力
必須項目です。

使用量は整数値
で入力してく
ださい。

脱硫効率の算定
方法に(ロ)、
(ハ)を選択し
た場合は燃原料
から求める SOx 量
は入力しないで
ください。

「SOx」または
「SO₂」濃度の
いずれかを選択
してください
(SO₂濃度の
場合は「手引」
を参照し補正係
数を入力してく
ださい)。

～ は脱硫
装置の仕様等
を入力してく
ださい。

共通事項は可
能な限り入力
してくださ
い。
測定年月
日、脱硫適
用期間は、入
力必須項目で
す。

O₂ 濃度を連続
測定し、平均
O₂ 濃度を把握
している場合
も、にその平
均値を入力し
てください。

補正後の脱硫効率は、入力項目です(自動計
算はされません)。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、
印刷処理はできません。

賦課金番号		脱硫効率の算定式		工場・事業場名		No. E-	
03309012		(ロ)		青空工業(株) 仙台工場		01 枚目 01 全枚数	
1. 一般事項							
①関連する様式番号	1-03/04, 04/04			⑤脱硫方式	亜硫酸ソーダ法		
②測定機関(又は部門)	NS分析センター			⑥施設最大排出ガス量	95,000 m ³ N		
③脱硫対象施設名	黄亜硫酸施設			⑦脱硫装置処理能力	120,000 m ³ N		
④最大燃原料使用量	種類	使用量		⑧脱硫効率(設計値)	入口SOx濃度 出口SOx濃度		
	A重油	980 L/h			1,200 80		
	排水汚泥	1,000 L/h		⑨脱硫装置稼働開始年月日	昭和XX年X月X日		
				⑩脱硫装置の制作メーカー	CC工業		
2. 測定及び算定内容							
(1) 共通事項							
①測定	SOx濃度	平成XX年X月	②適用期間中における	種類	使用量		
	年月日		平均燃原料使用量	A重油	890 L/h		
③脱硫適用期間	平成XX年X月			排水汚泥	890 L/h		
(2) 燃原料から求めるSOx量(Sf)							
項目	①燃原料の種類	②測定時の使用量	③密度	④含有硫黄分	⑤SOx量		
測定値又は 計算値等		L/h	g/cm ³	%			
		L/h	g/cm ³	%			
		L/h	g/cm ³	%			
		L/h	g/cm ³	%			
		L/h	g/cm ³	%			
		L/h	g/cm ³	%			
⑥合計SOx量(有効数字4桁) Sf=							
(3) 排出ガス測定から求めるSOx量							
項目	a 脱硫装置前(入口)のSOx量			b 脱硫装置後(出口)のSOx量			
①SO ₂ 濃度測定値(ppm)							
②平均SO ₂ 濃度(ppm)	(有効数字3桁)			(有効数字3桁)			
③SO ₂ 濃度の補正係数	(有効数字3桁)			(有効数字3桁)			
④補正SO ₂ 濃度(ppm)	Si=			Se=			
⑤SO ₂ 濃度測定時のO ₂ 濃度測定値(%)	6.7			7.2			
⑥SO ₂ 濃度測定時の平均O ₂ 濃度(%)	(有効数字3桁) Oi=			(有効数字3桁) Oe=			
⑦排出ガス量測定値(乾基)(m ³ N/h)							
⑧平均排出ガス量(m ³ N/h)	(有効数字4桁)			(有効数字4桁)			
⑨排出ガス量測定時のO ₂ 濃度測定値(%)							
⑩排出ガス量測定時の平均O ₂ 濃度(%)	(有効数字3桁)			(有効数字3桁)			
⑪補正排出ガス量(m ³ N/h)	(有効数字4桁) Vi=			(有効数字4桁) Ve=			
⑫SOx量(m ³ N/h)	(有効数字4桁)			(有効数字4桁)			
硫黄酸化物濃度の測定							
	⑬SO ₂ 濃度測定法	⑭採取ガス量(L)	⑮SO ₂ 濃度測定法	⑯採取ガス量(L)			
	赤外線吸収法		赤外線吸収法				
(4) 脱硫効率及び脱硫効率の補正							
項目	測定値又は計算値等						
①脱硫効率(%)	(小数点以下2桁) 98.99						
②施設の稼働時間数(h)	720						
③脱硫装置の稼働時間数(h)	720						
④施設の排出ガス量(m ³ N/h)							
⑤脱硫装置の処理ガス量(m ³ N/h)							
⑥その他の補正係数	(有効数字3桁)						
⑦補正後の脱硫効率(%)	(小数点以下2桁) 98.99						

入力チェック

算定様式の追加

算定様式の削除

印刷

機構提出用FID保存

事業所保管用
エクセル保存

前年度データ複写

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

各機能の紹介

⑤ SO _x 濃度測定時の○2濃度測定値(%)				7.1	6.6	6.8
⑥ SO _x 濃度測定時の平均○2濃度(%)	(有効数字3桁) 0i=			(有効数字3桁) 0e=		6.83
⑦ 排出ガス量測定値(乾き) (m3N/h)				9980	9860	9490
⑧ 平均排出ガス量 (m3N/h)	(有効数字4桁)			(有効数字4桁)		9776
⑨ 排出ガス量測定時の○2濃度測定値(%)				7.4	7.2	6.8
⑩ 排出ガス量測定時の平均○2濃度(%)	(有効数字3桁)			(有効数字3桁)		7.13
⑪ 補正排出ガス量 (m3N/h)	(有効数字4桁) Vi=			(有効数字4桁) Ve=		9569
⑫ SO _x 量 (m3N/h)	(有効数字4桁)			(有効数字4桁)		1.081
硫酸酸化物濃度の測定	⑬ SO _x 濃度測定法	⑭ 採取ガス量(L)	⑮ SO _x 濃度測定法	⑯ 採取ガス量(L)		
			イオンクロマトグラフ法		20	

(4) 脱硫効率及び脱硫効率の補正

項目	測定値又は計算値等
① 脱硫効率 (%)	(小数点以下2桁) 89.01
② 施設の稼働時間数 (h)	1416
③ 脱硫装置の稼働時間数 (h)	1345
④ 施設の排出ガス量 (m3N/h)	9569
⑤ 脱硫装置の処理ガス量 (m3N/h)	9569
⑥ その他の補正係数	(有効数字3桁) -
⑦ 補正後の脱硫効率 (%)	(小数点以下2桁) 84.54

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用F D保存	事業所保管用エクセル保存
前年度データ複写					

入力項目が異なる場合は、[脱硫効率の算定式] 及び[(3) 排出ガス測定から求めるSO_x量] のSO_x濃度かSO₂濃度かを選択する欄が適正であるか確認してください。

前年度データ複写

前年度にF Dまたはオンラインにより申告し、前年度の算定過程Eのエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

複数の補正後の脱硫効率を求める場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

様式を追加した場合、脱硫効率の算定方式(イ～ハ式)及び一般事項は追加前の内容が表示されます。変更があれば、訂正する必要があります。

例えば、E様式を5枚使用する場合、「算定様式の追加」を4回繰り返します。

算定様式の削除

E様式を追加し、複数枚の算定様式を作成した後にダブリ等により、不要なE様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。

(「No」の表示は自動的に修正されます。)

機構提出用F D保存

「機構提出用F D保存」をクリックすると機構提出用のF DにCSV形式で保存されます(通常F DドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってF DドライブがA以外場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

7) b 様式入力記載例

(1) SOx濃度測定の場合

賦課金番号は、
申告書記載の番
号を入力してく
ださい。

平成XX年度汚染負荷量賦課金 排出ガス測定の結果を示す書類 (b)

様式を追加すると自動
で表示されます。

賦課金番号
03309012

工場・事業場名
(株)白神製紙 秋田工場

No. b-
01 科目
02 全枚数

1. 一般事項

① 関連する様式・番号 B-01/03	④ 最大燃原料使用量	種類	使用量
② 測定機関(又は部門) NS分析センター		黒液	18,000 kg/h
③ 測定対象施設名 1号黒液回収ボイラー			L/h

2. 排出ガス測定による理由

燃原料より求める方法(A様式)で算定できないなどの理由を選んで、併せてその具体的な理由を記入して下さい。

- ☐ (1) 燃原料の把握が困難
- ☐ (2) 燃原料の密度、硫黄分の把握が困難
- ☐ (3) 製品等への脱硫効率の算定が困難
- ☐ (4) 脱硫装置などの脱硫効率の算定が困難
- ☐ (5) その他

該当する理由を選択してください(複数選択可)。
具体的な理由を半角 120(または、全角 60)文字以内で入力
してください。

(上記の具体的な理由) ① 黒液中の硫黄分の把握が正確にできない。② スムルトに吸収されるS量がとらえにくい。

4. 測定及び算定内容

項目	測定値又は計算値等 [1]	測定値又は計算値等 [2]	測定値又は計算値等 [3]
① 測定 年月日	SOx濃度 平成XX年X月X日 排出ガス量 平成XX年X月X日	SOx濃度 平成XX年X月X日 排出ガス量 平成XX年X月X日	SOx濃度 平成XX年X月X日 排出ガス量 平成XX年X月X日
② 測定適用期間	平成XX年X月	平成XX年X月	平成XX年X月
③ 適用期間中における 平均燃原料使用量	種類 使用量 黒液 12230 kg/h L/h	種類 使用量 黒液 12245 kg/h L/h	種類 使用量 黒液 13036 kg/h L/h
④ 測定時における 燃原料使用量	種類 使用量 黒液 11616 kg/h L/h	種類 使用量 黒液 11866 kg/h L/h	種類 使用量 黒液 12516 kg/h L/h
⑤ SOx 濃度測定値 (ppm)	(1) 150 (2) 160 (3) 160	(1) 170 (2) 170 (3) 160	(1) 150 (2) 170 (3) 160
⑥ SOx 平均濃度 (ppm)	有効数字 3桁 156	有効数字 3桁 166	有効数字 3桁 160
⑦ SOx濃度への補正係数	有効数字 3桁 -	有効数字 3桁 -	有効数字 3桁 -
⑧ 補正 SOx濃度 (ppm)	小数点以下 切り捨て 156	小数点以下 切り捨て 166	小数点以下 切り捨て 160
⑨ SOx濃度測定時のO2濃度測定値 (%)	(1) 6 (2) 6.5 (3) 6.5	(1) 7 (2) 6.7 (3) 6.7	(1) 6.6 (2) 6.9 (3) 6.9
⑩ SOx濃度測定時の平均O2濃度 (%)	有効数字 3桁 6.25	有効数字 3桁 6.85	有効数字 3桁 6.75
⑪ 排出ガス量測定値(乾き) (m3N/h)	(1) 63900 (2) 66200 (3) 66200	(1) 69100 (2) 71700 (3) 71700	(1) 75000 (2) 72300 (3) 72300
⑫ 平均排出ガス量 (m3N/h)	有効数字 4桁 65050	有効数字 4桁 70400	有効数字 4桁 73650
⑬ 排出ガス量測定時のO2濃度測定値 (%)	(1) 6 (2) 6.5 (3) 6.5	(1) 6.8 (2) 7.3 (3) 7.3	(1) 7.2 (2) 6.7 (3) 6.7
⑭ 排出ガス量測定時の平均O2濃度 (%)	有効数字 3桁 6.25	有効数字 3桁 7.05	有効数字 3桁 6.95
⑮ 補正排出ガス量 (m3N/h)	有効数字 4桁 68480	有効数字 4桁 71620	有効数字 4桁 75640
⑯ SOx濃度測定法	⑰ 採取ガス量 (L) 沈殿測定法 20	沈殿測定法 20	沈殿測定法 20

補正排出ガス量の補正の理由と方法

黒液使用量と排出ガス量がほぼ比例するための補正。またSOx濃度と排出ガス測定時のO2濃度が異なったための補正。

$73650 \text{ m}^3 \times ((21-6.95)/(21-6.75) \times (13036(\text{kg}))/((12516(\text{kg}))) = 75640 \text{ m}^3/\text{h} (3 \text{ 月分})$

補正排出ガ
ス量は「手引」
を参照し、必
ず入力してく
ださい(自動
計算はされま
せん)。

排出ガス量を
補正している
場合は、その
理由、方法を
半角 200(ま
たは、全角 100)
文字以内で必
ず入力してく
ださい。

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用 FD保存	事業所保管用 エクセル保存
前年度データ複写					

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、印刷処理はでき
ません。

(2) SO₂濃度測定の場合

賦課金番号は、
申告書記載の番
号を入力してく
ださい。

平成XX年度汚染負荷量賦課金 排出ガス測定の結果を示す書類 (b)

様式を追加すると自動
で表示されます。

賦課金番号
03309012

工場・事業場名
青空工業(株)仙台工場

No. b-
02 回目
02 全校数

1. 一般事項

①関連する様式・番号	B-02/03	④ 最大燃原料使用量	種類	使用量	
②測定機関(又は部門)	NS分析センター		ペーパーラッシュ	313	kg/h
③測定対象施設名	売却炉		黒液	177	L/h

～ は
入力必須
項目です。

2. 排出ガス測定による理由

燃原料より求める方法(A様式)で算定できないなどの理由を選んで、併せてその具体的な理由を記入して下さい。

- ☐ (1) 燃原料の把握が困難
☒ (2) 燃原料の密度、硫黄分の把握が困難
☐ (3) 製品等への脱硫効率の算定が困難
☐ (4) 脱硫装置などの脱硫効率の算定が困難
☒ (5) その他

該当する理由を選択してください(複数選択可)。
具体的な理由を半角 120(または、全角 60)文字以内で記入
してください。

(上記の具体的な理由) ペーパーラッシュ、黒液中の硫黄分の把握が正確にできない。

4. 測定及び算定内容

項目	測定値又は計算値等 [4]	測定値又は計算値等 [5]	測定値又は計算値等 [6]
① 測定 年月日	平成XX年X月X日～X日	平成XX年X月X日～X日	平成XX年X月X日～X日
② 測定適用期間	平成XX年X月	平成XX年X月	平成XX年X月
③ 適用期間における 平均燃原料使用量	種類 使用量 ペーパーラッシュ 229 kg/h 黒液 142 kg/h	種類 使用量 ペーパーラッシュ 250 kg/h 黒液 152 kg/h	種類 使用量 ペーパーラッシュ 265 kg/h 黒液 148 kg/h
④ 測定時における 燃原料使用量	種類 使用量 L/h	種類 使用量 L/h	種類 使用量 L/h
⑤ SO ₂ 濃度測定値 (ppm)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
⑥ SO ₂ 平均濃度 (ppm)	有効数字 3桁 13	有効数字 3桁 15	有効数字 3桁 24.8
⑦ SO ₂ 濃度への補正係数	有効数字 3桁 1	有効数字 3桁 1	有効数字 3桁 1
⑧ 補正SO ₂ 濃度 (ppm)	小数点以下 切り捨て 13	小数点以下 切り捨て 15	小数点以下 切り捨て 24
⑨ SO ₂ 濃度測定時のO ₂ 濃度測定値 (%)	(1) 6.5 (2) (3)	(1) 6.7 (2) (3)	(1) 6.4 (2) (3)
⑩ SO ₂ 濃度測定時の平均O ₂ 濃度 (%)	有効数字 3桁 6.5	有効数字 3桁 6.7	有効数字 3桁 6.4
⑪ 排出ガス量測定値(乾き) (m ³ N/h)	(1) 15600 (2) (3)	(1) 16000 (2) (3)	(1) 14200 (2) (3)
⑫ 平均排出ガス量 (m ³ N/h)	有効数字 4桁 15600	有効数字 4桁 16000	有効数字 4桁 14200
⑬ 排出ガス量測定時のO ₂ 濃度測定値 (%)	(1) 6.5 (2) (3)	(1) 6.7 (2) (3)	(1) 6.4 (2) (3)
⑭ 排出ガス量測定時の平均O ₂ 濃度 (%)	有効数字 3桁 6.5	有効数字 3桁 6.7	有効数字 3桁 6.4
⑮ 補正排出ガス量 (m ³ N/h)	有効数字 4桁 15600	有効数字 4桁 16000	有効数字 4桁 14200
⑯ SO ₂ 濃度測定法	⑰ 採取ガス量 (L) 赤外線吸収法	赤外線吸収法	赤外線吸収法

「SO₂」濃度
を選択してく
ださい。
(SO₂濃度
の場合は手
引を参照し
補正係数を入
力してくだ
さい)。

O₂濃度、排出
ガス量を連続
測定し、平均
O₂濃度、平均
排出ガス量で
把握している
場合も、
、にそれ
ぞれの平均値
を入力してく
ださい。

補正排出ガス
量は、「手引」
を参照し必ず
入力してくだ
さい(自動計算は
されません)。

排出ガス量を
補正している
場合は、その
理由、方法を
半角 200 また
は、全角 100)
文字以内で記
入してくださ
い。

⑰ 排出ガス量の補正の理由と方法

入力チェック

算定様式の追加

算定様式の削除

印刷

機構提出用
FD保存

事業所保管用
エクセル保存

前年度データ複写

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、印刷処理はでき
ません。

各機能の紹介

㊦ 排出ガス量測定時のO ₂ 濃度測定値(%)	(1) 6 (2) 6.5 (3)	(1) 6.8 (2) 7.3 (3)	(1) 7.2 (2) 6.7 (3)
㊦ 排出ガス量測定時の平均O ₂ 濃度 (%)	有効数字 3桁 6.25	有効数字 3桁 7.05	有効数字 3桁 6.95
㊦ 補正排出ガス量 (m ³ N/h)	有効数字 4桁 68480	有効数字 4桁 71620	有効数字 4桁 75640
㊦ SO _x 濃度測定法	㊦採取ガス量 (L) 沈殿滴定法 20	㊦採取ガス量 (L) 沈殿滴定法 20	㊦採取ガス量 (L) 沈殿滴定法 20

㊦ (排出ガス量の補正の理由と方法)

黒液使用量と排出ガス量がほぼ比例するため補正。またSO _x 濃度と排出ガス測定時のO ₂ 濃度が異なったため補正。
$73650\text{mN} \times ((21-6.95)/(21-6.75)) \times (13038(\text{kg})) / (12516(\text{kg})) = 75640\text{mN} / \text{h} < 3\text{月分} >$

入力チェック	算定様式の追加	算定様式の削除	印刷	機構提出用 F D保存	事業所保管用 エクセル保存
前年度データ複写					

入力項目が異なる場合は、SO_x濃度がSO₂濃度かを選択する欄が適正であるか確認してください。

前年度データ複写

前年度にF Dまたはオンラインにより申告し、前年度の算定過程s bのエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

排出ガス測定の結果が4回以上ある場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

様式を追加した場合、一般事項は追加前の内容が表示されます。変更があれば、訂正する必要があります。

例えば、b様式を5枚使用する場合、「算定様式の追加」を4回繰り返します。

算定様式の削除

b様式を追加し、複数枚の排出ガス測定結果を入力した後にダブリ等により、不要なb様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。

(「No」の表示は自動的に修正されます。)

機構提出用F D保存

「機構提出用F D保存」をクリックすると機構提出用のF DにCSV形式で保存されます(通常F DドライブはAドライブですが、使用するパソコンによってF DドライブがA以外場合があります)。この際、CSVファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excelのメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

8) 加重平均一覧表入力記載例

(1) 液体燃料の場合

平成xx年度汚染負荷量賦課金 加重平均一覧表

賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

燃原料名を入力してください。

使用量又は購入量は、整数で入力してください。

密度は、小数点以下3桁までの数値で入力してください。

硫黄分は、小数点以下2桁までの数値で入力してください。

賦課金番号 03309012

工場・事業場名 青空工業㈱ 仙台工場

燃原料の種類 C重油 関連する様式番号 A-01

燃料 燃原料単位 L

丸め方 〇丸め ○四捨五入

メーカー	使用量又は 購入量 A(1)	密度 B(g/cm3)	硫黄分 C(wt%)	A×B	A×B×C	加重平均値 密度(g/cm3)	硫黄分(wt%)	
1	A社(前月繰越)	79,828	0.943	2.29	75,089.204	171,954.2716	0.943910	2.28294
	B社	110,000	0.942	2.26	103,620.000	234,181.20000	0.944	2.28
	C社	120,000	0.946	2.31	122,980.000	284,088.80000		
	D社	120,980	0.944	2.27	114,188.240	259,202.76480		
月								
	合計	ΣA		Σ(A×B)	Σ(A×B×C)	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)	
		440,588		415,875.444	949,422.04196			
2	D社(前月繰越)	76,324	0.944	2.27	72,049.856	168,559.17312	0.943707	2.25008
	A社	125,000	0.941	2.25	117,625.000	264,856.25000	0.944	2.25
	B社	110,000	0.938	2.25	103,180.000	232,155.00000		
	C社	150,000	0.950	2.24	142,500.000	319,200.00000		
月								
	合計	ΣA		Σ(A×B)	Σ(A×B×C)	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)	
		461,324		435,354.856	979,564.42312			
3	C社(前月繰越)	45,718	0.950	2.24	43,482.100	97,287.90400	0.946234	2.23365
	A社	125,000	0.948	2.34	118,500.000	277,290.00000	0.946	2.2
	B社	150,000	0.946	2.20	141,900.000	312,180.00000		
	D社	160,000	0.944	2.18	151,040.000	329,267.20000		
月								
	合計	ΣA		Σ(A×B)	Σ(A×B×C)	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)	
		480,718		454,872.100	1,016,025.10400			
4	D社(前月繰越)	76	0.944	2.18	72.050	157.06868	0.950077	2.24858
	A社	120,000	0.951	2.20	123,600.000	271,986.00000	0.950	2.25
	B社	100,000	0.946	2.31	94,600.000	218,526.00000		
	C社	150,000	0.952	2.25	142,800.000	321,300.00000		
月								
	合計	ΣA		Σ(A×B)	Σ(A×B×C)	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)	
		326,076		381,102.050	811,969.06868			
12	D社(前月繰越)	75,656	0.927	2.37	70,133.112	166,215.47544	0.940541	2.27415
	A社	125,000	0.940	2.29	117,500.000	269,075.00000	0.941	2.27
	B社	128,000	0.943	2.25	128,248.000	288,558.00000		
	C社	170,000	0.945	2.24	160,650.000	359,856.00000		
月								
	合計	ΣA		Σ(A×B)	Σ(A×B×C)	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)	
		508,656		476,531.112	1,089,704.47544			

入力チェック 算定様式の追加 入力行の追加 印刷 機構提出用 FID保存 事業所保管用 エクセル保存

前年度データ複写 算定様式の削除 入力行の削除

「燃料」および単位「L」を選択してください。

加重平均値の算出方法について「丸め」「四捨五入」を選択してください。

関連する算定様式番号を記入してください。

固定行は6行です。6行以上の場合には、追加が可能です(「各機能の紹介」を参照)。

入力後、必ずチェックを行ってください。
「入力チェック完了」であれば保存可能です。

現在表示されている画面を印刷(A4判)します。
なお、[ファイル]メニューの[印刷]を実行しても、印刷処理はできません。

液体燃料については、ロット毎の密度は小数点以下3桁まで(4桁以下切捨)の数値で入力してください。加重平均密度は小数点以下3桁(4桁目を丸め、あるいは四捨五入)で表示されます。
また、硫黄分は小数点以下2桁まで(3桁以下切捨)の数値で入力してください。加重平均硫黄分は小数点以下2桁(3桁目を丸め、あるいは四捨五入)で表示されます。

(2) 固体燃料の場合

賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

燃原料名を記入してください。

使用量又は購入量は、整数で入力してください。

硫黄分は、小数点以下2桁までの数値で入力してください。

固体燃料については、ロット毎の硫黄分は小数点以下2桁まで(3桁以下切捨)の数値で入力してください。
加重平均硫黄分は小数点以下2桁(3桁目を丸め、あるいは四捨五入)で表示されます。

「燃料」および単位「kg」を選択してください。

加重平均値の算出方法について「丸め」、「四捨五入」を選択してください。

関連する算定様式番号を記入してください。

固定行は6行です。
6行以上の場合には、追加が可能です(「各機能の紹介」を参照)。

平成xx年度汚染負荷量賦課金
加重平均一覧表

賦課金番号 03309012

工場・事業場名 青空工業(株) 仙台工場

燃料/原料 燃料 燃原料単位 kg

燃原料の種類 コークス 関連する様式番号 A-02/03

丸め方 ●丸め ○四捨五入

メーカー	使用量又は 購入量 A(l)	密度 B(g/cm ³)	硫黄分 C(wt%)	A×B	A×B×C	加重平均値 密度(g/cm ³) 硫黄分(wt%)
1	1,125,000	1.000000	0.26	1,125,000.0000	292,500.00000	0.34434
1	1,456,000	1.000000	0.35	1,456,000.0000	509,600.00000	0.34
1	1,320,000	1.000000	0.41	1,320,000.0000	541,200.00000	
合計	ΣA 3,901,000			Σ(A×B) 3,901,000.0000	Σ(A×B×C) 1,348,300.00000	Σ(A×B) /ΣA 1.000

(3) 固体原料の場合

賦課金番号は、申告書記載の番号を入力してください。

燃原料名を記入してください。

使用量又は購入量は、整数で入力してください。

硫黄分は、小数点以下3桁までの数値で入力してください。

固体原料については、ロット毎の硫黄分は小数点以下3桁まで(4桁以下切捨)の数値で入力してください。
加重平均硫黄分は小数点以下3桁(4桁目を丸め、あるいは四捨五入)で表示されます。

「原料」および単位「kg」を選択してください。

加重平均値の算出方法について「丸め」、「四捨五入」を選択してください。

関連する算定様式番号を記入してください。

固定行は6行です。
6行以上の場合には、追加が可能です(「各機能の紹介」を参照)。

平成xx年度汚染負荷量賦課金
加重平均一覧表

賦課金番号 03309012

工場・事業場名 青空工業(株) 仙台工場

燃料/原料 原料 燃原料単位 kg

燃原料の種類 石灰石 関連する様式番号 A-03/03

丸め方 ●丸め ○四捨五入

メーカー	使用量又は 購入量 A(l)	密度 B(g/cm ³)	硫黄分 C(wt%)	A×B	A×B×C	加重平均値 密度(g/cm ³) 硫黄分(wt%)
1	1,465,000	1.000000	0.004	1,465,000.0000	5,860.00000	0.00466
1	1,356,000	1.000000	0.005	1,356,000.0000	6,780.00000	0.005
1	1,562,000	1.000000	0.005	1,562,000.0000	7,810.00000	
合計	ΣA 4,383,000			Σ(A×B) 4,383,000.0000	Σ(A×B×C) 20,450.00000	Σ(A×B) /ΣA 1.000
2	1,127,000	1.000000	0.003	1,127,000.0000	3,381.00000	0.00478
2	1,038,000	1.000000	0.004	1,038,000.0000	4,152.00000	0.005
2	1,146,000	1.000000	0.003	1,146,000.0000	3,438.00000	
2	1,520,000	1.000000	0.008	1,520,000.0000	12,160.00000	
合計	ΣA 4,831,000			Σ(A×B) 4,831,000.0000	Σ(A×B×C) 29,131.00000	Σ(A×B) /ΣA 1.000

なお、単位に「kg」または「m³N」を選択した場合にも、加重平均密度は1.000で表示されます。

各機能の紹介

12月	〇〇石油株式会社	1,023,000	0.840	0.06	859,320.000	51,559.20000		
	〇〇石油株式会社	556,000	0.851	0.04	473,156.000	18,926.24000	0.844824	0.05623
	〇〇石油株式会社	548,000	0.846	0.06	463,608.000	27,816.48000		
	〇〇石油株式会社	462,000	0.847	0.07	391,314.000	27,391.98000	↓	↓
	〇〇石油株式会社	448,000	0.842	0.04	377,216.000	15,088.64000	0.845	0.06
	〇〇石油株式会社	498,000	0.841	0.06	418,818.000	25,129.08000		
	〇〇石油株式会社	584,000	0.850	0.06	496,400.000	29,784.00000		
	合計	ΣA 4,119,000			Σ(A×B) 3,479,832.000	Σ(A×B×C) 195,695.62000	Σ(A×B) /ΣA	Σ(A×B×C) /Σ(A×B)

入力チェック	算定様式の追加	入力行の追加	印刷	機構提出用 F D 保存	事業所保管用 エクセル保存
前年度データ複写	算定様式の削除	入力行の削除			

前年度データ複写

前年度に F D またはオンラインにより 申告し、前年度の加重平均一覧表のエクセルファイルを保存している場合、その入力情報を複写することができます。

算定様式の追加

複数の加重平均一覧表を作成する場合は、「算定様式の追加」をクリックすると最終ページの後に様式が追加されます。

例えば、3 種類の燃原料を加重平均する場合、「算定様式の追加」を 2 回繰り返します。
様式を追加した場合、対象となる燃原料の選択、単位の選択はその都度行ってください。

算定様式の削除

加重平均一覧表を追加し、複数枚の加重平均一覧表を作成した後にダブリ等により、不要な様式を削除する場合、「算定様式の削除」をクリックすると現在表示されていた算定様式が削除されます。
(「No」の表示は自動的に修正されます。)

入力行の追加

同じ月に使用した燃原料で性状の異なるものを 6 行以上使用した場合、行の追加を行います。当該月で追加したい行の先頭位置にカーソルをおき、「入力行の追加」をクリックすると追加したい行数を指定するボックスが表示されますので、追加行数を入力すると指定した行の次へ新しい行が追加されます。

入力行の削除

入力後、誤り等により行を削除することができます。削除したい行にカーソルをおき、「入力行の削除」をクリックすると当該行が削除されます。

機構提出用 F D 保存

「機構提出用 F D 保存」をクリックすると機構提出用の F D に CSV 形式で保存されます (通常 F D ドライブは A ドライブですが、使用するパソコンによって F D ドライブが A 以外場合があります)。この際、CSV ファイルの名前は変更しないようにしてください。

事業所保管用エクセル保存

「事業所保管用エクセル保存」をクリックするとエクセル形式で保存されます。(保存場所を指定する必要があります)

事業所で保管用に保存する場合は、必ずこのボタンを使用してください。(Excel のメニューから保存するとエラーメッセージが表示されます)

9) 修正申告入力記載例

前年度データ複写

入力チェック

印刷

機構提出用FID保存

事業所保管用エクセル保存

自動的に
「修正分」
が表示さ
れます。

平成 xx年度 汚染負荷量賦課金申告書

修正分

提出年月日 平成xx年7月5日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

申告区分をク
リックし、修正
に変更してく
ださい。

①	申告 区分	賦課金 区分	汚染負荷量賦課金番号
	11	1	納付義務者 番号 工場・ 事業場 C・D
			03309 01 2

提出年月日を西暦日付
(スラッシュ区切り)
で入力すると和暦に変
換します。
【例】2008/7/5
→平成20年7月5日

訂正後の数
値を入力して
ください。
【例】31,178
→37,789

前年の排出量
取り込み

自動割振

② 納ばい 付煙 義生 施設 等 者設 置者	(フリガナ)	カキワケン カワシキ サイイク オオミヤチウ 1310		
	(イ) 住 所	郵便番号 212-8554	神奈川県 川崎市 幸区 大宮町 1 3 1 0	
	(フリガナ)	アオゾラコウギョウ カブシキガイシャ		
	(ロ) 氏名又は名称	青空工業株式会社 印		
	(フリガナ)	アオゾラ イチロウ	電話番号	044-520-9503
③ 対 象 工 場・ 事 業 場	(ハ) 代表者氏名	青空 一郎 印	(ニ) 同左 代理人	オオモリ カズオ 印
	(ホ) 資本金	8,230,000 千円		
	(フリガナ)	ミヤギケン センタイシ ミヤギノク ミナト 1-2-3		
	(イ) 所 在 地	郵便番号 983-0001	宮城県 仙台市 宮城野区 港 1 - 2 - 3	
	(フリガナ)	センタイコウギョウ		
④	(ロ) 名称	仙台工場		電話番号 022-562-8181
	(ハ) 工場長氏名	大森 一夫	(ニ) 業 種 名	④ 立方メートル/時 (m3N)
		鉄鋼業	1時間当た りの最大排 出ガス量	92,016
	(イ) 硫酸塩化物排出量	(ロ) 単位排出量当たり賦課金 (円/立方メートル)	(ハ) (イ) × (ロ) 汚染負荷量賦課金額	
	週 去 分	累積換算量 (m3N/算定基準期間) 41,278	円 銭 11.11	円 458,598
⑤ 汚 染 課 金 荷 の 量 計 算	現 在 分	前年の排出量 (m3N/年) 37,789	円 4,198,735	
	⑤ 延納の申請	● する ○ しない	● 111.11	合計 円 4,657,300
⑦ 汚 染 負 荷 量 賦 課 金 の 期 別 納 付 額 内 訳				
(イ) 全期又は第1期 (初期)	(ロ) 第 2 期	(ハ) 第 3 期	(ニ) 第 4 期	
円 1,164,400	円 1,164,300	円 1,164,300	円 1,164,300	

管轄商工会議所
仙台

所 属 課	環境課
電 話 番 号	022-562-8181 (内263)
作 成 担 当 者	フリガナ タキ マモル
氏 名	太伊木 守

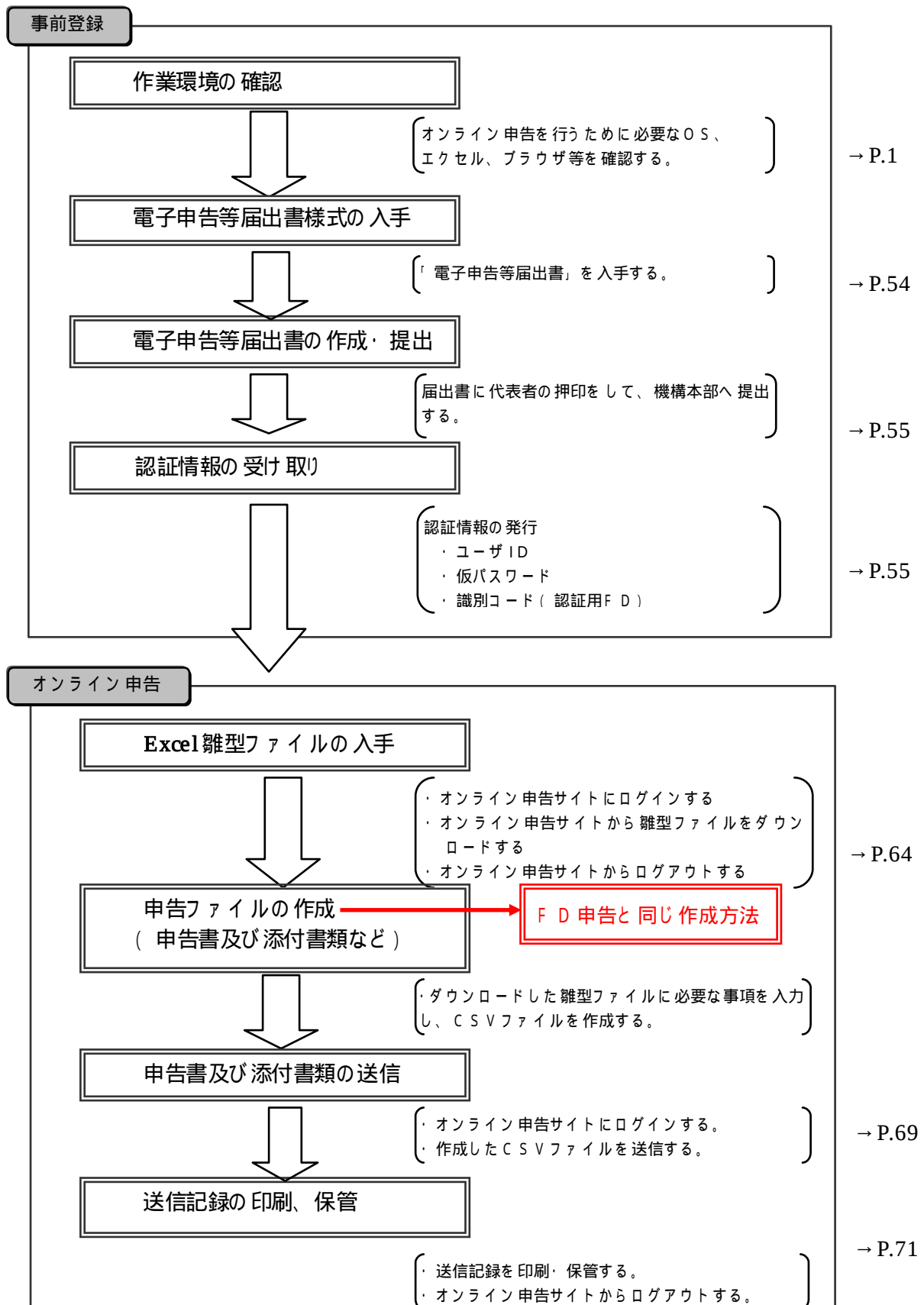
提出した申告書を修正する場合申告区分の「10」をクリックすると11、12、13の修正申告区分が表示されます。

【例】初めての修正を行う場合: 「11 修正申告1回目」をクリックします。
用紙の印刷や保存方法等は、1) 「申告書入力記載例」を参照してください。

III. オンライン 申告

1. オンライン 申告の流れ

オンライン申告は、以下の流れで作業を進めていきます。



2 . オンライン 申告の 事前登録

1) 事前登録

オンライン申告を行うためには、「電子申告等届出書（兼代理人選任・解任届出書）」（以下「電子申告等届出書」という）により事前登録を行い、オンライン申告サイトへログインするための認証情報を入手する必要があります。

2) 「電子申告等届出書」

「電子申告等届出書」とは、

オンライン申告で送信する申告書に記載する代表者又は代理人を「電子申告等を行う者」として事前に登録するために提出いただく書類です。

「電子申告等を行う者」とは、

オンラインで送信していただく申告書に記載する代表者又は代理人に該当します。

- ・社長を登録した場合は、社長が交替しないかぎり有効です。
- ・代理人として、工場長等を登録した場合は、工場長等が交代しないかぎり有効です。

注 1)「電子申告等届出書」は、登録した「電子申告等を行う者」に変更がない限り、毎年度提出していただく必要はありません。

注 2)「電子申告等を行う者」として代理人を登録した場合は、同届出書は「代理人選任・解任届出書」を兼ねますので、改めて「代理人選任・解任届出書」を提出する必要はありません。

「識別コード送付用宛先情報」とは、

認証情報の送付先となります。オンライン申告を実際に行う担当者など、認証情報の受け取りに都合の良い送付先を記入してください。

「識別コード送付用宛先情報」の記載事項に変更があった場合は、「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」によりご連絡願います。

「納付義務者名称等」の変更について

「納付義務者名称」、「対象工場・事業場名称」、「所在地」欄の変更については、「名称等変更届出書」の提出が必要となります。

また、法人の分割、合併など組織の改変により納付義務に異動が生じるような場合は、「電子申告等届出書」を再提出していただくことがありますのでご注意ください。

3) 「電子申告等届出書」及び「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」の入手方法

届出書の書式を巻末につけてありますので、コピーしてお使いください。また、これらの書式は賦課金ホームページからもダウンロードすることで入手できます。（参照 P.5）

4) 「電子申告等届出書」の作成・提出

必要事項を記入し、届出者は、代表者とし、必ず代表者の押印をして提出してください。作成した「電子申告等届出書」は、次の提出先へ郵送してください。

提出先: 〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー 8F
独立行政法人環境再生保全機構 補償業務部業務課

5) 認証情報の受け取り

提出いただいた「電子申告等届出書」をもとに認証情報を発行いたします。発行した認証情報は、「識別コード送付用宛先情報」欄に記載された送付先に書留でお送りいたします。

認証情報とは、

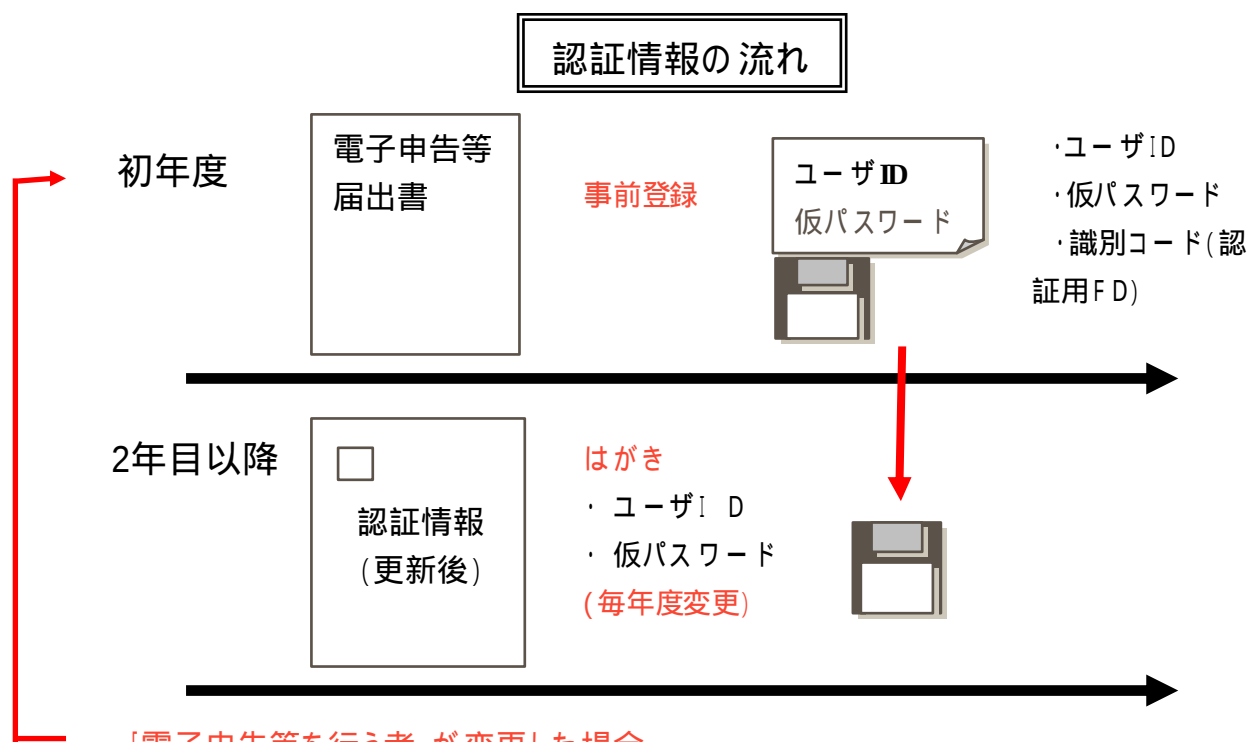
- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード
- ・ 識別コード (認証用FD)

以上の3種類のことをさします。

- ・ ユーザIDは、8桁の賦課金番号です。
- ・ 仮パスワードは、毎年度更新いたします。
- ・ 識別コードは、認証用のFDのことです。

翌年度以降は、「ユーザID」と更新した「仮パスワード」を明記したはがきを、3月下旬に識別コード送付用宛先情報欄に記載された送付先に郵送致します。

認証用FDは、「電子申告等を行う者」に変更がない限り継続して使用していただきますので、大切に保管してください。



「電子申告等を行う者」が変更した場合
「電子申告等届出書」を再度提出して、新しい認証情報を取得してください。

6) 「電子申告等届出書」の記載例等

電子申告等届出書(兼代理人選任・解任届出書)

(識別コード付与請求書)

賦課金番号	03309012
納付義務者名称	青空工業株式会社
対象工場・事業場名称	仙台工場
対象工場・事業場所在地	宮城県仙台市宮城野区1丁目2-3
電子申告等を行う者 (代表者または代理人)	氏名 大森一夫 住所 仙台市宮城野区1-2-3
施設等設置者との関係	取締役工場長
選任日	平成 ××年 4月 1日
被解任者氏名	解任日 平成 年 月 日
平成 ××年 4月 1日	
公害健康被害の補償等に関する法律施行規程(第20条及び)第22条第1項の規定により、上記のとおり届け出ます。	
届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 氏名または名称 青空工業株式会社 住所 川崎市幸区大宮町1310番 代表者の氏名 青空 一郎 印	
独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿	
郵便番号	9830001 電話番号 022 - 562 - 8181
所在地	宮城県仙台市宮城野区1丁目2-3
法人名	青空工業株式会社
事業場名	仙台工場
担当部課	環境課
担当者名	太伊木 守

「納付義務者名称」、「対象工場・事業場名称」、「所在地」に変更があった場合は「名称等変更届出書」を提出願います。

- オンラインで送信する申告書に記載する代表者又は代理人を「電子申告等を行う者」として事前に登録します。
- 「電子申告等を行なう者」として代理人を登録した場合、この届出書は「代理人選任・解任届出書」を兼ねますので、改めて同届出書を提出する必要はありません。
- 認証情報は、「電子申告等を行う者」に変更がない限り有効です。変更が生じた場合は、再度届出が必要となります。

「識別コード送付用宛先情報」の欄に変更があった場合は、「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」を提出してください。

変更

印は公害健康被害の補償等に関する法律施行規程第20条の規定により、記入してください。

識別コード送付用宛先情報変更連絡票

平成 ××年 7月 9日

独立行政法人環境再生保全機構 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
氏名または名称 青空工業株式会社
住所 神奈川県川崎市幸区大宮町1丁目3-10
代表者の氏名 青空 三郎

次のとおり変更があったので、連絡します。

賦課金番号		0	3	3	0	9	0	1	2
項 目		変 更 前				変 更 後			
識別コード 送付用宛先情報	郵便番号	〒 106 -0032				〒 212 -8554			
	所在地	東京都港区六本木4丁目14				神奈川県川崎市幸区大宮町1丁目3-10			
	法人名	青空工業株式会社							
	事業場名	東京工場				本社工場			
	担当部課	環境課							
	担当者名	太樹守							
	電話番号	03-3586-6041				044-520-9549			

* 記載にあたっては、変更箇所のみ記入してください。
* 変更内容が法人の場合は、機構補償業務課(044-520-9545)まで連絡してください。
* 変更連絡票はFAX(044-520-2133)・郵送又はオンラインでご提出ください。

- * 記載にあたっては、変更箇所のみ記入してください。
- * 変更内容が法人名の場合は、機構までご連絡ください。
- * 変更連絡票はFAX(044-520-2133)、郵送又はオンラインでご提出ください。

7) オンライン申告におけるセキュリティの考え方

(1) 不正アクセスの防止について

事前登録を基に認証情報（ID、仮パスワード、認証コード）の発行を行っています。
仮パスワードは毎年度更新して安全性の確保に努めています。

(2) 通信路上の盗聴防止について

オンライン申告システムでは、通信路上における盗聴防止のために、暗号化技術としての標準である「128ビットSSL (Secure Sockets Layer) 暗号化通信」を採用しています。

(3) 情報の保護について

オンライン申告システムでは、申告書等の情報を記録しているデータベースやサーバはファイアウォールとウィルス検索技術などにより保護されています。

8) オンライン申告サイトのログイン受付時間

月・日 \ 曜日		平日	土日・祝日
申告期間	4月1日～5月15日	9:00～24:00	9:00～24:00
その他の期間	5月16日～1月31日	9:00～17:00	-
	2月1日～3月31日	(運用停止)	

3. オンライン申告の手続き

1) ログインの準備

オンライン申告システムにログインするには

- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード
- ・ 識別コード (認証用FD)

の認証情報が必要です。上記3点の認証情報をお手元に準備してください。

今年度からオンライン申告を行う場合又は「電子申告等を行う者」を変更した場合

電子申告認証情報	
独立行政法人環境再生保全機構	
汚染負荷量賦課金について電子申告を行うにあたり、今回独立行政法人環境再生保全機構が、電子申告等を行う者 に対して発行する認証情報は以下のとおりです。	
ID	
仮パスワード	
識別コード	同梱 認証用フロッピーディスク

通知書

識別コード (認証用FD)



+

以前からオンライン申告を行っている場合（既に認証情報を取得済の事業者）

電子申告認証情報
(平成xx年度新パスワードの発行について)

納付義務者名称	
対象工場・事業場名称	
電子申告等を行う者氏名	様

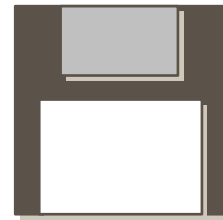
独立行政法人環境再生保全機構

平成XX年度汚染負荷量賦課金の申告をオンラインで行うにあたり、
本年度ご使用いただく認証情報は以下のとおりです。

ID	
平成XX年度 仮パスワード	
識別コード	認証用フロッピーディスクは登録時に 送付したものが利用いただけます。

はがき

識別コード（認証用FD）



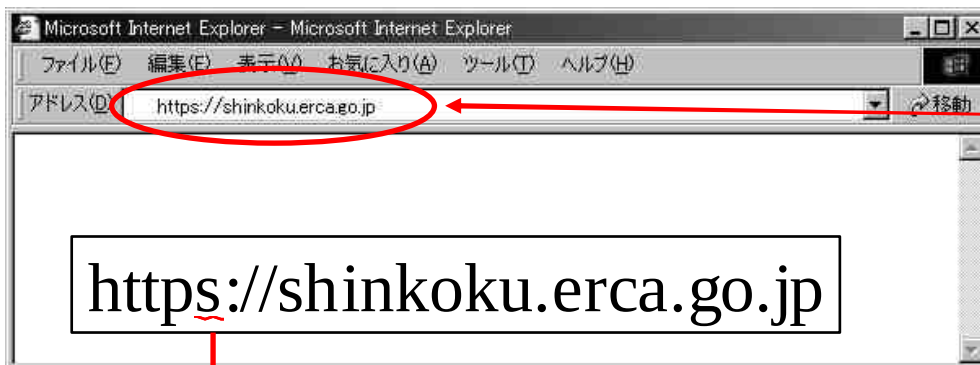
+



- はがき・紙面に記載されている仮パスワードは初回ログイン用のパスワードです。二回目以降のログインには事業所側で設定したパスワードを使用します。
- 識別コード(認証用FD)を紛失された場合は機構までご連絡ください。
- 仮パスワードには、英語の「I」「O」、数字の「1」「0」は、使用していません。

2) オンライン申告サイトへのログイン

(1) オンライン申告サイトアドレスの入力



Internet Explorer
を起動しオンライン
申告サイトのア
ドレスを入力し
た後、Enter キーを押
してください。

- 「https」のS(エス)を忘れがちなのでご注意ください。



- アドレスを入力した後、ログイン 受付時間にもかかわらず「ログイン受付時間外通知画面」が出る場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。

オンライン申告システム - ログイン受付時間外通知画面 - Microsoft Internet Explorer

独立行政法人
環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金
オンライン申告システム

平成XX 年度 汚染負荷量賦課金オンライン申告

只今、ログインの受付時間外となっております。
日時をあらためて再度実行してください。

申告期間 平成YY年M月D日 ~ 平成YY年M月D日

月火水木金 09:00 ~ 24:00
土日 09:00 ~ 24:00

その他の期間 平成YY年M月D日 ~ 平成YY年M月D日

月火水木金 09:00 ~ 17:00
土日 受付時間外

(運用停止期間) 平成YY年M月D日 ~ 平成YY年M月D日

全日 受付時間外

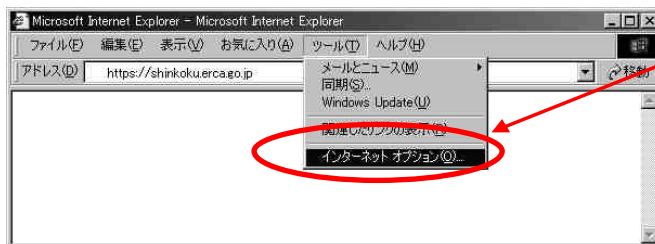
なお、この件についてのご相談やご不明な点は、以下までお問い合わせください。

(連絡先)
独立行政法人環境再生保全機構
補償業務部業務課
TEL 044-520-9545
MAIL h-gyoumu@erca.go.jp

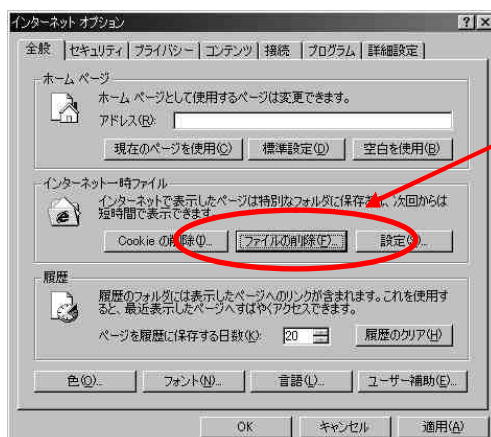
[戻る](#)

[ログイン 受付時間外通知画面]

[Internet Explorer 6 以前]



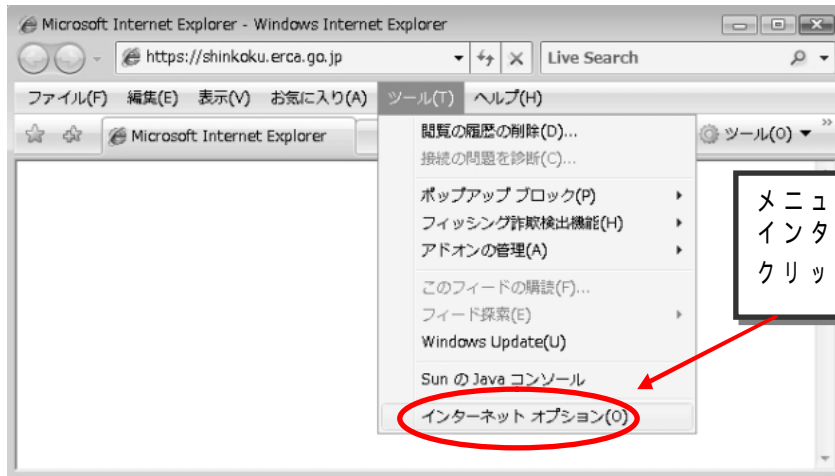
メニューから「ツール(T)」を選択し、インターネットオプション(O)をクリックしてください。



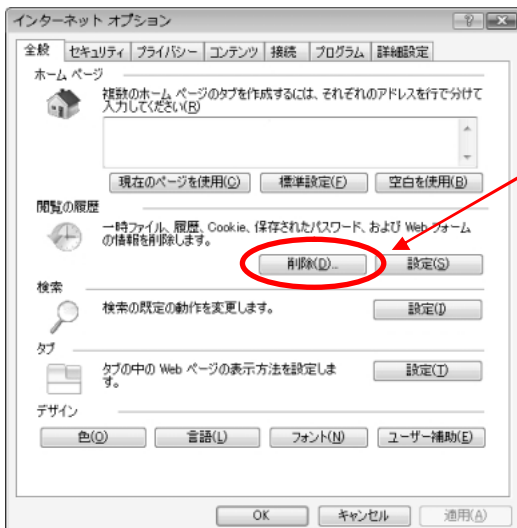
「全般」タブの「インターネット一時ファイル」セクションで「ファイルの削除」ボタンをクリックしてください。



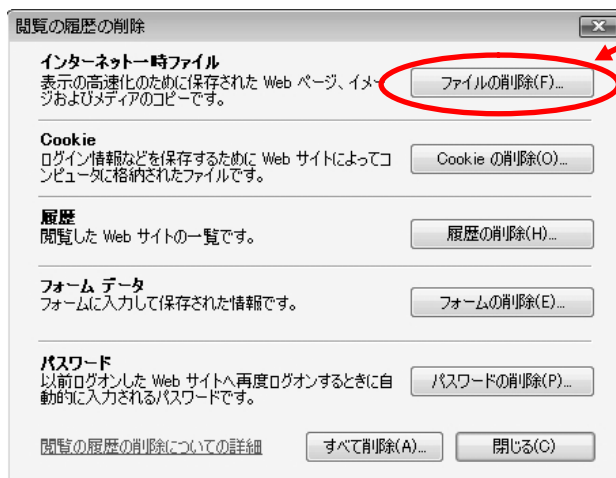
[Internet Explorer 7]



メニューから「ツール(T)」を選択し、インターネットオプション(O)をクリックしてください。

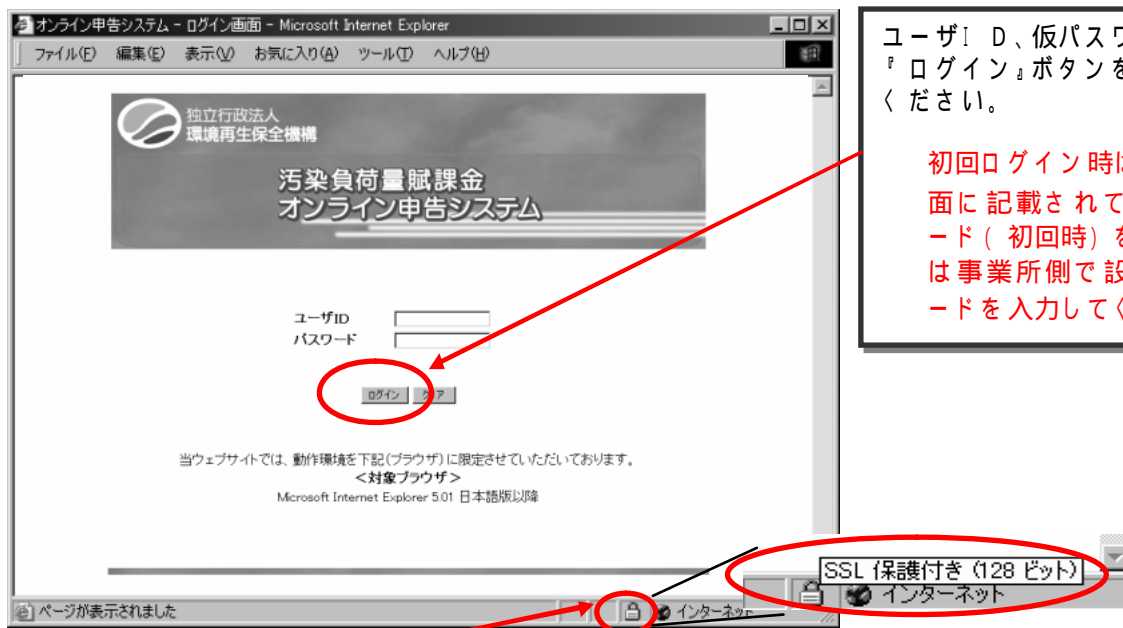


「全般」タブの「閲覧の履歴」セクションで『削除』ボタンをクリックしてください。



「インターネット一時ファイル」セクションで『ファイルの削除』ボタンをクリックしてください。

(2) ユーザID、仮パスワードの入力



ユーザID、仮パスワードを入力し『ログイン』ボタンをクリックしてください。

初回ログイン時は、はがき・紙面に記載されている仮パスワード（初回時）を、二回目以降は事業所側で設定したパスワードを入力してください。

暗号化通信環境の確認

マウスをステータスバーの鍵マークに合わせてください。

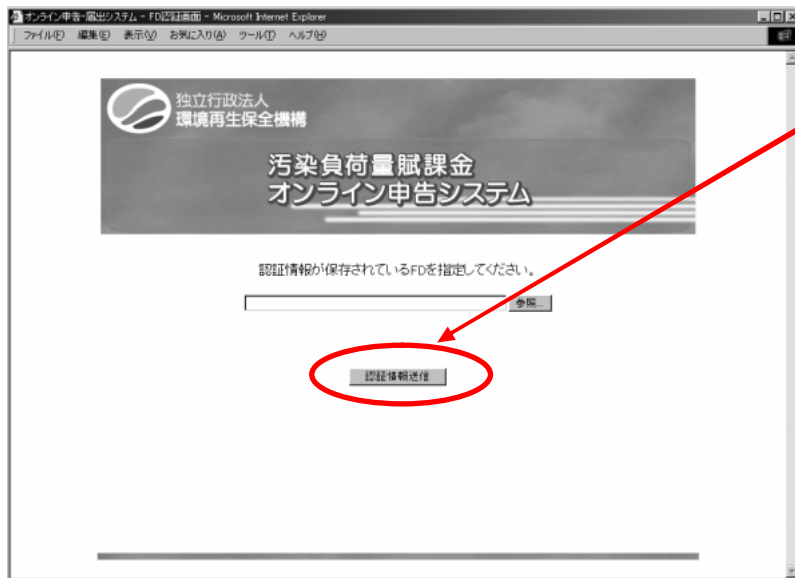
以下の様に「SSL 保護付き (128 ビット)」と表示され暗号化通信を行っていることが確認できます。

暗号化通信とは、インターネットを通じてデータをやり取りする際に、通信途中で第三者による盗聴や改ざんを防ぐため、決まった規則に従ってデータを変換して通信することです。

(3) 識別コード(認証用FD)の指定

識別コードが格納されたFDをセットし『参照』ボタンをクリックしてください。「ファイル選択」ダイアログが表示されますので、「00000000.k2h」ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

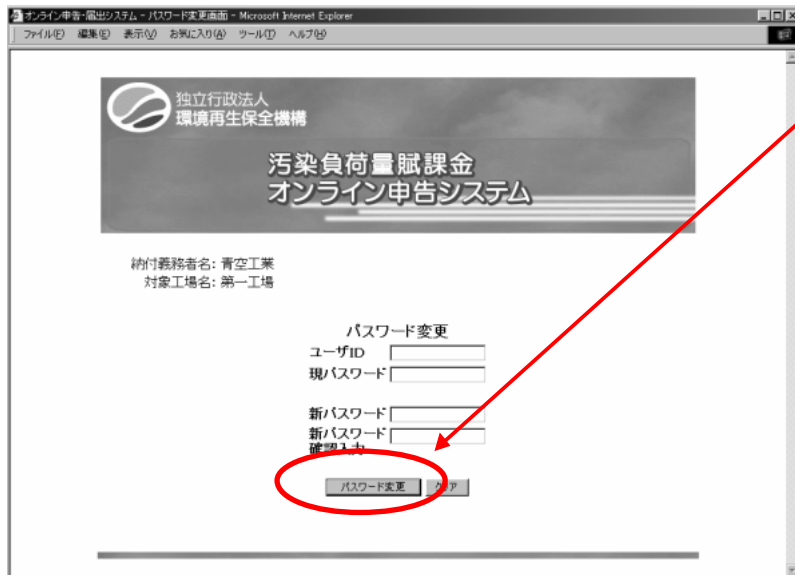
ブラウザ画面に戻ったら、「認証情報送信」ボタンをクリックすると、初回ログイン時は、パスワード変更画面、2回目以降は送付書類選択画面が表示されます。



認証用FD中の識別コード
(00000000K2H ファイル)
を指定し、『認証情報送信』
ボタンをクリックしてくだ
さい。

(4) 初回ログイン時の仮パスワードの変更

ユーザID、現パスワード(=仮パスワード)、新パスワードを入力し、『パスワード変更』ボタンをクリックしてください。パスワードが変更され、送付書類選択画面が表示されます。

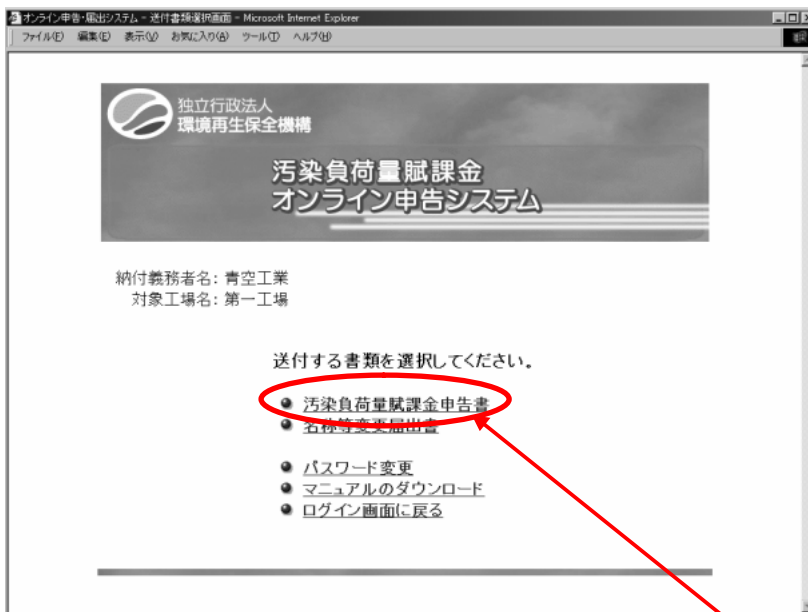


ユーザID、現パスワード、
新パスワードを入力し、
『パスワード変更』ボタ
ンをクリックしてください。



- 初回のログイン時のみパスワード変更画面が表示されます。
- 新パスワードには半角英数字(5～8桁)の任意の文字列を入力してください。
- 二回目以降のログインでは変更した新パスワードが必要となります。変更した新パスワードを忘れないように注意してください。

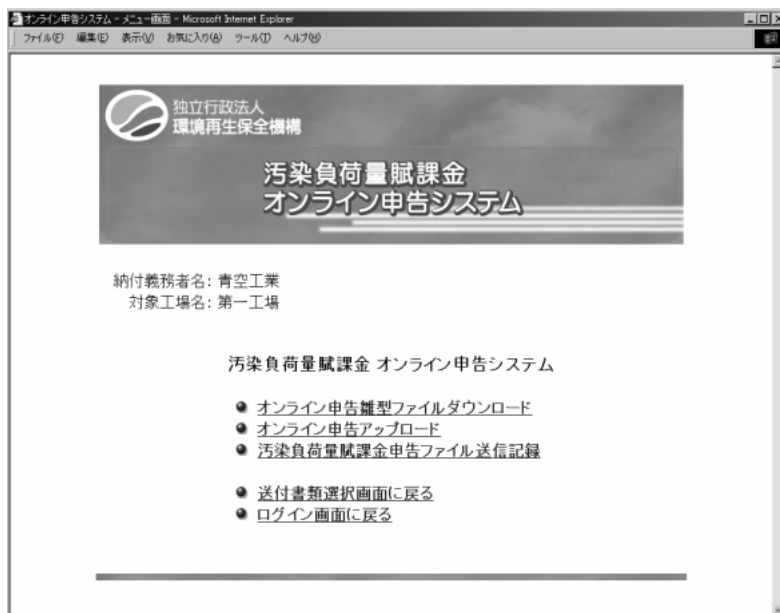
3) 送付書類選択画面



- 汚染負荷量賦課金申告書
汚染負荷量賦課金申告書を提出します。
- 名称等変更届出書
名称等変更届出書を提出します。
- パスワード変更
初回ログイン時以外でパスワードを変更します。
- マニュアルのダウンロード
FD 申告、オンライン申告マニュアルをダウンロードします。

オンライン申告をする場合、
「汚染負荷量賦課金申告書」
メニューをクリックしてください。

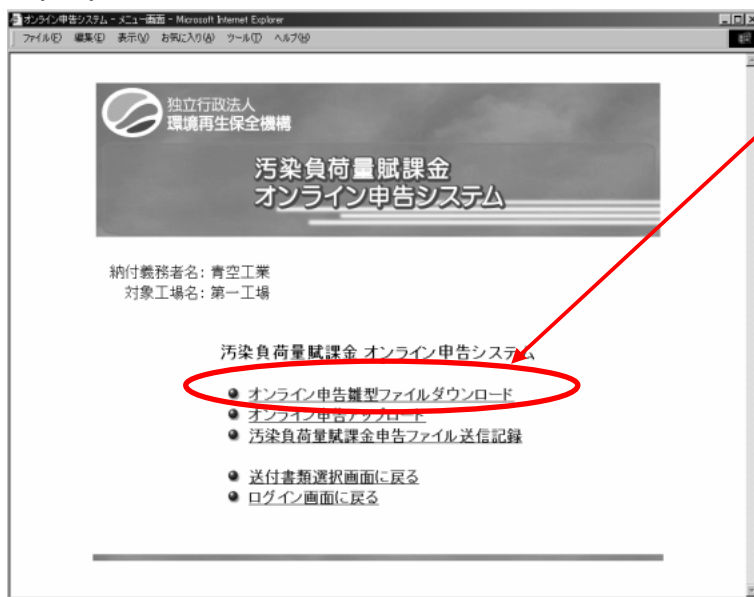
4) オンライン申告メニュー画面



- オンライン申告雛型ファイルダウンロード
Excel 雛型ファイルをダウンロードします。
- オンライン申告アップロード
申告ファイルをアップロード(送信)します。
- 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録
アップロード(送信)した申告ファイルを画面上で確認・印刷できます。

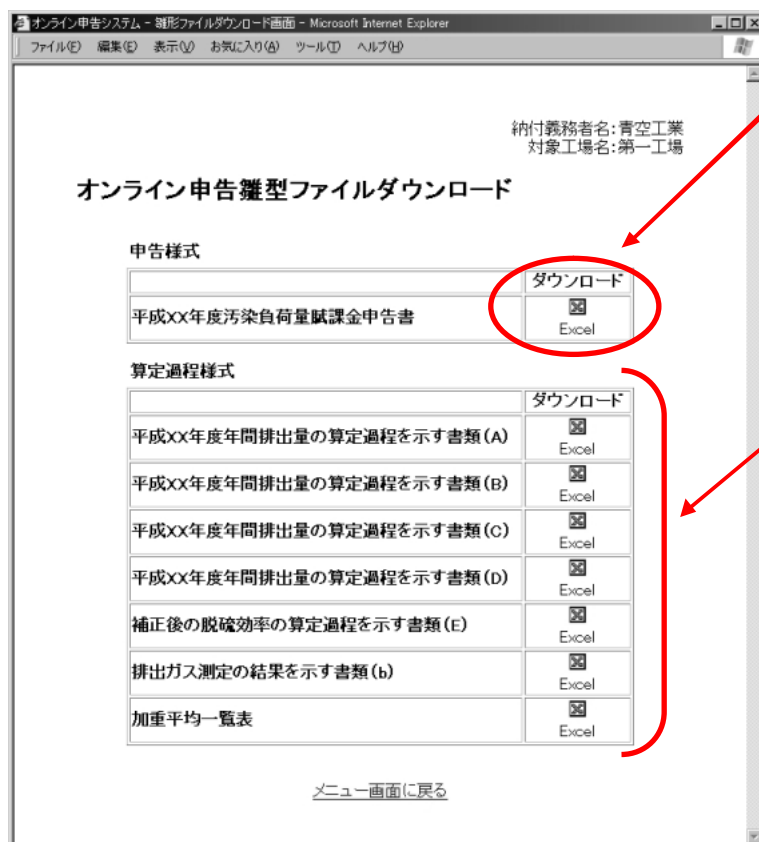
5) 申告書等 雛型ファイルのダウンロード

(1) 雛型ファイルダウンロード画面の表示



「オンライン 申告雛型ファイルダウンロード」メニューをクリックしてください。
雛型ファイルダウンロード画面が表示されます。

(2) 申告書及び算定過程様式雛型ファイルのダウンロード

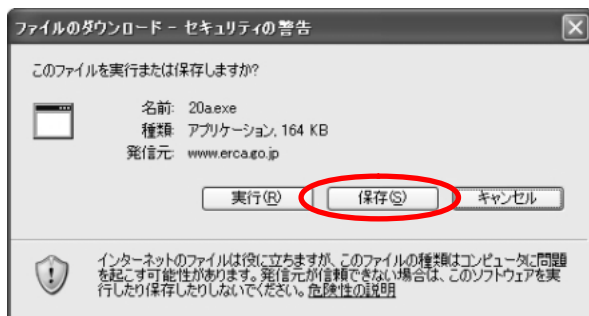


申告書の Excel 雛型ファイルをクリックし、ダウンロードしてください。

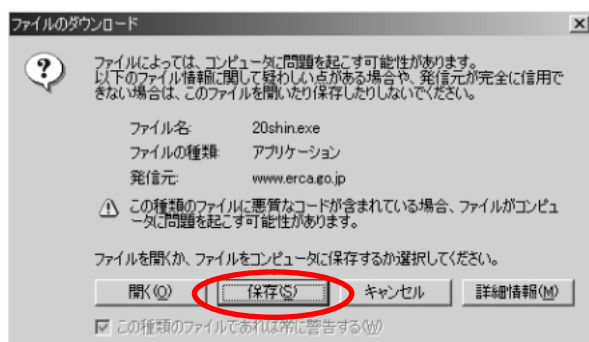
必要な Excel 雛型ファイルをクリックし、ダウンロードしてください。



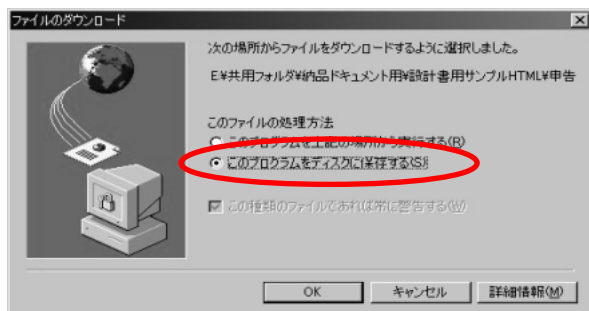
- ダウンロードは1 様式ずつ行なってください。
- 申告書ダウンロードサイトが混雑している場合は、「ただ今大変混み合っております」というメッセージが表示されますので、その際は、しばらく時間を置いて頂くか、算定様式などを先にダウンロードしてください。
- 「ファイルのダウンロード」ダイアログでファイルの処理方法を選択するオプションがある場合は、必ずディスクに保存するよう指定してください。
参考に、OS ごとのダイアログメッセージを表示します。



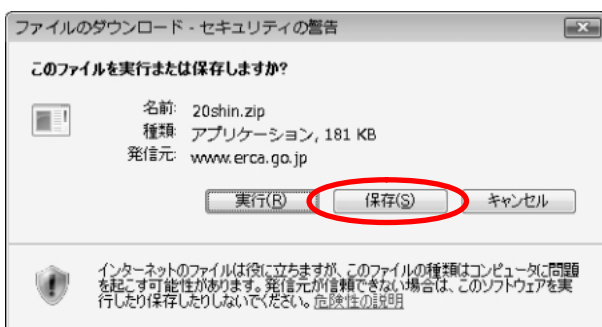
[Internet Explorer 6, Windows XP]



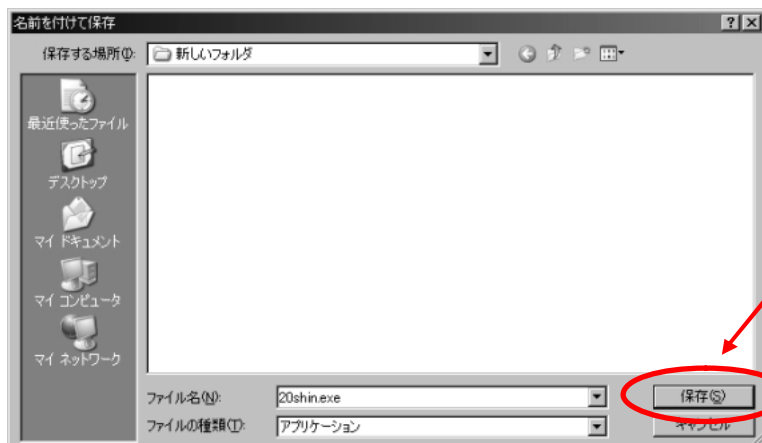
[Internet Explorer 6, Windows 2000]



[Internet Explorer 5.01, 5.5]



[Internet Explorer 7, Windows Vista]



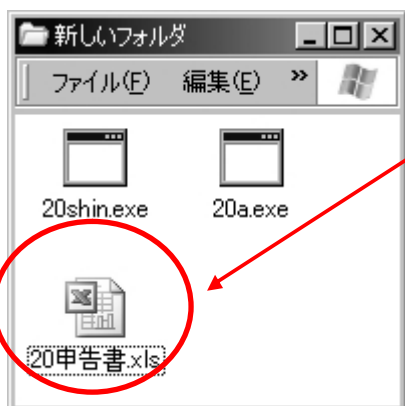
保存場所を指定して、[保存] ボタンをクリックしてください。
指定した場所にダウンロードファイルが保存されます。



- ダウンロードする前に、あらかじめ保存するフォルダを作成しておくことをお奨めします。



ダウンロードした exe ファイルが保存されているフォルダを開き、
解凍する exe ファイルのアイコンをダブルクリックしてください。
解凍が実行されます。



自動的に解凍が終了し、「.xls」の拡張子がついた Excel ファイル
が現れます。
解凍後のダウンロードファイル exe ファイルは不要となりますので
削除してください。



- 解凍先のパスが長い (フォルダ階層が深い) 場合、解凍に失敗することがあります。
その場合、ドライブ直下などで解凍してください。
- 解凍先に十分な空き容量がない場合、解凍に失敗することがあります。その場合、十分な容量を
確保して再度行ってください。

6) 終了手続き

ログイン画面に戻り、終了手続きをおこなってください。他の操作での終了手続きも同様の操作となります。

納付義務者名: 青空工業
対象工場名: 第一工場

オンライン申告彙型ファイルダウンロード

申告様式	ダウンロード
平成XX年度汚染負荷量賦課金申告書	Excel

算定過程様式	ダウンロード
平成XX年度年間排出量の算定過程を示す書類(A)	Excel
平成XX年度年間排出量の算定過程を示す書類(B)	Excel
平成XX年度年間排出量の算定過程を示す書類(C)	Excel
平成XX年度年間排出量の算定過程を示す書類(D)	Excel
補正後の脱硫効率の算定過程を示す書類(E)	Excel
排出ガス測定の結果を示す書類(b)	Excel
加重平均一覧表	Excel

[メニュー画面に戻る](#)

「メニュー画面に戻る」をクリックしてください。

独立行政法人
環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金 オンライン申告システム

納付義務者名: 青空工業
対象工場名: 第一工場

汚染負荷量賦課金 オンライン申告システム

- オンライン申告彙型ファイルダウンロード
- オンライン申告アップロード
- 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録
- [メニュー画面に戻る](#)
- ログイン画面に戻る

メニュー画面の「ログイン画面に戻る」をクリックしてください。

独立行政法人
環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金 オンライン申告システム

ユーザーID:
パスワード:

当ウェブサイトでは、動作環境を下記(ブラウザ)に限定させていただいております。
<対象ブラウザ>
Microsoft Internet Explorer 5.01 日本語版以降

閉じる

ログイン画面に戻りましたらブラウザを終了させてください。

7) 申告ファイルの作成

(1) 申告書

オンライン申告サイトから申告書の Excel 雛型ファイルをダウンロードした場合、以下に表示した項目についてはあらかじめ入力された状態でダウンロードされます。入力されている情報は、現在機構に登録されている最新情報を表示していますので、内容が変わっている場合は、必要に応じて修正してください。

平成 XX年度 汚染負荷量賦課金申告書

提出年月日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づき、次のとおり申告します。

①	申告区分	賦課金区分	汚染負荷量賦課金番号
	10	1	納付義務者番号 工場・事業場 C・D

② 納付義務発生施設等設置者	(イ)住所	郵便番号		
	(ロ)氏名又は名称	印		
	(ハ)代表者氏名	印	(ニ)同左代理人	印
	(ホ)資本金	千円		
	(ヘ)電話番号			

③ 対象工場・事業場	(イ)所在地	郵便番号		
	(ロ)名称	電話番号		
	(ハ)工場長氏名	(ニ)業種名	④	立方メートル/時 (m3/h)
		1時間当たりの最大排出ガス量		

⑤ 汚染負荷量の算定	(イ)硫黄酸化物排出量	(ロ)単位排出量当たり賦課金 (円/立方メートル)	(ハ) (イ) × (ロ) 汚染負荷量賦課金額
	過去 累積換算量 (m3N/算定基礎期間)	円 銭 80.14	円 0
⑥ 延納の申請	現在の排出量 (m3N/年)	☐ 1921.68 ☐ 1130.40 ☐ 1299.96 ☐ 847.80 ☐ 1186.92 ☒ 125.60	合計 円 0

⑦ 汚染負荷量賦課金の期別納付額内訳			
(イ)全期又は第1期 (初期)	(ロ)第2期	(ハ)第3期	(ニ)第4期
円 0	円 0	円 0	円 0

管轄商工会議所	作成担当者	所属課
	フリガナ	電話番号
	氏名	

申告書の雛型ファイル作成の詳細については、

「 F D 申告」を参照してください。

F D 申告と同じ作成方法

(2) 算定過程様式

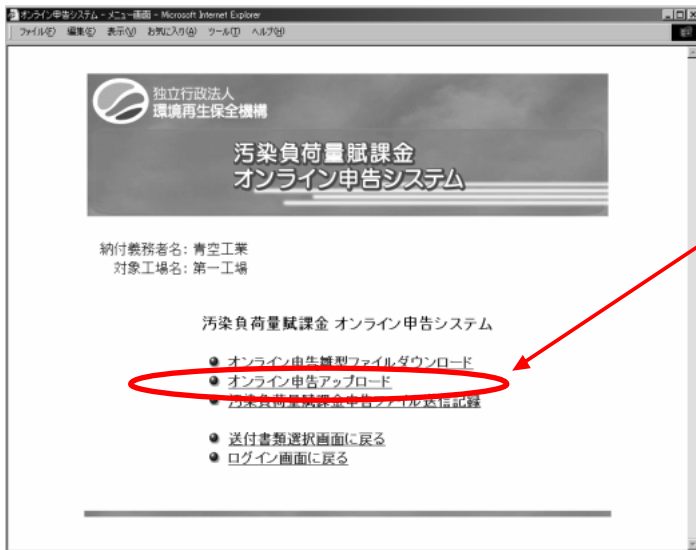
算定過程様式の雛型ファイル作成の詳細については

「 F D 申告」を参照してください。

F D 申告と同じ作成方法

8) 申告ファイルのアップロード(送信)

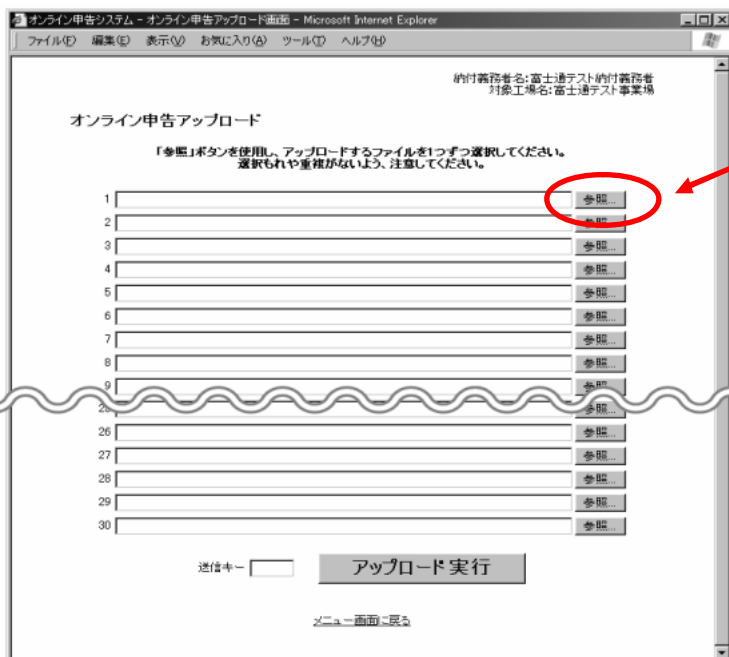
(1) オンライン申告アップロード画面の表示



「オンライン申告アップロード」メニューをクリックしてください。オンライン申告アップロード画面が表示されます。

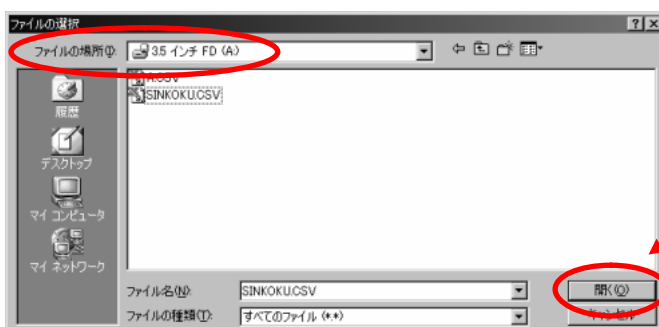
(2) 申告ファイルの指定

送信する申告ファイルを指定します。



『参照』ボタンをクリックしてください。「ファイル選択」ダイアログボックスが表示されます。

「ファイルの場所」を送信用申告ファイル(CSVファイル)を格納したFD又はフォルダに移動してください。



送信するファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

同じ要領で送信するすべてのファイルを選択してください。

『アップロード実行』ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。

送信キーはデータ送信の際に指定するキー（任意に指定する半角数字4桁）で、申告書を特定することができる機能です。事業者側で、送信する申告書を管理する場合に用いることができます。



- 送信用のファイルはCSVファイルであることを確認してください。
- 算定過程様式のみを送信はできません。必ず申告書ファイルを選択してください。
- 間違ったファイルを指定した場合、あるいは同じファイルを重複して指定した場合カーソルを該当する入力フィールドへ移動させ入力フィールドの中のファイル名をDeleteキーで削除し、「参照ボタン」をクリックし正しいファイルを選択し直してください。

（３）申告ファイルのアップロード（送信）

送信する申告ファイルの確認

送信する申告書、算定過程様式名が表示されますので確認してください。正しい場合は「はい」をクリックすると送信が実行されます。

送信記録の確認

オンライン申告システム - 汚染負荷量賦課金送信記録画面 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

独立行政法人
環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金
オンライン申告システム

平成XX年度 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録

納付義務者名 青空工業 殿
対象工場名 第一工場 分

独立行政法人 環境再生保全機構

下記のとおり、受信しました。

No	ファイル名	送信キー	受信番号	受信日付
1	A\YSINKOKUGSV	0001	00000178	20XX/5/1 15:30:00
2	A\YACSV	0001	00000178	20XX/5/1 15:30:00

印刷

メニュー画面に戻る

正常に送信が完了すると、申告ファイル送信記録が表示されます。内容を確認後『印刷』ボタンをクリックし、印刷・保管をしてください。



- この送信記録が、機構が申告ファイルを受信したことを示す通知文書となりますので、必ず印刷し大切に保管してください。

終了手続き

ログイン画面に戻って終了手続きを行ってください。

9) 申告ファイル送信記録の確認

(1) 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録画面の表示

オンライン申告システム - メニュー画面 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

独立行政法人
環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金
オンライン申告システム

納付義務者名: 青空工業
対象工場名: 第一工場

汚染負荷量賦課金 オンライン申告システム

- オンライン申告雛型ファイルダウンロード
- オンライン申告アップロード
- 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録
- 送付書類選択画面に戻る
- ログイン画面に戻る

送信後、内容を確認したい場合は「ファイル送信記録」メニューをクリックすると、申告ファイル送信記録画面が表示されます。

(2) 申告ファイル送信記録の確認、印刷

オンライン申告システム - 汚染負荷量賦課金送信記録画面 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)



独立行政法人
環境再生保全機構

**汚染負荷量賦課金
オンライン申告システム**

平成XX年度 汚染負荷量賦課金申告ファイル送信記録

納付義務者名 青空工業 殿
対象工場名 第一工場 分

独立行政法人 環境再生保全機構

下記のとおり、受信しました。

No	ファイル名	送信キー	受信番号	受信日付
1	A\¥SINKOKUCSV	0001	00000178	20XX/5/1 15:30:00
2	A\¥ACSV	0001	00000178	20XX/5/1 15:30:00

印刷

[メニュー画面に戻る](#)

送信内容を確認することができます。
また、『印刷』ボタンをクリックすると、印刷することもできます。

(3) 終了手続き

ログイン画面に戻って終了手続きを行ってください。

10) エラーメッセージ画面

(1) ダウンロード混雑エラー画面

オンライン申告システム - System Busy Download画面 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)



独立行政法人
環境再生保全機構

**汚染負荷量賦課金
オンライン申告システム**

申告書ファイルダウンロード(申告)

ただ今たいへん混み合っております。
申し訳ありませんが、しばらく時間を置いてから再度お試しください。

なお、この件についてのご相談やご不明な点は、以下までお問い合わせください。

(連絡先)
独立行政法人環境再生保全機構
補償業務部業務課
TEL 044-520-9545
MAIL h-gyoumu@erca.go.jp

[オンライン申告書類ファイルダウンロード画面に戻る](#)

[ヘルプページを開く](#)

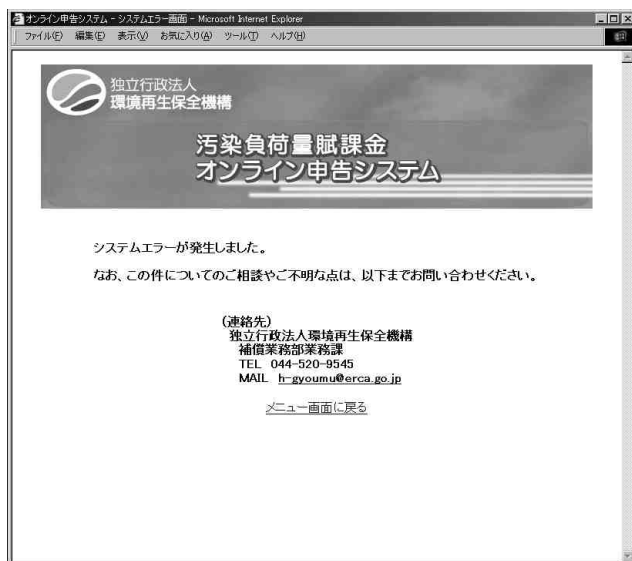
[メニュー画面に戻る](#)

左記のメッセージが表示された場合、ダウンロードサイトが込み合っておりますので、以下のいずれかの方法をとってください。

先に算定様式をダウンロードし、その後、申告書をダウンロードする。

しばらく時間をおき、再度、申告書をダウンロードする。

(2) システムエラー画面

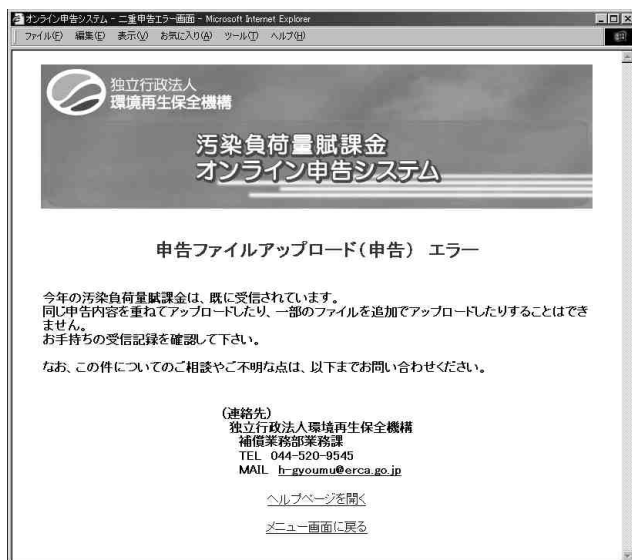


左記のメッセージが表示された場合、何らかのシステムエラーが発生しています。

しばらく時間をおき、再度、ログインし直してください。

続けてメッセージが表示される場合、機構へお問合せください。

(3) 重複エラー画面



左記のメッセージが表示された場合、本年度分の汚染負荷量賦課金申告が既に受信されています。

算定様式の添付し忘れ等で再度、申告を送信する必要がある場合は当初の申告を無効にしますので機構へご連絡ください。

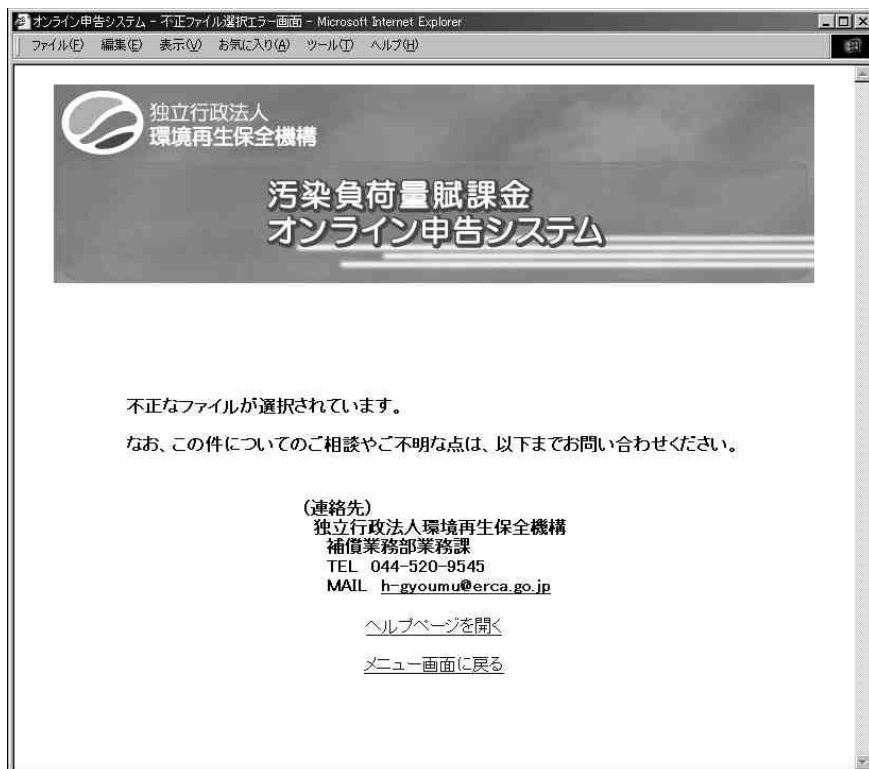
(4) 賦課金番号不一致エラー画面



左記のメッセージが表示された場合、ログイン時のI Dと雛型ファイルより作成した申告ファイルの賦課金番号が異なります。

認証情報に記載されているユーザI Dと、雛型ファイルの賦課金番号とを確認し、再度、送信し直してください。

(5)不正ファイル選択エラー画面

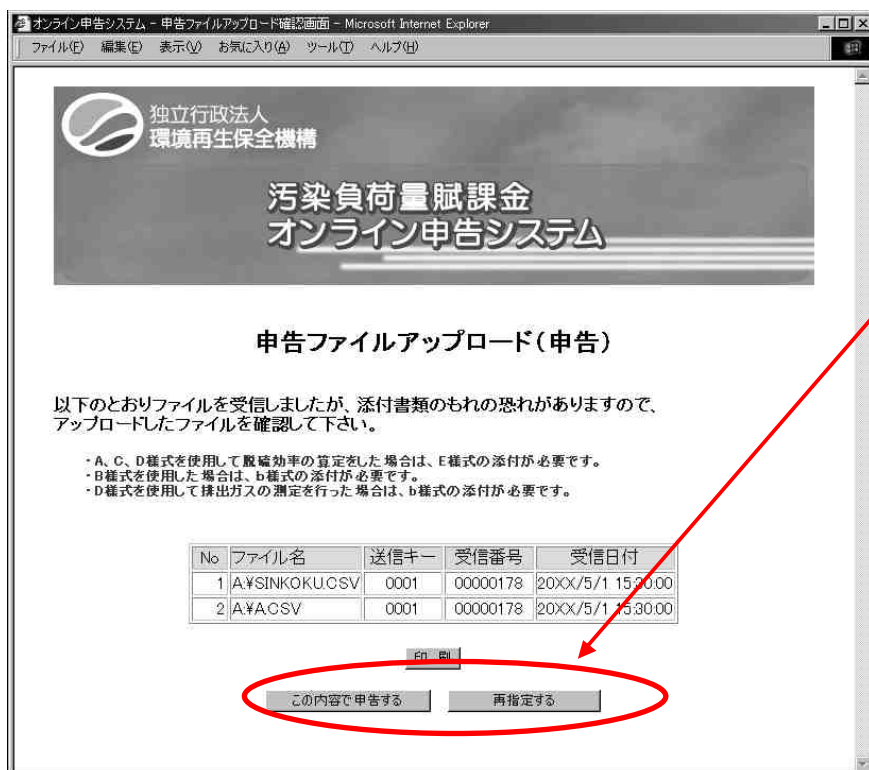


左記のメッセージが表示された場合、

- ・ エクセル雛形ファイル
- ・ 雛型ファイルの「機構提出用 F D 保存」ボタン以外で作成されたファイルを送信している可能性があります。

正しい申告ファイル(C S V 形式)を選択し、再度、送信し直してください。

(6)添付書類漏れワーニング画面

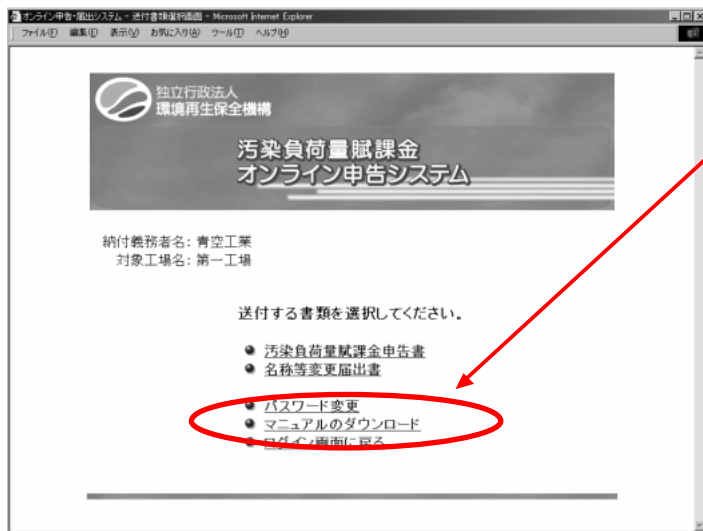


左記のメッセージが表示された場合、添付書類に漏れがある可能性があります。

送信したファイルを確認し、そのままの内容で申告する場合は『この内容で申告する』ボタンを、もう一度送信するファイルを指定する場合は『再指定する』ボタンをクリックしてください。

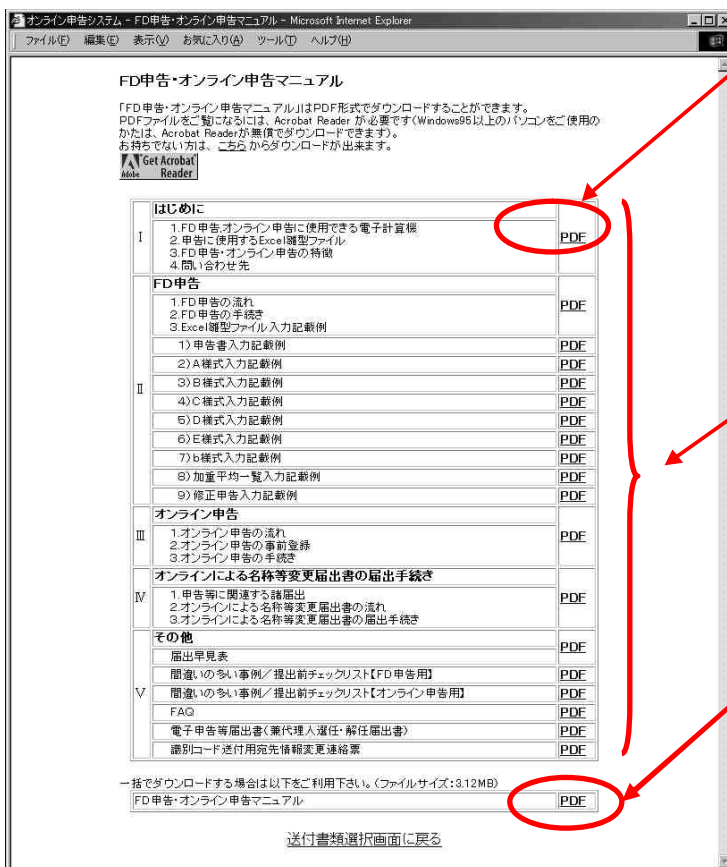
11) F D 申告・オンライン 申告マニュアルのダウンロード

(1) マニュアルダウンロード画面の表示



送付書類選択画面で「マニュアルのダウンロード」をクリックすると、「F D 申告・オンライン 申告マニュアル」のダウンロード画面が表示されます。

(2) マニュアルのダウンロード



ダウンロードする PDF ファイルを選択してください。
ダウンロードダイアログが表示されます。

必要な PDF ファイルを選択してください。

「F D 申告・オンライン 申告マニュアル」を一括でダウンロードする場合は、こちらの PDF ファイルをクリックしてください。



- 「F D 申告・オンライン 申告マニュアル」は PDF 形式となっています。
ご覧になるには Acrobat Reader が必要です。

(3) 終了手続き

ログイン画面に戻って終了手続きを行ってください。

IV. オンラインによる名称等変更届出書の届出手続き

1. 申告等に関連する諸届出

申告等に関連する諸届出として、
「代理人選任・解任届出書」
「名称等変更届出書」
があります。

届出書の様式は、賦課金ホームページからダウンロードすることができます。必要事項を入力して印刷するか又は印刷して必要事項を記入し、必ず代表者の押印をして提出してください。

また、認証情報をお持ちの事業者は「名称等変更届出書」については、オンラインによる届出ができません。FDでの提出はできませんのでご注意願います。

2. オンラインによる名称等変更届出書の流れ

事前登録

事前登録の方法は、オンライン申告と同様です。

オンライン申告ですでに認証情報を取得している場合は、その認証情報をそのまま使用できますので、改めて事前登録をする必要はありません。

→ P.53

オンライン届出

届出書の作成

- ・ オンライン申告サイトにログインする。
- ・ 届出書入力画面に直接入力して作成する。

→ P.77

届出書の提出

- ・ 入力内容を確認し、届出書データを送信する。

→ P.80

届出書の確認

- ・ 送信した届出書を印刷、保管する。
- ・ 送信記録を印刷、保管する。
- ・ オンライン申告サイトからログアウトする。

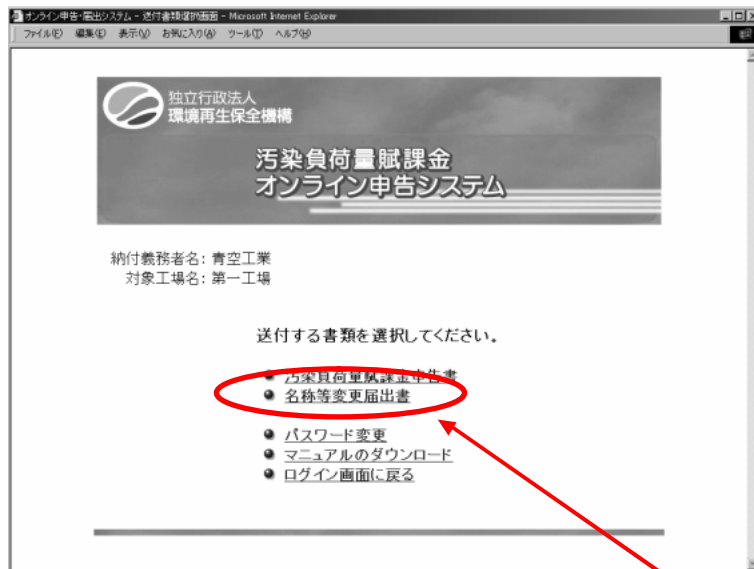
→ P.80

3. オンラインによる名称等変更届出書の届出手続き

1) サイトへのログイン

認証情報の準備、オンライン申告システムサイトへのログインについては「[P.50](#)」を参照してください。

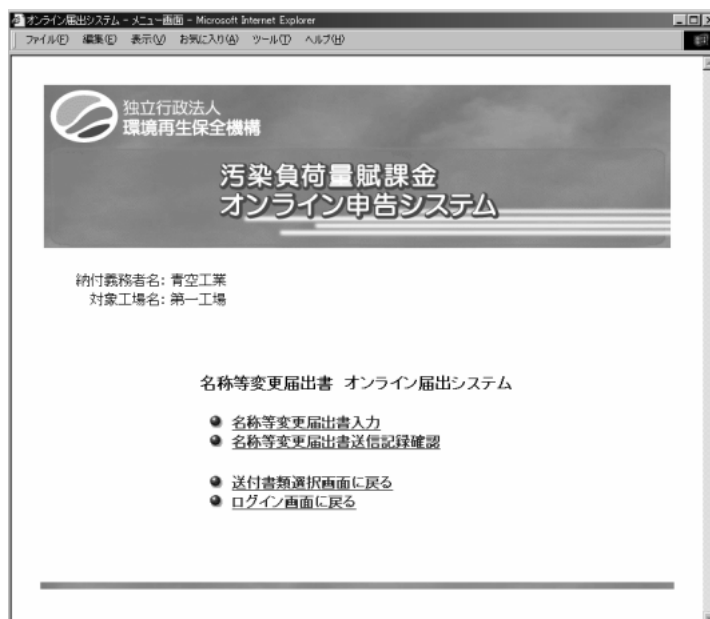
2) 送付書類選択画面



- 汚染負荷量賦課金申告書
汚染負荷量賦課金申告書を提出します。
- 名称等変更届出書
名称等変更届出書を提出します。
- パスワード変更
初回ログイン時以外でパスワードを変更します。
- マニュアルのダウンロード
F D 申告・オンライン申告マニュアルをダウンロードします。

オンライン届出をする場合、「名称等変更届出書」メニューをクリックしてください。

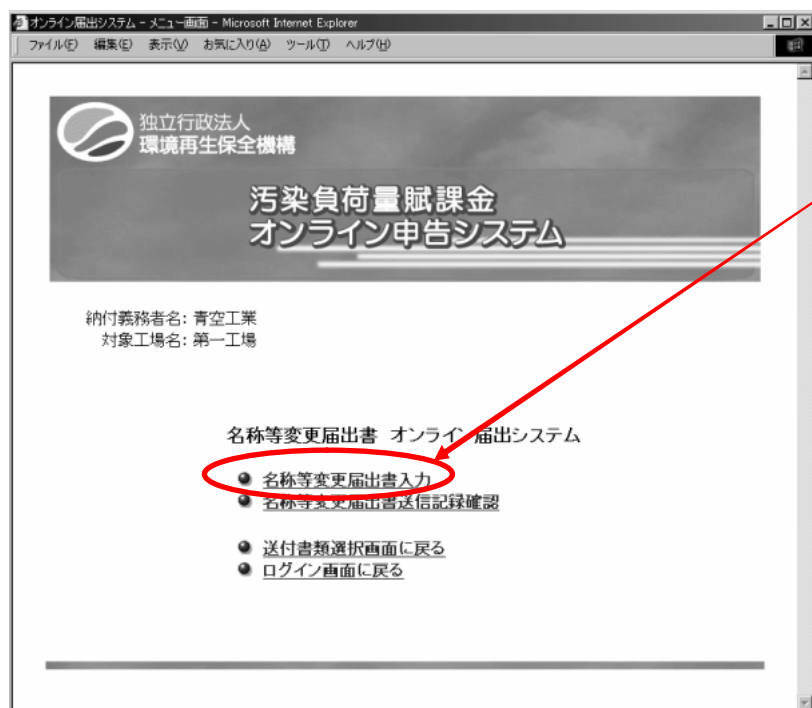
3) オンライン届出メニュー画面



- 名称等変更届出書入力
提出する名称等変更届出書を入力して作成します。
- 名称等変更届出書送信記録確認
提出した名称等変更届出書を確認・印刷できます。

4) 名称等変更届出書入力

(1) 名称等変更届出書入力画面の選択



名称等変更届出書を作成する場合、「名称等変更届出書入力」メニューをクリックすると、届出書入力画面が表示されますので、直接入力して作成します。



- 記載にあたっては、左側の「変更前」欄には、変更前の情報が記載されていますので変更箇所のみ右側の「変更後」欄に入力してください。
- 代表者のみの変更の場合、届出する必要はありません。
- 送付先欄には工場・事業場の移転、閉鎖等により今後申告書の送付先を変更する場合に記載してください。
- 工場・事業場の合併、分割、譲渡等の場合は、後日登記簿等の資料を提出していただくことがあります。
- 工場・事業場の合併、分割、譲渡等で電子申告等を行う者に変更があった場合は、新しい認証情報が必要となりますので再度「電子申告等届出書」の提出が必要となります。なお、旧認証情報は無効となります。

(2) 名称等変更届出書データの入力

変更内容を入力し、『確認』ボタンを押してください。入力チェックが開始されます。入力に誤りがある場合には該当の項目にカーソルが移動します。

名称等変更届出書記載にあたっての留意事項

※1 代表者のみの変更の場合、届出する必要はありません。
 ※2 送付先欄には工場・事業場の移転、閉鎖等により今後申告書の送付先を変更する場合に記載してください。
 注1 記載にあたっては、変更箇所のみ記入してください。
 注2 工場・事業場の合併、分割、譲渡等で電子申告等を行う者に変更があった場合は、新しい認証情報が必要となりますので再度「電子申告等届出書」の提出が必要となります。なお、旧認証情報は無効となります。

オンライン 名称等変更届出書

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿 届出者 氏名または名称及び住所
 並みに入力にあたってはその代表者又は選任代理人

氏名又は名称 関東青空株式会社
 住所 神奈川県川崎市幸区大宮町1丁目 3-10
 代表者又は選任代理人 青空三郎

平成XX年7月7日

次のとおり変更があったので、届出します。

賦課金番号	8 0 0 0 0 0 0 8	変更年月日	平成XX年7月7日
変更の理由 (該当するところに☑を 付して下さい。)	☐ 商号変更 ☐ 営業譲渡 ☐ 本社の住所変更 ☐ 工場等の閉鎖・廃止 ☐ 市町村合併 ☐ 工場名の変更 ☐ 施設の賃貸借 ☐ 清算結了 ☐ 工場等の移転・閉鎖・廃止に伴う申告書等の送付先変更 ☐ 合併 ☒ 会社分割 ☐ 工場等の移転 ☐ 識別コード送付先変更 ☐ その他		
項目	変更前	変更後	
① 納付義務者 (ばいばい生産者等)	フリガナ	アオゾラコウキョウカブシキカイシャ	
	名称 (法人名等)	青空工業株式会社	
	フリガナ	トウキョウトミナトクロッポンギ 4-1-4	
	住所 (本店等所在地)	〒1060032 東京都港区六本木4丁目 1-4	
② 申告対象工場・事業場	フリガナ	トウキョウコウジョウ	
	名称 (申告対象工場等名称)	東京工場	
	フリガナ	トウキョウトミナトクロッポンギ 4-1-4	
	住所 (申告対象工場等所在地)	〒1060032 東京都港区六本木4丁目 1-4	
※2 ③ 送付先	フリガナ	アオゾラコウキョウカブシキカイシャ トウキョウコウジョウ	
	名称 (法人名部課等)	青空工業株式会社 東京工場	
	フリガナ	トウキョウトミナトクロッポンギ 4-1-4	
	住所	〒1060032 東京都港区六本木4丁目 1-4	
連絡担当者氏名 森口 太郎 所属部課 環境安全部 電話番号 044-520-9549			
④ 識別コード送付先 (※認証10)	名称 (法人名等)	青空工業株式会社	
	事業場名	東京工場	
	担当部課	環境課	
	フリガナ	タイキ マモル	
	担当者名	大伊木守	
住所	〒1060032 東京都港区六本木4丁目 1-4		
電話番号	03-3586-6041		
確認 印刷 戻る			

黄色の項目は入力必須項目です。必ず入力してください。

変更箇所のみ記入してください。

機構に現在登録されている情報が表示されています。

「電子申告等届出書」の「識別コード送付先」欄の変更については、こちらから届出できます。

変更内容を入力し、『確認』ボタンを押してください。

5) 名称等変更届出書のアップロード(送信)

(1) 入力内容の確認

④ 識別コード送付先 (認証コード)	名称	青空工業株式会社	関東青空株式会社
	事業場名	東京工場	本社工場
	担当部課	環境課	
	フリガナ	タイキ マホル	
	担当者名	木伊木守	
	住所	〒106-0032 東京都港区六本木4丁目 1-4	〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1丁目 3-10
電話番号	03-3586-6041	044-520-9549	

※1 代表者のみの変更の場合、届出する必要はありません。
 ※2 送付先欄には工場・事業場の移転、閉鎖等により今後申告書の送付先を変更する場合に記載してください。
 注1 記載にあたっては、変更箇所のみ記入してください。
 注2 工場・事業場の合併、分割、譲渡等で電子申告等を行う者に変更があった場合は、新しい認証情報が必要となりますので再度「電子申告等届出書」の提出が必要となります。なお、旧認証情報は無効となります。

以上の内容で名称等変更届出書を提出します

※ 記載内容を確認し、『送信』ボタンを押して下さい。
 ※ 送信キーは届出データ送信の際に指定するキー(任意に指定する半角数字4桁)で、届出データを特定することができる機能です。事業者側で届出データを管理する場合に用いることができます。

送信キー: **送信**

入力した内容を確認し、正しければ『送信』ボタンをクリックしてください。

送信キーはデータ送信の際に指定するキー(任意に指定する半角数字4桁)で、届出書を特定することができる機能です。事業者側で、送信する届出書を管理する場合に用いることができます。

(2) 名称等変更届出書送信記録の確認

オンライン申告システム - 汚染負荷量賦課金送信記録画面 - Microsoft Internet Explorer

独立行政法人 環境再生保全機構

汚染負荷量賦課金 オンライン申告システム

名称等変更届出書送信記録

納付義務者名 青空工業 股
対象工場名 第一工場 分

独立行政法人 環境再生保全機構

下記のとおり、受信しました。

No.	詳細情報	送信キー	受信番号	受信日付
	表示	0001	00000178	20XX/5/1 15:30:00

印刷

メニュー画面に戻る

送信した名称等変更届出書の詳細情報を閲覧する場合は、詳細情報の『表示』ボタンをクリックしてください。

正常に送信が完了すると、送信記録が表示されます。内容を確認後「印刷」ボタンをクリックし、印刷・保管をしてください。



- この送信記録が、機構が届出データを受信したことを示す通知文書となりますので、必ず印刷し大切に保管してください。

6) 名称等変更届出書送信詳細情報の印刷

(1) 印刷フォーム画面の表示

印刷用画面を表示

オンライン 名称等変更届出書

平成 XX 年 7 月 9 日

独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿

届出者 氏名または名称及び住所
並びに法人に当たってはその代表者又は選任代理人
氏名又は名称 青空工業株式会社
住所 神奈川県川崎市幸区大宮町1丁目 3-10
代表者又は選任代理人 青空 三郎

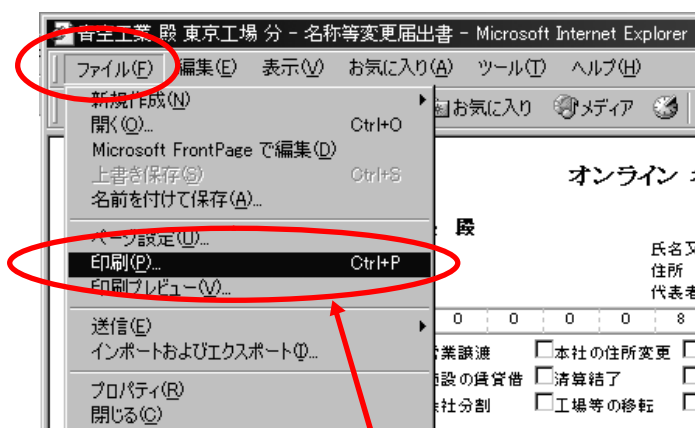
次のとおり変更があったので、届け出ます。

賦課金番号	8	0	0	0	0	0	0	8	変更年月日	平成 XX 年 7 月 1 日
変更の理由 (該当するところに 付して下されい。)	☐ 商号変更 ☐ 営業譲渡 ☐ 本社の住所変更 ☐ 工場等の閉鎖・廃止 ☐ 市町村合併 ☐ 工場名の変更 ☐ 施設の賃貸借 ☐ 清算結了 ☐ 工場等の移転・閉鎖・廃止に伴う申告書等の送付先変更 ☐ 合併 ☐ 会社分割 ☐ 工場等の移転 ☐ 識別コード送付先変更 ☐ その他 ()									
項目	変更前				変更後					

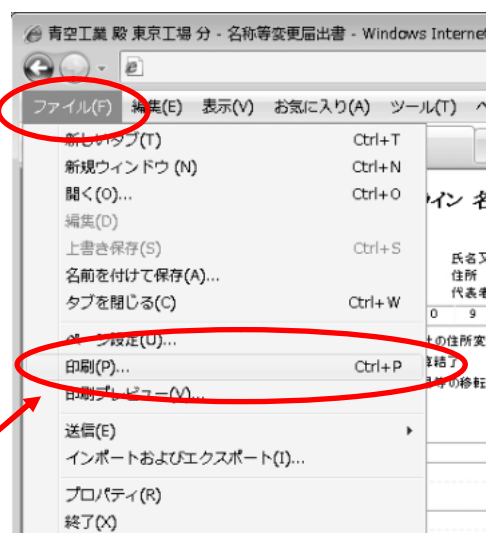
『印刷用画面を表示』
ボタンをクリックする
と、印刷に適したフ
ォーマットの画面が表示
されます。

(2) 印刷フォーム画面での印刷

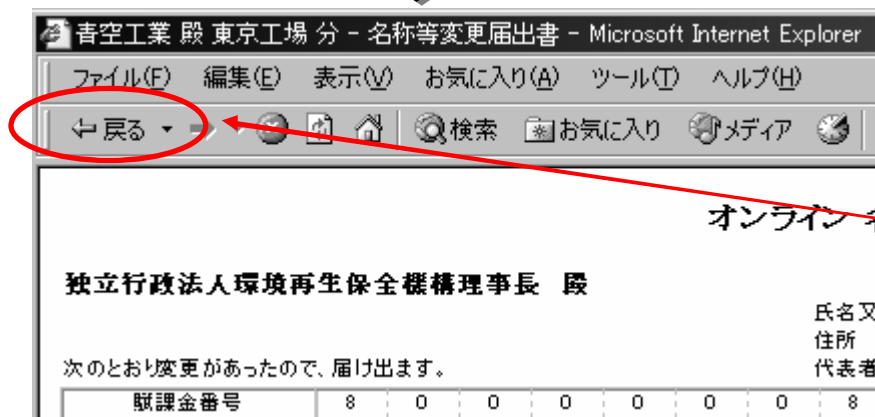
[Internet Explorer 6 以前]



[Internet Explorer 7]



印刷フォーム画面で印刷を行う場合、
ブラウザの「ファイル(F)」-「印刷
(P)」から印刷を行ってください。

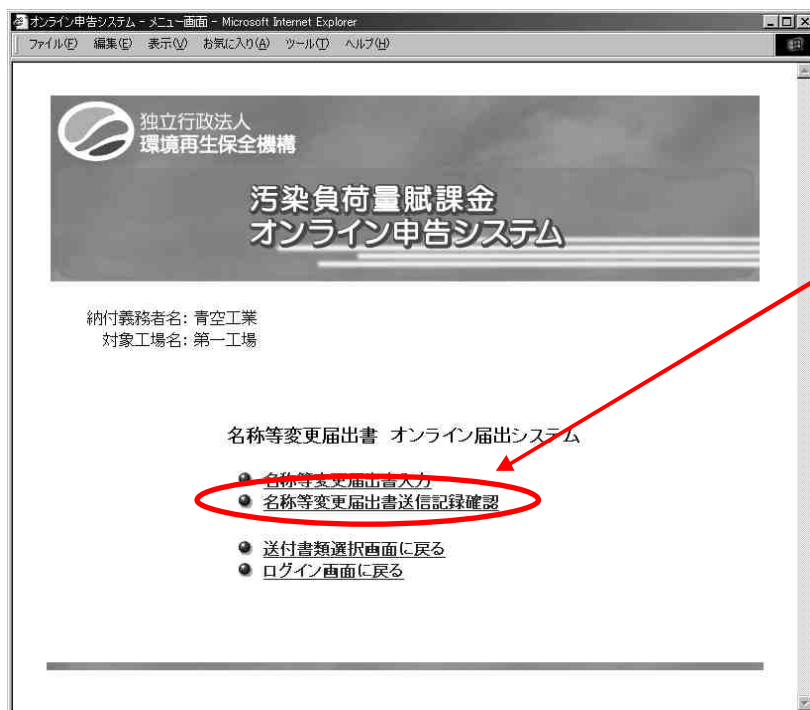


前画面に戻る場合は、ブラウザ
の「戻る」ボタンをクリックし
てください。

(3) 終了手続き

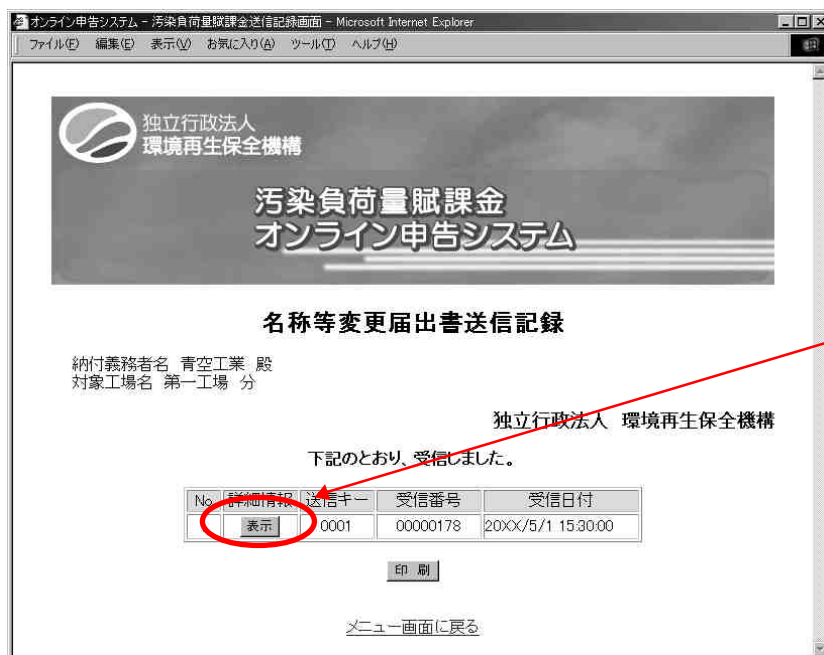
ログイン画面に戻って、終了手続きを行ってください。

7) 名称等変更届出書送信記録の確認
 (1) 名称等変更届出書送信記録の確認



送信後、内容を確認したい場合は、「届出書送信記録確認」メニューをクリックすると、届出書送信記録確認画面が表示されます。

(2) 名称等変更届出書送信詳細情報の表示



送信した名称等変更届出書の詳細情報を閲覧する場合は、詳細情報の『表示』ボタンをクリックしてください。印刷方法については、P. 81の手順を参照してください。

V. その他

届出早見表

■ 申告等に関する 諸届

名称等変更届出書

申告形態	提出方法	様式の入手方法	提出先
用紙申告 F D 申告 オンライン 申告	用紙による届出	「申告の手引」からコピー	商工会議所又は機構
		賦課金ホームページから様式ダウンロード	商工会議所又は機構
	オンラインによる届出 注 1)	オンライン申告サイトに入力	機構へ送信

注 1) 代表者で認証情報を取得している場合、合併・分割・譲渡等で代表者が変更になる場合は、「電子申告等届出書」を再提出して新しい認証情報を取得してください。

代理人選任・解任届出書

申告形態	提出方法	様式の入手方法	提出先
用紙申告 F D 申告	用紙による届出	「申告の手引」からコピー	商工会議所又は機構
		賦課金ホームページから様式ダウンロード	商工会議所又は機構
	オンラインによる届出	できません	
オンライン 申告	用紙での届出 注 2) 「電子申告等届出書」 を提出してください。	「F D 申告・オンライン申告マニュアル」 からコピー	機構
		賦課金ホームページから様式ダウンロード	機構
	オンラインによる届出	できません	

注 2) 「電子申告等届出書」は、「代理人選任・解任届出書」を兼ねますので、オンライン 申告を行っている事業者で代理人を変更する場合は、「電子申告等届出書」を提出して新しい認証情報を取得してください。

■ オンライン 申告に関する 届出書

電子申告等届出書

提出方法	様式の入手方法	提出先
用紙による 届出	「F D 申告・オンライン申告マニュアル」からコピー	機構
	賦課金ホームページから様式ダウンロード	機構
オンラインによる 届出	できません	

識別コード 送付用宛先情報変更連絡票

提出方法	様式の入手方法	提出先
用紙による 届出	「F D 申告・オンライン申告マニュアル」からコピー	機構
	賦課金ホームページから様式ダウンロード	機構
オンラインによる 届出 注 3)	オンライン申告サイトに入力	機構へ送信

注 3) オンライン 申告サイトの「名称等変更届出書入力」メニューから入力・送信してください。

間違いの多い事例 / 提出前チェックリスト【F D 申告用】

以下の事例を確認後、提出前チェックリストで最終確認して提出してください。

間違いの多い事例

F D にエクセルの状態で作成している。

必ず「機構提出用F D 保存」ボタンで作成したC S V ファイルをF D に保存してください。

F D に申告書又は算定様式が保存されていない。

提出の際は必ずF D に保存したC S V ファイルの名称及びファイルの数を確認してください。

用紙申告用の複写式の様式とF D を混在して申告している。

どちらか一方の申告方式を選択して提出してください。

前年度の申告書又は算定様式を使用している。

Excel 雛型ファイルは、毎年度更新していますので、必ず当年度にダウンロードした Excel 雛型ファイルを使用してください。

F D 申告であるのにF D の提出がされていない。

申告書又は算定様式の賦課金番号が違っている。

加重平均一覧表から算定様式への数値の転記誤りがある。

C S V ファイルの名前を変更している。

提出前チェックリスト

- ☐ 提出するデータはC S V ファイルです。Excel ファイルをそのまま保存していませんか？
- ☐ 提出するデータのC S V ファイルの数は正しいですか？
- ☐ 印刷した紙の申告書に押印はされていますか？
- ☐ 複写式の所定用紙とF D が混在していませんか？
- ☐ 1 枚のF D に複数の事業所のデータを保存していませんか？

間違いの多い事例 / 提出前チェックリスト【オンライン申告用】

以下の事例を確認後、提出前チェックリストで最終確認して提出してください。

間違いの多い事例

送信をしていない。

必ず送信記録で送信の確認をしてください。

算定様式の送信を忘れた。

送信する時は、申告書と算定様式のCSVファイルの数をよく確認してください。

算定様式の送信を忘れた場合は、速やかに機構までご連絡ください。

オンライン申告サイトにログインできない。

アドレスの入力誤り。

オンライン申告サイトの、https://のS(エス)の入力漏れ。

前年度のパスワードを使用していた。

認証情報のはがきが届いていない。又は紛失した。

はがき又は認証用FDを紛失した場合は、速やかに機構までご連絡ください。

送付先に変更があった場合は、必ず「変更連絡票」で連絡してください。

送信(アップロード)ができない。

Excel ファイルを送信することはできません。必ずCSVファイルを指定して送信してください。

申告書又は算定様式の賦課金番号が違っていた。

提出前チェックリスト

- ☐ 送信するデータはCSVファイルです。Excel ファイルをそのまま送信していませんか？
- ☐ 送信する算定様式を指定していますか？
- ☐ 送信するデータのCSVファイルの数は正しいですか？
- ☐ 送信記録で送信の確認をしましたか？

F A Q

F D 申告

インターネットが接続されていない事業者は、どのように雛型ファイルを手入れすればいいのですか？

管轄の商工会議所でコピーするか、機構までご連絡ください。

申告書は複写式の紙の申告書で、算定様式はF Dに保存して提出してもよいですか。

紙の申告書と、算定様式をF Dに保存して提出することはできません。

申告に関しては、用紙申告、F D申告、オンライン申告による3つの方式から選択することができますが、これらを混在して申告することはできません。

用紙申告：機構所定の複写式の用紙を使用して提出

F D申告：押印した申告書とCSVファイルを保存したF Dを提出

オンライン申告：「電子申告等を行う者」を事前に登録し、CSVファイルをインターネット経由で送信

雛型ファイル

ダウンロードしたファイルが解凍できない。または開かない。

ダウンロード中にファイルが破損した可能性があります。再度、雛型ファイルをダウンロードしてみてください。

エクセルのマクロ表示が出ない場合はどうすればいいですか？

セキュリティレベルを変更してください。(手順P.10)

CSVファイルをF Dに保存する時は、保存する順番がありますか？

保存する順番はありません。なお、保存したCSVファイルの名称は変更しないでください。

算定様式を複数枚作成する時は、必要枚数分ダウンロードするのですか？

算定様式を複数枚必要なときは、「算定様式の追加」ボタンで必要枚数を追加してください。

注) C様式については、1施設について1様式に入力します。複数の施設分を算定する場合は、入力されていないC様式のエクセルファイルを必要な施設分だけコピーしてから作成してください。

ダウンロードした後、エクセルファイルを開こうとすると強制終了されてしまう。

また、入力後、入力チェック完了となっているにもかかわらず、強制終了されてしまう。

次のような原因が考えられます。

Excel97の初期バージョンは、エクセルそのものにバグがあることが判明しており、このバージョンを使用する場合は強制終了されます。バージョンの確認は、エクセルを起動し、メニューバーのヘルプからバージョン情報を確認すると判明します。SR-1以上であれば問題ありません。

事業所内でのセキュリティの問題から、マクロファイルを使用できない環境になっているのも関わらず、無理に使用した場合、強制終了されることがあります。事業所内のシステム管理者にご相談ください。

ネットワークの環境、PCとプリンターの接続などシステム環境によって、印刷ができなかったり、強制終了されるケースがまれに発生します。システム管理者にご相談ください。

ファイルのブックやシートに保護をかけていますが、入力できないセルに無理に入力したり、ファイル名を変更した場合に強制終了される場合があります。このようなファイルの変更は行わないでください。

事業所内のインターネット接続環境で、混雑してダウンロードに時間がかかったりした場合、ダウンロードしたファイルの一部が損傷している場合があります。このようなファイルを使用した場合、強制終了される場合があります。もう一度ダウンロードし直して見てください。

算定様式で使用量なしの月を0で入力した場合、エラー表示となる。

0の場合は空白で入力してください。(全様式共通)

「様式の追加」の実行時に、「メモリ不足」のメッセージが表示される。

エクセルファイルをF D上で実行しているケースが考えられます。エクセルファイルをデスクトップやマイドキュメントなどのハードディスク上にコピーして実行してみてください。

届出書の様式は、どのように入手すればいいですか？

賦課金ホームページに、エクセルの雛型ファイルを用意していますのでダウンロードしてご利用ください。

「申告の手引」、「FD申告・オンライン申告マニュアル」に、届出様式を添付してあります。

オンライン 申告の事前登録

「電子申告等届出書」は、有効期限があるのですか？

登録した「電子申告等を行う者」に変更がない限り有効です。

例えば、

社長を登録した場合は、社長が交替しない限り有効です。

代理人として工場長を登録した場合は、工場長が交替しない限り有効です。

注) 認証用FDは、「電子申告等を行う者」が変更しない限り継続して使用していただきますので大切に保管してください。

認証情報の送付先である「識別コード送付用宛先情報」欄に変更があった場合は、どのような手続きが必要ですか？

「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」によりご連絡ください。なお、この変更連絡表は、FAX、郵送、オンラインで提出できます。

オンライン 申告を代理人で行っている事業者で、代理人が変更になる場合、どのような手続きが必要ですか？

「電子申告等届出書」を提出してください。同届出書は、「代理人選任・解任届出書」も兼ねていますので、改めて「代理人選任・解任届出書」の提出は必要ありません。

オンラインで提出できる届出書は何ですか？

オンラインで提出できる届出書は、「名称等変更届出書」と「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」です。どちらも認証情報の取得が必要です。

なお、「代理人選任・解任届出書」と「電子申告等届出書」は用紙での提出になり、必ず代表者の押印をお願いします。

認証情報を取得後、用紙申告またはFD 申告に変更してもよろしいでしょうか？

認証情報を取得後であっても、用紙申告、FD 申告に変更することは可能です。ただし、その際の提出先は、管轄の商工会議所になりますので、二重申告にならないようご注意ください。

オンライン 申告の事業者で、代表者が変更になった場合は、どのような手続きが必要ですか？

「電子申告等を行う者」が代表者である場合は、「電子申告等届出書」を再度提出して新しい認証情報を取得してください。

「電子申告等を行う者」が代表者でない場合（代理人等の場合）は、特に手続きの必要はありません。

「電子申告等届出書」の納付義務者名称が変更になる場合は、どのような手続きが必要ですか？

「名称等変更届出書」を提出してください。なお、「電子申告等を行う者」が変更になる場合は、「電子申告等届出書」を再提出してください。

オンライン 申告サイトへのログイン

変更したパスワードを忘れた場合は、どうすればよいですか？

補償業務部業務課へご連絡ください。変更したパスワードを無効化しますので、再度、仮パスワードでログインしていただき新パスワードを設定してください。

識別コード（認証用FD）を紛失した場合は、どうすればよいですか？

補償業務部業務課へご連絡ください。識別コード（認証用FD）を再発行いたします。

オンライン 申告サイトにログインできない場合は、どうすればよいですか？

次のような原因が考えられます。

アドレスの入力誤り。

オンライン申告サイトの、https://のS（エス）の入力漏れ。

前年度のパスワードを使用していた。

認証情報のはがきが届いていない。または紛失した場合は、どうすればよいですか？

補償業務部業務課へご連絡ください。認証情報を再発行いたします。

はがきの送付先に変更があった場合は、「識別コード送付用宛先情報変更連絡票」により連絡願います。

オンライン申告サイトにアクセスすると時間外通知画面が表示される場合は、どうすればよいですか？
ブラウザのキャッシュをクリアしてください。(手順 P.59)

オンライン申告

送信できない場合は、どうすればよいですか？

次のような原因が考えられます。

エクセルファイルを指定して送信している場合

申告書または算定様式の賦課金番号が違っている場合

算定様式の送信を忘れた場合、または送信した内容が違っていた場合は、どうすればよいですか？

補償業務部業務課へご連絡ください。送信したデータを無効化しますので、再度、正しい申告データを送信してください。

電子申告等届出書(兼代理人選任・ 解任届出書)

(識別コード付与請求書)

賦 課 金 番 号					
納付義務者名称				対象工場・事業場 名 称	
対象工場・事業場 所 在 地					
電 子 申 告 等 を 行 う 者 (代表者 または 代理人)	氏 名			施設等設置 者 と の 関 係	
	住 所			選 任 日	平成 年 月 日
被 解 任 者 氏 名				解 任 日	平成 年 月 日
平成 年 月 日 公害健康被害の補償等に関する法律施行規程(第 20 条及び)第 22 条第 1 項の 規定により、上記のとおり届け出ます。 届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人 にあってはその代表者の氏名 独立行政法人環境再生保全機構理事長 殿					
識 別 コ ー ド 送 付 用 宛 先 情 報	郵便番号			電話番号	- -
	所在地				
	法人名				
	事業場名				
	担当部課				
	担当者名				

印は公害健康被害の補償等に関する法律施行規程第 2 0 条の規定により、代理人を選任（解任）する場合のみ記入してください。

識別コード 送付用宛先情報変更連絡票

平成 年 月 日

独立行政法人環境再生保全機構 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人
にあってはその代表者の氏名

次のとおり変更があったので、連絡します。

賦課金番号									
項 目		変 更 前						変 更 後	
識別コード送付用宛先情報	郵便番号	〒						〒	
	所在地								
	法人名								
	事業場名								
	担当部課								
	担当者名								
	電話番号								

- * 記載にあたっては、変更箇所のみ記入してください。
- * 変更内容が法人名の場合は、機構補償業務部業務課(044-520-9545)まで連絡してください。
- * 変更連絡票は FAX (044-520-2133)、郵送又はオンラインでご提出ください。